

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		-	-
		百貨店（売場主任）	・どうみん割やGo To Travelキャンペーンなどの経済施策が始まったことで、人の流れが出てくることになる。それにつれて、身の回り品の動きも出てくるため、今後の景気はやや良くなる。
		家電量販店（経営者）	・給付金やプレミアム付商品券などの効果が期待されるが、冷夏の影響でエアコンなどの夏物商材の売行きがどうなるかが不透明である。
		乗用車販売店（従業員）	・今後は段々と冬に向かっていく時期となるため、例年であれば需要の落ち込む時期となるが、新型コロナウイルスの動向が落ち着いてきたと判断できれば、今後も販売量は伸びていく。結果的に例年並みの販売量に近づくのではないかと期待している。
		高級レストラン（スタッフ）	・今後の景気はやや良くなる。SNSへの投稿でも出張や旅行の記事が増えてきており、旅行したいという気持ちの高まりを感じる。一方で、当地や東京から地方への移動について、不安要素も少なからず残っており、過剰に反応する人も少なくない。こうした状況は当分続くと思われるため、急激な回復は望めないが、観光客が少しずつ増加することで、地域経済も回るようになると期待している。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、再び移動制限などが実施されると4～5月と同じような事態となることが懸念されるが、航空便数が回復している現在の状況が継続すれば、観光需要も増加する。
		旅行代理店（従業員）	・首都圏などでの新型コロナウイルスの感染拡大が今後1か月程度で収まれば、Go To Travelキャンペーンが軌道に乗る。そうなれば、主力の団体旅行の取扱件数も増加することになり、景気が良くなる。ただ、現状の感染状況が改善されない場合は、北海道と本州との往来も活発化しないため、大きな良化は期待できない。さらに、北海道の感染者が少なくても、報道で東京や大阪などの状況が扱われることで、地方においても大きな影響が生じることが懸念される。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスが終息することになれば、サービス業の景気が上向きになる。
		通信会社（企画担当）	・飽くまでも緊急事態宣言や外出自粛などの制約が生じないことが前提であるが、これから販促費を増やし、大型スーパーやショッピングモールでの出張販売なども多く実施していく予定であるため、通信機器の販売量の回復が期待できる。
		観光名所（従業員）	・緊急事態宣言に伴い営業を休止し、6月から営業を再開している。再開後、客足は少しずつ伸びてきていることから、今後の景気はやや良くなる。新型コロナウイルスの感染防止対策について、しっかりと気を引き締めて行うことで、客が安心して過ごせるようになれば、客のにぎわいが戻り、以前の状態に回復すると期待している。
	商店街（代表者）	・当地ではGo To Travelキャンペーンの効果などが余りみられないことから、今後の景気が上向くことを期待できない。	
	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスによる影響は今年一杯は同じような傾向で推移するとみられる。長雨や大雨の影響も3か月先までは何らかの影響を及ぼすことになる。そのため、今後も景気は変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・北海道では1けた台の感染者数が続いていることもあり、影響が少しずつ落ち着いてきている。ただし、全国の感染者数が増えていること、道外からの人の移動が増えていることなどから、今後、北海道の感染者数が増えることになれば、再び自粛の動きが強まるため、景気回復には程遠い状況が続く。新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、旅行したいという気持ちにはなかなかならない。
		一般小売店〔酒〕(経営者)	・毎日発表される新型コロナウイルス感染者の人数が人出を左右する状況が続いていることから、今後の景気も新型コロナウイルスの動向次第の面がある。
		百貨店(販売促進担当)	・Go To Travelキャンペーンが始まり、国内での人の移動が活発になり、来道者も増えつつある。一方、第2波への警戒が日増しに強くなってきていることから、今後も景気は一進一退の状況が続く。
		百貨店(営業販促担当)	・新型コロナウイルスの動向が落ち着かない限り、来客数が改善するまで時間が掛かることになる。また、催事などの展開についても影響が続くことになる。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たず、今後も新しい生活様式の中での動きとなるため、現在の状況と大きな変化はないまま推移する。
		スーパー(店長)	・自粛期間中に海外の商品工場がストップしていたこともあり、その分、秋物、冬物衣料の物量が不足することが懸念される。
		スーパー(役員)	・スーパー業界もいずれは景気が悪くなるとみていたが、関東や関西での新型コロナウイルス感染者の増加傾向をみると、再び家庭での内食が増加するとみられ、今後も現状並みの販売量を維持することになる。
		コンビニ(エリア担当)	・今後も悪い状態のまま変わらない。新型コロナウイルスの影響が縮小することになれば、店売りが減少することになる。その場合、外販分は回復するが、飲食店への納品量が前年並みに回復することまでは見込めない。新型コロナウイルスの影響が拡大しても縮小しても、マイナスの影響を受けるため、全体では景気回復を見込めない。
		家電量販店(店員)	・新型コロナウイルスの第2波の影響で客足が鈍っていることから、今後も景気は変わらない。
		乗用車販売店(経営者)	・先行指標である新車の受注台数は前年を上回る勢いがあり、新車の登録台数も当面は計画台数を維持できる。一方、こうした傾向が今後も続くかどうかの判断は時間を要することになる。
		乗用車販売店(経営者)	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まれば、新型車効果もあり、景気が上向くことになる。ただし、感染拡大が続けば、どうなるか分からない。
		乗用車販売店(従業員)	・先々について不透明な状況にあることから、今後の動向を心配している。
		乗用車販売店(従業員)	・新型コロナウイルスの第2波が拡大している現在の状況下では、今後の経済状況の先行きがみえてくるまで、客が大きな買物を控えることになる。
		自動車備品販売店(店長)	・今後の新型コロナウイルスの動向が、予想に反して不透明になってきていることから、各地域での感染者数の増減によって影響が左右されることになる。
		高級レストラン(スタッフ)	・連日の感染者数の報道により、消費者の不安が増大していることから、今後、自粛行動が進むことを懸念している。
		スナック(経営者)	・11月頃までは現在の状態が続くとみられることから、今後も以前の売上の6～7割程度で推移することになる。
		旅行代理店(従業員)	・Go To Travelキャンペーンが始まったものの、今日現在、全国各地で新型コロナウイルスの感染者が増加していることから、客はまだまだ警戒している。今後の感染拡大状況にもよるが、2～3か月先の道外旅行への問合せがほとんどみられないことから、今後も道内の宿泊の取扱しかない状況が続くことが懸念される。道外への航空券付きの旅行や海外旅行の予約受注が生じない限り、旅行業の景気は良くならない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスが収まらない限り、2～3か月後の状況も見通せない。当分の間はそのままの状態での推移が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響で全く先がみえない。今が底だとみているが、観光支援策である国のGo To Travelキャンペーンの対象から東京が除外されたことで、効果が不透明になっているため、いつまで現状が続くのか大きな不安を感じている。
		美容室（経営者）	・今後の状況は、新型コロナウイルスがどのような状態になるのかで大きく変動するため、予測しにくい。来客数、売上共、今の状態が続くのではないかとみている。
		美容室（経営者）	・今後の動向は、新型コロナウイルスの状況によって左右される。
		商店街（代表者）	・今後、人の生活は新型コロナウイルス感染拡大前とは異なるものになるとみられるが、客の行動がどのように変化するか、現状では未知の状態にあるため、しっかりと状況を見守りつつ、対策を打っていく必要がある。また、新型コロナウイルスが収束したとしても、消費税の減税又は廃止がなければ、景気回復は難しい。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で客の考え方が非常に悪くなっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		百貨店（役員）	・6～7月にかけて、順調に景気が上向きになってきているが、これから年内にかけて、新型コロナウイルスの影響が強まる懸念されるため、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・今後、新型コロナウイルスの影響が再び強まる懸念される。
		スーパー（企画担当）	・全国的に、新型コロナウイルスの第2波到来が叫ばれるような感染拡大が続いており、消費の自粛行動が再燃する懸念が出てきている。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、観光面での落ち込みは免れない。また、漁業資源の減少もあり、当地では景気の厳しい状況が続くことになる。
		コンビニ（エリア担当）	・このまま新型コロナウイルスの影響が続くことが見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、外出も考えてからの行動となっている。今の状況が改善されるまで、消費は控えらるることになる。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・今後、新型コロナウイルスによるダメージが強まることを心配している。政府の経済対策も追いつかないほどの買い控えが起きるのではないかと懸念している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・新型コロナウイルスの再度の感染拡大により、先行きが不透明になっている。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数、特に観光客が減っている。観光客は今回の4連休で多少当地を訪れていたようであるが、鉄道利用客が余りみられなかったため、駅周辺の店舗では影響がなかった。なかなか先を見通せない状況が続いているため、今後も景気の悪い状況は続くことになる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・地方自治体による観光需要喚起のキャンペーンが8月で終了予定である。一方、国のGo To Travelキャンペーンは不確定要素が大きく、期待薄と言わざるを得ない。このため、今後の景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・Go To Travelキャンペーンなどによる観光活性化への期待はあるが、実際には問合せや予約もほとんどないことから、景気が上向く雰囲気はない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスがある程度収まらないうちは、人出は元に戻らない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染がますます拡大する可能性を含めて、状況はひっ迫してきていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・6月の経済指標の多くは、5月が最悪の状況だったことの反動で見た目はかなり良くなるとみられるが、所得低下による本当の影響はこれから明確に現れてくることになる。今後、落ち込む消費を下支えするために、消費税減税が絶対に必要となる。
	×	商店街（代表者）	・2～3か月後は、オフシーズンへ向かう時期となる。また、Go To Travelキャンペーンやどうみん割によって、7月の4連休や8月のお盆を通じて、新型コロナウイルスの感染が拡大することを懸念している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	商店街（代表者）	・7月の4連休は久しぶりに観光客が増えていたが、Go To Travelキャンペーンの影響という雰囲気はなかった。客層としては家族旅行が最も多く、次に若いカップルであり、グループ旅行はほとんどみられなかった。客の人数が少なかったせいか、全くといっていいほど観光消費もなく、今後、観光業界にとって最大の繁忙期となる夏を迎えても苦境が続く。このままでは冬を迎えられそうにないほどである。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・当地でも倒産の話がどんどん出てきている。新型コロナウイルスと経済復興との兼ね合いも、何かかみ合わなくなっている。7月の売上は前年の14.5%であり、今のところはどうか持ち堪えている状況である。
	×	スーパー（役員）	・社員を募集しており、飲食関係で解雇される人の応募が数多くみられる。話を聞くと9月前後で有給休暇がなくなる人が多く、今後、地域で失業者が増大することになれば、本格的な不景気となることが懸念される。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染が拡大していること、外国人観光客の入込が全く見込めないことなどから、今後の景気は悪くなる。
	×	その他専門店〔造花〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響で外出自粛や買い控えが生じており、今後に向けての出口もみえないことから、景気は悪くなる。
	×	観光型ホテル（経営者）	・夏の観光シーズンが終われば、旅行需要は一気に今以上に落ち込むことになる。例年であれば、秋以降は団体旅行が盛んになるシーズンだが、今年はそれがかなわないため、Go To Travelキャンペーンが行われるにせよ、冬季に向けて一層の落ち込みは避けられない。
	×	タクシー運転手	・国の助成金や金融機関の新型コロナウイルス関連融資などの効果で、今のところ企業の倒産も少ないが、今の状況がこのまま続くと、これから倒産する企業が増え、失業者が大量に増加することになる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの第2波が生じているとみられるが、この先の第3～4波も想定される。自粛により、移動人口は必要最低限の状態が続くことが見込まれ、交通事業者にとって明るい材料はない。
	×	タクシー運転手	・全国で新型コロナウイルスの感染者の数が増えてきていることで、今後、自粛や規制が強まることが懸念されるため、景気はやや悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・マスクに税金が使われている一方で、企業に対するフォロワーが余りないことから、今後の景気は悪くなる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの第2波の影響が相当出ると見込まれるため、消費などは冷え込むことになる。
企業動向関連 (北海道)		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・北海道新幹線の札幌延伸、大手企業の定期修理、災害復旧、社会インフラ強じん化、長寿命化、再生可能エネルギー基地建設工事など、建設投資が比較的旺盛なことから、今後の景気はやや良くなる。
		食料品製造業（従業員）	・2～3か月先も今と変わらない景気の水準が続く。
		家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染防止と経済活動の綱引き状態が続いていることから、ワクチンが行き渡るまでの間、本格的な景気拡大は望めない。
		金属製品製造業（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響はまだまだ解消できない。新型コロナウイルスの終息がみえないなか、様々な業種の会社で業績が悪くなっていることから、今後の景気は悪いまま変わらない。
		建設業（経営者）	・公共工事は例年並みの水準であるものの、民間建築はやや低調に推移している。また、個人住宅は引き合いがかなり落ち込んでいる。新型コロナウイルス発生以前の生活様式に戻らない限り、観光、飲食、交通、サービス関連業などは厳しい状況が続くことになり、全体の景気も良くならない。
		建設業（役員）	・新型コロナウイルスが収束に向かう見通しが全く立っていないことから、当面、民間企業の設備投資は慎重な姿勢が続く。新型コロナウイルス対策での財政負担の増加により、公共投資予算の縮減も懸念され、次年度以降の受注見通しが立ちそうにない状況は今後も変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（支店長）	・本来であれば、物流業にとって秋口は農産物などの荷動きもあり、繁忙期となるが、新型コロナウイルスの影響で大幅に貨物量が減っている状況にあるため、今後も良化は望めない。
		通信業（営業担当）	・依然として、新型コロナウイルスの感染状況、経済活動への影響が不透明なことから、景況感の動向を見通せないというのが本音であるが、当社周辺に関しては、ウィズコロナ関連で案件が増加している。一方、経済、営業活動の制約による業務進捗遅れも生じているが、景況感としては現状のやや良い状態を維持できるとみている。
		金融業（従業員）	・各種給付金やGo To Travelキャンペーンなどの経済対策による景気押し上げ効果が見込まれるものの、雇用や所得の先行き悪化が政策効果を相殺し、道内景気は横ばい状態のまま変わらない。
		司法書士	・全体的な経済活動の動向は、一連の新型コロナウイルスが鎮静化する時期によって左右されることになる。
		コピーサービス業（従業員）	・今後、一時的な落ち込みがあるとみているが、長い目でみれば、景気が持ち直す要素もあるとみている。
		建設業（従業員）	・新型コロナウイルスによる経済への影響は2～3年続くとみられていることから、民間の建設投資に対する意欲が減退し、冬季に向けて厳しい状況が続く。
		司法書士	・新型コロナウイルスのワクチン開発が景気回復を左右する状況にある。年内のワクチン完成は無理とみられることから、今後の景気はやや悪くなる。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響による民間設備投資の抑制など、今後、民間需要を中心に建設投資が落ち込むことになる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・定期的な入替え需要はあるものの、新規の設備投資計画を立てることができない客先が多いため、今後の景気はやや悪くなる。
	×	食料品製造業（従業員）	・今年の秋頃に価格改定を予定しており、その影響で販売量が減少することが見込まれる。
	×	出版・印刷・同関連産業（従業員）	・景気が良くなる要素がない。
	×	広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、大型イベントが軒並み中止となっているほか、再度の外出自粛などが生じる懸念もあるなど、景気が向上する要素が全くない。
	×	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・新たな仕事の話がほとんど聞こえてこないことから、今後の景気は悪くなる。
	×	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・これまでの新型コロナウイルスの影響を考えると、営業活動や出勤方法など、新しい仕事のスタイルを見付け出し、市場に合わせた行動をとるようにしない限り、経済活動は伸び悩むことになる。
雇用 関連		-	-
(北海道)		人材派遣会社（社員）	・求人の問合せはきているものの、3か月前と比べると減少傾向で推移していることから、企業に対して、当社から積極的にアプローチしなければ、減少傾向が続くことになる。緊急事態宣言の解除により、求人企業との連絡、企業面接は平常時の状態に戻ったが、企業における採用基準は以前より高く設定されており、内定率が下がっている。一方、求職者は新型コロナウイルスの影響で求人が減少していることを意識しているようで、当社からの求人提案に対して以前よりも真剣に話を聞いているようだ。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・農産物に関わる産業の景気は、前年並みまでとは至らないものの、かなり安定した状態で推移していくことが見込まれる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・北海道の感染者数は減少しているが、全国の感染者数が増加している。観光に依存している北海道としては観光客に来てもらいたいのが、手放しには喜べない状況にある。一方、観光客も移動を自粛しているようである。これらのことから、今後も景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社（編集者）	・例年であれば、農作物の収穫に伴う繁忙期を迎え、それに合わせた食のイベントの開催、秋の行楽シーズンなど、景気が良くなる要素の多いタイミングだが、今年に関しては不透明である。今後については、新型コロナウイルスの動向次第としかいいようがない。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が前年比マイナス17.1%と減少しているほか、企業整理に関する相談、情報についても増加傾向にある。ただ、求人数、有効求人倍率については、経済活動の回復に伴い、徐々に復調することが見込まれる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・観光に関わる業種の多い道内では、しばらく先のみえない状況が続く。各大学での就職内定率もしばらくは上昇を全く期待できない。久々の氷河期到来が懸念される。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・最近の新型コロナウイルス感染者数の増加傾向を踏まえると、しばらくは外食や旅行を我慢する傾向が続く。政府の助成金や給付金などの施策の効果が切れてしまうタイミングでもう一段景気が下がりそうな懸念がある。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は3か月連続で前年を下回るなど、多くの業種で新型コロナウイルスの影響が生じている。
		職業安定所（職員）	・現時点では、雇用を維持し、離職につながっていないケースもまだ多いとみられるが、今後、体力のない会社から離職者が生じることが懸念されるため、景気はやや悪い方向に進む。
	x	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東北)		-	-
		百貨店（営業担当）	・人の移動が今後更に増える。また、軒並み中止していたイベントの開催や消費者還元事業などによる効果が少しずつ現れることが予想される。
		家電量販店（店長）	・10月以降、前年と比べ増税後の落ち込みがない分、上向くとみられる。
		乗用車販売店（従業員）	・市場環境が良くなれば来場者数は増えてくる。メーカーの集客イベント等も少しずつ開催していく予定はあるので、現在の状況よりは回復していく。
		乗用車販売店（従業員）	・車両販社に限れば、車種は偏っているが、長納期の影響が徐々に解消されつつある。
		乗用車販売店（本部）	・新規来店客の購買意欲は比較的高い傾向にあり、一部に長納期を伴うバックオーダーを抱える状況も出現してきた。一方、サービス入庫でも季節商材を含めた除菌消臭アイテムの施工オーダーも多く、総じて市場は動いてきた印象を受ける。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・夏休みやお盆を迎えて、例年とまではいなくても多少良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスが沈静化し、東京がGo To Travelキャンペーンの対象地域になる可能性を期待している。日本中で新型コロナウイルスが沈静化することを心から期待している。
		旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンが始まったので、その効果により多少は良くなると思うし、期待したい。
		競艇場（職員）	・再開後少しずつ客が増えていき、現在はほぼ前年と変わらない状況である。前年同様に客足が戻ってくるようならば、単価は上がっているので売上アップは期待できる。
		住宅販売会社（経営者）	・他地域からの移住希望が多く、中古住宅の問合せや販売が増えている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・客のニーズを喚起することはやぶさかではないが、商品の供給量が今後先細りする可能性があるため、何とも不透明である。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルス関係のものは今後も出るとみているが、新型コロナウイルスの影響で来店を控えている客がいるので、その分が目減りしているのではないかとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・多少なりとも期待をしていたGo To Travelキャンペーンも中途半端な状態となり、本当に苦しい状態はこれからとみている。首都圏と比べると感染者を出してはいけない意識が強く、プレッシャーとして感じる地方だからこそ、消費者も外出することや楽しむための消費することに罪悪感を抱いている。このままでは地方経済は更にひっ迫する。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・梅雨もいつ明けるか分からず、猛暑というよりは冷夏のように、商品の動きは鈍い気がする。
		百貨店（売場主任）	・地域内の他業種を含めて経済活動の低迷が続くと予想され、個人消費も上向くとは考えにくい。加えてメーカー側の生産減により、今後商品確保が前年と比較しても困難になることが考えられる。
		百貨店（経営者）	・地域の経済活性化施策など今後期待できる取組もあるが、消費に対するマインドは食料品以外はなかなか上がらないとみている。新型コロナウイルス感染者数や豪雨被害などの報道の影響が大きい。
		スーパー（店長）	・来客数はほぼ動きがなく前年並みを維持している。ただ、客単価が若干上がってきている。今の状況はこのまま続くと予測している。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染者数の増減によって人々の消費動向も変わるため、なかなか先が予測しづらい。
		スーパー（企画担当）	・まだまだ新型コロナウイルスによる内食需要が続いているため、食品スーパーとしてはやや景気の良い状態が続いており、2～3か月後も変わらないとみている。
		コンビニ（経営者）	・現状では客単価や買上点数は堅調であるものの、来客数が戻らないことにはどうにもならない。新型コロナウイルスの早期終息を願うばかりである。
		コンビニ（経営者）	・深夜帯に来店いただいていた飲食業従業員の来店が減っている。営業自粛による収入減が影響しているとみられる。状況変化はない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息に懸かっている。
		衣料品専門店（経営者）	・秋冬商材を入荷するが、最近のふだん着中心のニーズは変化しないと予測している。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染者がまた増えている状況なので希望的観測ではあるが、礼服の需要については、現在、家族葬から少し広範囲の他県でのお悔やみや縁の薄い方の御葬儀へ参加するように変わってきている。そして、滞っていた結婚式が始まればスーツ購入に対するモチベーションが変わってくるのではないかと考えているので、婚礼が増えてくるのかどうかを注視している。
		衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者が増えている状況のなかで、密集を避けるため来客数に影響が出ることが予想されることから、今月より良くなることは考えられない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者が増えているという報道が多くなっており、それにより消費が落ち込んでいるのでしばらくは上がらない。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかで、経済が停滞しているため、いろいろな計画が保留中になっていることから、受注量が増えるという予想はできない状況である。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・悪いまま変わらないとみている。一般企業でも先行きに不安があれば新入社員は採らないし、経費削減で買い控えが進む。観光業、飲食業が持ち直さない限り厳しさは続く。また、この機に閉店、廃業という店も出ているようで絶対数が減ってきている。今後も減るのではないかと心配している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・Go To Travelキャンペーン等、政府の様々な施策が立てられているものの、やはり新型コロナウイルス終息の道筋がみえない限り、景気に対する消費マインドは不透明感が続くと思われる。
		高級レストラン（スタッフ）	・ランチの客数はそれなりの数字で推移しているが、ディナー客数は上がってきていない。週の半分はディナー客数がゼロである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（支配人）	・Go To Travelキャンペーンが始まり、宿泊は土日連休などは入ってきているが、レストランの集客は朝食のみとなっており、昼夜は御利用いただけていない状況である。地域の方が新型コロナウイルスを危険視するためにホテルの利用控えが増えているようである。昼夜の動きが悪い状況は続くと思込んでいる。
		一般レストラン（経営者）	・いつ新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生するか分からないので、良くなる悪くなるとは一概には言えない。新型コロナウイルスの状況次第である。
		観光型旅館（経営者）	・このところ感染拡大が続いているので、不安定な状態が続く回復といえるまでは届かないとみている。
		観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響によって予約申込みが左右される部分が多い。新型コロナウイルスの終息を期待するとともに、受入れ側としての対応をしっかりと取っていききたい。
		タクシー運転手	・最近、当市においても毎日感染者数の発表があり、高齢者は医療機関にも行かない状況である。新型コロナウイルスの影響で先行きも暗い。
		通信会社（営業担当）	・すぐに好転するような好材料に乏しい。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大への懸念と景気拡大策が交錯しており、一喜一憂は変わらないと推察している。
		通信会社（営業担当）	・家庭での通信環境整備も一段落したため、これまでのような新規の加入申込みは増えないとみている。それでも新規の拡大エリアからは、テレビサービスの新たな加入者が見込まれるため、客はそれほど減少しないものと予想している。テレワークは地域性から定着せず、新たな通信利用の申込みは、余り期待できない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第である。
		観光名所（職員）	・ゴールデンウィーク中の自粛により、新型コロナウイルスの問題が終息に向かったように思えたが、このところの首都圏での発生状況から再燃が懸念される。秋以降に修学旅行などの大型団体の予約があるものの、そうなれば春同様、全キャンセルになる可能性が高い。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・以前よりはにぎわいを回復してきているものの、イベントや人の動きの制限、全国の感染状況などにより、一進一退の状況になると予測している。
		設計事務所（経営者）	・先行きの不安を抱えながらの商売が続くと予想される。
		商店街（代表者）	・4～6月の新型コロナウイルスの影響も7月に入り下火になってきており、少しずつ来客数、売上共に上昇してきた。しかし、当地域でも新型コロナウイルスに感染した人がいるという報道があり、一気に来客数がダウンしている。また、祭りの中止や各地域のイベントが中止になると報道され、一般市民並びに商業者に関しては、期待や希望の光が消えたような状況である。
		商店街（代表者）	・当県は新型コロナウイルス感染者数ゼロが続いているが、県外からの観光客や夏休みの帰省者が増加している。感染者が発生すれば春と同様に外出を控える方が増加し景気が停滞する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの第2波の影響を懸念している。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・地場の産業が落ち込んでいるという話を、働いている方や会社経営の方から具体的に聞くので、大変なことが起きつつあるという印象を受ける。政府も景気対策をしているので明日から極端に悪くなるとは思えないが、いずれ徐々に表面化してくるのではないかと。
		百貨店（買付担当）	・新型コロナウイルス感染者の増加により、戻りつつあった客もまた自粛生活に戻り、外出を控える傾向はより強くなるとみられる。
		スーパー（経営者）	・8月はお盆需要を期待したいが、ステイホームで帰省の減少も予想され、盆用特殊商材以外、おもてなし消費は余り期待できないのではと推測している。給付金、無利子貸付制度も一巡しつつあり、景気浮揚対策の継続が難しくなるので、中小企業は更に経営が厳しくなるとみている。雇用も消費環境も一層悪化していくのではないかと危惧している。
		スーパー（経営者）	・首都圏の新型コロナウイルス感染者の増加により、お盆の帰省が大幅に減少することが予想され、お盆期間の特需効果が薄れる。また、Go To Travelキャンペーンで地方も新型コロナウイルスの感染リスクが高まり、近距離の移動も気遣う傾向になるとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・8月のお盆の帰省でこの土地に戻る人が少なくなれば売上に多少影響するのではないかと不安を覚えている。
		スーパー（営業担当）	・気温の関係もあるが、前年比で夏物商材、特に飲料、酒関係の動きが悪く全体の売上にマイナス影響を及ぼしている。また、新型コロナウイルス禍で行楽、帰省も減り、お盆の営業が厳しくなると予測される。
		スーパー（営業担当）	・感染者数こそ増えていないが、今後感染が広まるおそれがあることや地場産品の不作による収入減での消費減退から、財布のひもが固くなるのではないかと考える。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスは間違いなく日本全国に広まっていることから、完全に下向きになっていくとみている。
		コンビニ（経営者）	・夏場でこれほど低い売上である以上、数が月での回復は見込めない。気温の低下と比例して売上也落ちていくのが常なので、今後もかなり厳しい経営状態になることが予想される。今後の先行きに不安しかない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が全国的に増加しており、景気回復は当面見込めない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
		コンビニ（エリア担当）	・夏祭りや花火大会中止などイベント需要がないため、日販の落ち込みは更に深刻化する。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も第2波の影響で来客数は減少していくと予測している。
		コンビニ（店長）	・今後の見通しについて、休業要請なのか、休業のお願いなのか、何もしないのか、Go To Travelキャンペーンがどうなるのか、政府の方針が曖昧で、会社の方針もどうしたらいいのか分からないような状況である。どっち付かずの不安な雰囲気が漂っていて、消費マインドはしばらくの間下がっていくのではないかとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえてこない限り、人の移動が制限されて県外からの観光客もまばらのみである。県内のプレミアム食事券や宿泊券の利用で活気を取り戻してほしい。
		衣料品専門店（店長）	・給付金特需が落ち着き、新型コロナウイルスの第2波が来ている現状では、今後良くなる要素が見つからない。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続いており、景気が良くなるまでには時間が掛かる。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・全国的に新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、収束までにはかなりの時間を要するとみている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・夏休みを含む移動需要については、外出自粛などの影響により減少するため、販売量の減少は避けられない。
		一般レストラン（経営者）	・長い期間にわたって経済活動が停滞していることから、これまで飲食店を中心に出ている影響が全体に波及していき、財布のひもはますます固くなっていくのではないかと予想している。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症拡大次第である。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数が首都圏で増えてきている影響が、地方にも出始めるとみている。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響もそうであるが、テレビで全国的に当地の河川氾濫のニュースが取り上げられている。このようになると、舟下りの区間は何ともないがかなり影響が出ることが予想される。少ない予約にますますキャンセルが出てやや悪くなっていくのではないかと。
		遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの状況により、イベントが予定どおりできるかどうかなど不安要素が大きく、厳しい見通しである。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・特別定額給付金の給付による特需効果は薄まるとみている。
	×	商店街（代表者）	・全ての業種において法人関係の利用が完全に止まっている。近い将来もそういう形が続くとみている。
	×	商店街（代表者）	・予想が付かないのは前月と同じだが、気候、新型コロナウイルス、自粛と売上のめどが立たない。
	×	スーパー（経営者）	・可処分所得が伸びないなか、マインドが低下し、なおかつ祭りや帰省等もなく非常にムードが悪い状況に陥っているため、消費がなかなか伸びてこない又は減少している。
	×	コンビニ（経営者）	・当地域においても新型コロナウイルス感染者が出てしまったため、景気は悪くなるとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染者が地方ではまだ少ない状況であるが、今後全国的に広がれば今より一層の自粛を余儀なくされ、客の動きは悪くなると予測される。
	×	衣料品専門店（店長）	・4～5月に掛けての自粛期間の影響が、9月以降、経済に大きな打撃を与えると予測される。
	×	家電量販店（従業員）	・給付金特需があった分、反動減が必ず出てくる。2～3か月後は反動減がピークになってきている時期ではないかとみており、大きく落ち込む予測である。
	×	住関連専門店（経営者）	・このところ新型コロナウイルス感染者が増加しており、3か月先くらいには食料品以外の買物を自粛する人が多くなることが考えられるので、景気は落ち込むと予測している。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルス第2波が懸念されている。Go To Travelキャンペーンも、むしろ地元は感染が広がるのではと戦々恐々しており、積極的に受け入れられる状況ではない。何とか今は我慢して年内中に先々の状況が見通せるようにしたいという意見が大半で、ここしばらくは悪化も覚悟で耐えるしかないと考えている。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染の広がりによる自粛ムードは年内で収まりそうにない。秋のイベントも全て中止で、客の来店が見込めない。
	×	高級レストラン（経営者）	・3か月程度でこの新型コロナウイルスが終息するとは思えないので何ともいえないところだが、簡単には良くなる見えない。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンや特效薬が開発され終息しないと景気は戻らない。
	×	一般レストラン（経営者）	・お盆の帰省が制限されると予想しているので、売上が伸びる要素は見受けられない。これは当店のエリア全域で影響あることであり、夏祭りや秋の芋煮会にも影響大になる。よって景気は落ち込む。
	×	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は今後ますます酷くなるのが予想される。Go To Travelキャンペーンによる集客は見込めない。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言解除後にまた新型コロナウイルスが大きく広がっており、当地においても同様である。ワクチンもまだできておらず収束が見えていないため、厳しい世情である。
	×	通信会社（営業担当）	・Go To Travelキャンペーンも見切り発車で効果が出ないとみている。新型コロナウイルスの影響で観光業、外食産業の盛り上がりも一部にとどまり、全体的には効果が出ないため、税金の原資が今後課題となり、景気も下降する一方とみている。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り客足は戻らず、当面の間景気回復は望めない。
×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が改善しそうにない。当面は様子見である。	
×	その他住宅投資の動向を把握できる者（住宅展示場運営会社）	・具体的な要因がなく来場者数の減少が続いている。また、来場者数の向上につながるイベント実施ができないこともあり、来場者数が下がることを予想している。	
企業動向関連 (東北)			
		農林水産業（従業者）	・天候が不順だが果物の生育は順調で、旧盆前に主力品種のももが最盛期を迎えるので、販売単価に期待が持てる。
		金属製品製造業（経営者）	・客先からの情報では、海外への出荷が想定よりも大きく回復しているとのこと。客先の回復から受注につながるまでは若干時間が掛かるとはいえ、徐々に受注も回復してくることが予想される。
		建設業（従業員）	・現在出件中案件の結果が出てくる時期にあたるため、一定程度の受注増は見込んでいる状況である。
		通信業（営業担当）	・国から在宅勤務7割の要請が出たため、リモートワークの見直しや、設備投資などで問合せが増えている。
		金融業（広報担当）	・インバウンドが消滅し開店休業状態だった観光、宿泊業は、7月の4連休及びG T Travelキャンペーンのスタートを契機に国内需要が動き始めたため、回復基調が期待できる。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だと考えられるので、良くなると軽々言えないが、これまでが底だったので相対的に良くなる。しかし、本当の意味で良くなるということではなく、回復の階段に足を掛ける程度とみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染が再び広がっており、再び人の動きが減り、秋の観光シーズンに影響がでないか心配である。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波があり、期待できない。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の収束がみえず、第2波が来ている現状では、悪い状況に変化はないとみている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・今後2～3か月先の景気は新型コロナウイルスの状況が大きな影響を及ぼすが、現在の第2波を考えると、電子部品業界は現在の状況のまま推移すると予想される。
		通信業（営業担当）	・継続して客の反応を見ながら、徐々に対面営業をしていく。
		広告業協会（役員）	・新型コロナウイルス感染が拡大している状況であれば、商業施設における大型販売促進イベントも実施できず、それに伴う広告出稿もなくなり、業界全体としては苦しい状況が続く。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスと共存しながらということを考えて、広告、広報の在り方が根本的に変わってくる。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス禍により、売上が前年比60～70%の状況が続いており、現状を良くする兆しがみえない。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・受注件数、低価格、コストダウン、超短納期等、依然として受注環境は厳しい状態であり、しばらくは回復も見込めない。今後ますます同業他社との受注競争が厳しくなる。
		農林水産業（従業者）	・梅雨が長引き、米やその他の作物の収穫量に悪影響を与えると予想される。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・建設業界にも景気の影響が出てくることが予想され、景気は更に悪化する。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・新型コロナウイルス感染予防のため、各種イベントが中止、延期になっていることに加え、取引先の飲食業関係の不振により、受注残が前年比6～7割に落ち込んでいる。
		窯業・土石製品製造業（役員）	・民間投資が落ち込むことに加え、新型コロナウイルスや災害対策の関係で不要不急の工事が延期又は遅れる可能性もある。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンや治療法が確立されていないなか、今後の景気が良くなるという判断をすることは難しい。また、米国、中国の貿易摩擦など、対立関係が浮き彫りとなっているのも今後の懸念材料だと考えている。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大に終わりがみえない限り、厳しい状況が続くことが見込まれる。
		経営コンサルタント	・事実上の第2波が到来しているとの認識が、消費者に外出を自粛させ購買を抑制させる。
		司法書士	・取引先からの受託業務が減少している。登記所における登記申請件数が前年比1割程度減少している。
		公認会計士	・建設業関係はおおむね現状維持で推移するとみているが、小売業、サービス業の売上回復はここ2～3か月では厳しく、全体としての景気は更に悪化するとみている。
	×	建設業（企画担当）	・客先の設備投資計画の延期や中止は、受注予定の減少につながり、受注量の減少は競争の激化、さらには売上の低下に直結する。また、関連する専門工事業者にもその影響が及ぶと推察される。
	×	輸送業（経営者）	・主要製造業取引先の減産は今後も固定化したようである。製品出荷はもろろのこと、工場内の製造に関わる業務も減ることになるので、人員に余剰が発生してくることになる。他の客の売上が伸びないなか、ますます厳しい経営環境になってくる。
	×	コピーサービス業（従業員）	・法人に対する訪問活動が主体で、現状、取引先と従来どおりの商談ができていない。一部電話、メール、FAX等を利用してテレワークで行っているが、対面での商談と同様にはいかず苦労している。また、取引先も新型コロナウイルスの影響で先行き不安なため設備投資を控えている状態である。
	×	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・国内の新型コロナウイルス感染は非常に多くなってきており、外出するにも不安を抱えているというのが一般的である。集まるところに集まらなくなるというのは、それだけ消費量が減ることにもつながっている。この先、ますますそういったことに敏感になることもあるし、手取り収入が下がっているということもあり、厳しさは増すことが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染者の増加による自粛要請が再び高まることを想定しており、移動制限による経済への影響は甚大になる。特に夏休みから秋の行楽シーズンで盛り上がるべき飲食、観光が振るわないことは大きな損失につながる。
雇用 関連 (東北)		アウトソーシング企業（社員）	・現在の新型コロナウイルス騒ぎが収まり、正常に社会が機能することを期待している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・夜の飲食店では、時短営業などにより新型コロナウイルス感染防止策を具体的に取っている店舗が徐々に活気を取り戻してきている。エリア内で感染者が多発しなければ小規模イベントの復活などで更に上向きになる実感がある。
		人材派遣会社（社員）	・3年前から計画していた当社が採用、選考、配置、定着を単独で担う外資生保事務センターの100名規模の増員が、新型コロナウイルス禍の影響なく9～10月に掛けて始動する。
		人材派遣会社（社員）	・新卒採用や中途採用の件でいろいろな業種の経営者と話をしていると、既に採用をストップしている飲食業等では悪い状況は引き続き続くことが予想される。ただ、包装資材、パッケージや建設業の一部は堅調な状況が続いているので、やや悪い状況はそれほど変わらずに推移するのではないかと考えている。
		人材派遣会社（社員）	・求人数の推移を見ても急回復する見込みはなく、一定維持が続くと考えている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの特効薬、政府の施策もなかなかみえないため、年内はこの状況は大きく変わらないのではと考えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ウィズコロナ対応で対面の流通、サービス業が必死に新しい販促に挑戦しているが思うようには伸びていない。加えて、観光業では期待したGo To Travelキャンペーン等の需要が伸びていない。期待度が高かっただけに落胆は大きく、死活問題は続いている。回復が見えての求人なので低迷は続くと思われる。
		職業安定所（職員）	・地域の基幹産業の景況感の悪化は長期化すると予測している。
		職業安定所（職員）	・新規求人数がやや上向き一方で、解雇、雇止めの情報もあり、気になる場所である。
		職業安定所（職員）	・月間有効求人数の動きは今年の3月以降減少傾向が続いており、しばらくは変わらないのではないかと考えている。
		学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス感染症防止の影響は今後も続く、若しくは拡大する感があるので、景気の状況は悪いまま継続されると予測している。
		職業安定所（職員）	・求人への応募や就職件数も前年比で減少しているものの、減少幅が縮小してきている。ただし、まだ回復傾向とはいえない状況である。
		職業安定所（職員）	・業種によっては求人が停滞している状況である。
		×	人材派遣会社（社員）
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響拡大への懸念とこの状況の長期化への不安などにより、人材活用数を手控えたり保留したりする傾向が少しみえてきている。
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス再燃により経済活動の停滞が長期化する可能性が高い。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響は続く。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、地域の最大行事である夏祭りがほぼ中止となって、7月は来客数が一気に落ち込んでいる。今後はどのような状態になっても、今よりはましではないかと考えている。
		家電量販店（店長）	・梅雨が明ければ多少は夏物商材が動くと考えている。また、最近はテレビの動きが良いため、やや良くなる。
		家電量販店（店員）	・梅雨明けが鍵を握っている。エアコンの需要喚起が望まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住関連専門店（仕入担当）	・遅れている梅雨明けと同時に、瞬間的ではあっても夏物商材の販売が見込める。お盆期間中の人の動きの減少傾向も、当社にはプラスの要素となる。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・当面は給食数の戻りが続くともみている。しかし、出張自粛、リモート活用、在宅勤務の定着等で、社員食堂等の利用食数が、新型コロナウイルス流行前に戻ることはないと思われる。コロナ後の状況に対応した食数の確保策が不可欠になる。また、足元では感染者数が増加しており、第2波、第3波の感染拡大となると、むしろ影響が大きくなる。
		都市型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルス感染の第2波、第3波が、どこまで影響を与えるのか次第でかなり左右される。ただし、2～3か月先の予約は確実に増えてきているし、団体予約の問合せ等も入ってきている。
		競輪場（職員）	・電話投票の売上が伸びており、今後も同じように伸びると考えられる。
		設計事務所（所長）	・少し景気が回復するものの、当業界では逆行していくことも予想される。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・雨のため、野菜類の価格が高騰し、家計負担が増えているため、買い控えが出てくる。出荷が増えてくれれば、幾らか持ち直すのではないかと思いい、天候の回復を待っている。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波が来ているような状況では、先が見通せない。なかなか難しい営業活動が続くと考えている。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響について、先行きが依然として不透明なため、変わらない。
		衣料品専門店（統括）	・現在の新型コロナウイルスの問題が収束しない限り、なかなか景気が良くなることは望めない。
		乗用車販売店（経営者）	・当地域を代表する自動車メーカーがようやく通常の生産体制に戻り、次へのステップに向かって走り始めている。しかしながら、裾野の広い産業だけに新型コロナウイルスに対しては厳戒態勢で臨んでいる。商業については、大規模小売店には少しずつ客が戻りつつあるものの、街の小売店は大変な状況と思われる。
		乗用車販売店（販売担当）	・いよいよGo To キャンペーンが始まって、確かにここ1～2日は道路の交通量が増えたような気がする。ただし、抜本的な新型コロナウイルスの鎮静化がないと、客は来ない。観光地を控えて商売をしている当社としては、観光地のホテルやドライブイン等に客が安心して来てもらえるようにならない限り、景気は上向かない。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・グローバルメーカーの状況がつかめない。直前にならないと実態が分からないので、見通しが定まらない。また、新型コロナウイルスの影響がどういう形で出てくるかである。不安定な要素が多すぎる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えており、いつ地元で発生するか分からない状況で、先行きは不透明である。
		一般レストラン（経営者）	・この先どうなるかが全く読めない。ここ1～2年は、利益を出すというより生き延びることしか考えられない。本来なら、秋は良くなるが、全ては新型コロナウイルス次第である。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・現時点では何とも言えず、社会情勢によるのではないかと、先々の不安は変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・県のキャンペーン効果もあり、宿泊稼働率は約50%まで回復してきたが、東京都内での新型コロナウイルスの拡大次第で、先行きは見通せない。少人数の宴会予約も若干入ってきているが、50名を超える人数はまれである。レストランのランチ利用数は平均30名で、以前の約70%と回復の兆しが見えている。
		都市型ホテル（営業担当）	・一旦、緊急事態宣言が解除されて、客が戻ってくる状況だったが、新型コロナウイルスの影響が非常に大きく、なかなか客が戻らない。2～3か月後に今のような状況だと全く読めない。秋、冬にかけては、季節的にも感染症には良くない時期と考えられるので、現時点とそう変わらない。
		旅行代理店（経営者）	・Go To Travel キャンペーンが始まったものの、新型コロナウイルス感染が再拡大しているので、売上の増加はほとんど見込めない。
		ゴルフ場（総務担当）	・今後の新型コロナウイルス感染拡大の動向次第で、良くも悪くもどちらにも行く可能性がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの収束どころか拡大傾向の現状を踏まえると、景気の上昇は見込めない。景気動向は、政府の新型コロナウイルス対策に大きく左右される。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着きを見せない限り、状況は変わらない。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルス感染者がまた、どんどん増えてきている。緊急事態宣言解除後、納品先も少しずつ戻ってきているが、大きなホテルや結婚式場は、ゼロや通常の5分の1というような状態である。今後、感染者がますます増えていくと、緊急事態宣言をした頃のような感じに戻っていくのではないかと。
		百貨店（営業担当）	・景況が改善する材料が見当たらない。再び新型コロナウイルスの感染拡大が見込まれるなか、コロナ以前に戻るには、相当の期間を要することと思われる。
		スーパー（商品部担当）	・イベントやチラシによる集客は自粛中で、また、地域の行事や祭りも自粛している。イベントの実績がゼロという厳しい状況がまだしばらくは続きそうである。
		コンビニ（経営者）	・花火大会を含めた各種イベント等が中止になっており、その分、来客数減少が見込まれ、販売も減るとみている。
		コンビニ（経営者）	・コンビニは年間を通して7～8月の来客数が多く、商材の売れ方も大きい。3か月先となると、今よりはやや悪くなる。また、新型コロナウイルスの影響がどう出るかによって、更に悪くなる可能性もある。
		コンビニ（経営者）	・3か月後、新型コロナウイルス問題が収束するとも考えにくい上、一部上場企業等の決算も赤字が非常に大きく膨らんでいる。これらのしわ寄せが、これから一般の下の方に下りてくるのではないかと。そうなると、コンビニ業界も、もっと深刻な状態になるのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・店の前面道路の大型工事は9か月続き、新型コロナウイルスとのダブルパンチで、しばらく売上上昇の期待ができない。新型コロナウイルスの影響により、夏祭り等の行事が中止となり、例年ある特注がなくなったマイナス要因で、大きく影響を受けている。また、このところの新型コロナウイルス感染者増加で、自粛傾向が長く続くのではないかと心配である。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、観光客の来店が見込めず、悪くなる。
		コンビニ（店長）	・夏祭りなどの祭りもなく、人の動きは悪くなる。新型コロナウイルスも再流行してきたので、良くなっていくとは思えない。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染の第2波が、どれだけ拡大するか分からないため、厳しい状態は続く。
		家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が予測され、在宅勤務などで遠方への外出が制限されるようである。不透明な時代で、何をすべきか何ができるのか、判断が問われる。
		乗用車販売店（販売担当）	・どの部分を見ても、良くなる要素が1つもない。これからますます悪くなる。
		乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルス感染の第2波の状況により、悪くなるのではないかと。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響もあり、購買意欲等がやや低下傾向にある。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が、ますます増えており、夜の仕事はなかなか難しい。スタッフには申し訳ないが、全員休んでもらっている。
		旅行代理店（所長）	・現状、新型コロナウイルスの感染者数が増大しており、せっかくの国や自治体の施策効果が薄れる懸念がある。
		タクシー運転手	・8月も雇用調整して、3分の1の車両で営業する。まだしばらくはこの状態が続くそうである。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者が増えつつある現状で、今後も感染者が減少せず悪化傾向が続くようであれば、当然、景気にも大きな影響が出る可能性がある。
		通信会社（総務担当）	・今月の感染拡大が続くと、2～3か月後には国の制限か、国が何もしなければ客が自発的に制限をかけざるを得なくなるため、やや悪くなる。
		テーマパーク（職員）	・首都圏を中心に新型コロナウイルス感染者が増加しており、Go To Travelキャンペーンが開始されても、来園者が増えそうな雰囲気は全くない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・地方は何かと軍社会で、他の移動手段がないが、新型コロナウイルスの感染拡大を避けるために、客が極めて限定的な使用をし始めている。よって、来店客数は激減する。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染に対する不安の解消が鍵である。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・今は夏場で、エアコンの売行きが良く、売上がある程度担保できているが、この先エアコンが売れなくなった場合、どうなるか心配である。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が、現在よりもっと広がり、観光どころではないという空気が、社会全体に広がると考える。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が終わらない限り、これからますます悪くなる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、運動会や修学旅行が中止になったことから、学販関係の売上が減少する。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・国の方向性をきちんと見極めて、安全な場所と危険な場所を分けた上で、経済活動をしてもらうような環境作りから入っていかないと、人が恐る恐る動いているようでは立ち行かなくなる。今後は更にひどくなって、経済活動の話どころでなくなるのではないかと。
	×	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況にもよるが、政府のGo Toキャンペーンで旅行や外食が増加すれば、自宅で使用する物を扱うホームセンターの需要は下がってくる。
	×	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・新型コロナウイルス感染が収束に向かっていない状況で、受注残も大きく減少している。
	×	一般レストラン（経営者）	・来客数がなかなか伸びてこない。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見えない現状のままでは、会社が潰れる。休業要請があっても補償が伴っていない。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスについては、Withコロナの付き合い方をしっかりしなくては、仕事が出てこない。
	×	タクシー（経営者）	・昼も夜も人の動きが良くないので、この先も悪いとみている。
	×	タクシー（役員）	・国の施策が愚策なので、悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・連日、感染者が拡大するなか、何の手も打たず拡大を助長するようなキャンペーンでは、国民の不安は一層募るばかりで、地元ですら外食に出なくなっていて、逆効果である。現状、大きな売上減にはなっていないが、いずれは巡り巡ってくる。地域内でのTravel、Eatに切り替えた方がよい。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きは不透明である。
	×	通信会社（局長）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで、どのようになるのか等、先が見通せない不安感から、景気は悪くなるとしか思えない。
	×	ゴルフ練習場（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が増えているので、当分の間、観光客は見込めない。
	×	美容室（経営者）	・思ったよりも長引きそうな新型コロナウイルスの影響に、先行きのめどが立たないことが一番の不安である。治療薬やワクチンの開発に成功した企業や大学に懸賞金をかける施策等が、支援対策事案にあがらないだろうか。
企業動向関連 (北関東)		化学工業（経営者）	・受注に結び付きそうな引き合いも出始め、やや良くなると予想している。新型コロナウイルス感染への恐怖心をあおる情報を冷静に判断し、活動することが肝要であり、踏ん張り時と考える。
		金属製品製造業（経営者）	・見積依頼等が多くなっているため、それが通れば仕事が増えて良くなると期待している。
		金属製品製造業（経営者）	・9月には主要取引先以外からの仕事も入っている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の仕事で、秋口から大幅増産の計画があり、今から作り込みを始めている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が増えているので、この先どうなるかちょっと分からない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの今後の状況の見極めができない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・ここ数か月、8月は特に悪く、9月も良くならないと思うので、今後は悪い状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだしばらくは残る。
		輸送業（営業担当）	・今後は梅雨明けし、夏物家電のエアコン、扇風機、サーキュレーター等の物量は、前年並みとなる予定である。ただし、新型コロナウイルスの収束も見えないなか、消費が落ち込むことも予測され、物量確保が心配される。
		広告代理店（営業担当）	・Go To キャンペーンもこけて、新型コロナウイルスの感染も増えており、商業活動に悪い影響が出る。
		経営コンサルタント	・いよいよ新型コロナウイルス感染の第2波が現実味を帯び、地域経済への更なる悪影響が心配される。所得補償や企業の支出経費の負担支援だけでは、経済が回らなくなっている。行動自粛が延びた場合、足元の資金繰りが引き続きタイトになり、全業種で破産や自主廃業が増加する可能性が更に高くなっている。
		社会保険労務士	・秋ぐらいには各種イベントなども開催され、人の動きも元に戻るかと思っていたが、雲行きが怪しくなっている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が進むと、先行きは更に不透明になる。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・落ち込むことなく、稼働している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・8～9月の受注をみると、前年より2～3割減っている。もしかしたら、今後更に、新型コロナウイルスの影響が出て、一段と落ち込むかもしれない。
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルス感染の第2波の傾向によって、活動の制限がより多くなれば、仕事量が減少する可能性がある。
		不動産業（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染が再び広がっており、業務の延期や中止が出始めている。前回の感染拡大の波は何とか耐えたが、再度の休業等となれば、テナント存続も怪しくなり、撤退による賃貸収入の減少も大いにあり得ると考えている。
		司法書士	・新型コロナウイルスの感染の動きと関連があると思うが、新型コロナウイルス感染に慣れてしまわないといけないのかという変な気持ちである。
	x	建設業（開発担当）	・2月から全世界に広がった新型コロナウイルスの影響で、今まで経験したことのない状況が続いている。現在、当社は前年比10%増の受注状況だが、通年で考えた場合、大変不安である。今後、Withコロナで、企業の経営は厳しい状況が続くとみており、今は企業の存続を考えてまい進するほかはない。
	x	建設業（総務担当）	・とにかく先が見通せないため、予測ができない。
雇用 関連 (北関東)		-	-
		人材派遣会社（経営者）	・幼稚園、小中学校等が夏休みに入るの、多少は購買力が伸びてくるのではないかと期待も大きい。夏休みに向けて、飲食、レストラン、遊園地等のレジャー施設、衣料品等の小売関係が伸びていくとみており、温泉等の観光地の動きも出てくる。
		人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスが流行してから、仕事が減っている。売上も本当に少なく困っている。
		人材派遣会社（社員）	・地域の幾つかの企業から、助成金やその他の補助金等でのげられる状態ではなく、このまま1～2か月同じ状態が続いたり悪化したりしたら、事業の継続ができなくなる可能性が大きいという話を聞いている。
		人材派遣会社（社員）	・求職者数に対して長期の事務系案件が不足しており、まだしばらくは厳しい状況が続くと予想される。
		人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品の生産計画は増加しているものの、休業要請もあり、変わらないと予測している。その他職種への派遣は、現在最低の状況で、これより下がりようがないため、変わらない。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は0.96倍と、前月に比べ0.07ポイント低下し、前年同月比でも0.5ポイント低下している。産業別で見ると、運輸業、郵便業が前年同月比68.3%減、サービス業が同52.1%減となっている。
		職業安定所（職員）	・製造業では、8月からの受注見込みが立たないため、休業を実施する事業所がある。
		-	-
	x	学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が終息しない限り、今年度の景気回復は見込めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
----	----------	-------	----------------

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (南関東)		スーパー（販売促進担当）	・食品中心の買上点数、買上単価の2けた増は、新型コロナウイルス感染者数増に伴うものであり、今後も巣籠り消費の増加は続くと考えられる。
		旅行代理店（販売促進担当）	・9月になると教育旅行で修学旅行や国内の団体旅行も動き出すので、その分数字的にも上がる。また、Go To Travelキャンペーンが始まったので、国内を中心に個人旅行の数字も上がってくると思うので、2～3か月先は良くなる（東京都）。
		商店街（代表者）	・今まではほとんど商売になっていなかったもので、それと比べれば少しは持ち直してきているが、景気が回復したわけでは全くない。現状からあと2歩も3歩も数字が持ち上がっていかないと、商売としてはなかなか厳しい。自助努力しかないが、しっかりと方向性を自分で決めて、何か新しいものを取り込まない限りは、商売は非常に難しい。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で家にいることが多くなったため、家電製品、特にエアコンがよく売れている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・希望的観測だが、2～3か月後にはやや良くなる方向に向いてもらいたい。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・2～3か月先には新型コロナウイルスの影響が減ってくる。また、そう期待している（東京都）。
		一般小売店〔生花〕（店員）	・9月はお彼岸があるので今月より多少は良くなるのではないかと期待している。今月は東京盆だったが、何だかぱっとしないまま終わってしまった。新型コロナウイルスが早く収束してほしい。このままでは新型コロナウイルスに店を潰されてしまう（東京都）。
		百貨店（売場主任）	・希望的観測ではあるが、新型コロナウイルスが若干でも落ち着く、あるいはインフルエンザ的な扱いになることを期待している。客の買物意欲は非常に高いので、それに期待する（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新しい日常の秋冬シーズンを迎えるに当たり、新たな必要品のニーズが見込まれることと、郊外店であるため、都心回避の風潮から、新規顧客層の来店が増加傾向にある（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスによる疲れが出そうなことと、Go To Travelキャンペーンの影響がある。
		家電量販店（経営企画担当）	・梅雨が明け、夏本番を迎えるので、エアコン需要が回復することを期待している。高付加価値素材に対しては、需要旺盛の感を持っている（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売は余り芳しくない。来場者数が増えているので、将来的にはこのまま良くなるのではないかと。
		乗用車販売店（総務担当）	・中間決算月で、新車、サービス需要が伸びると予想している。中古車市場が活発化すれば、更に上乗せがある。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・今が大分悪くなっているもので、これからは是非良くなってもらいたい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・Go To Travel キャンペーンによる動きは多少出るものと思われるが、従業員に感染者が出れば営業もできなくなる可能性があるため、先行きは読めない。
		旅行代理店（営業担当）	・2～3か月経過すれば、Go To Travel キャンペーンが幅広く認知されて、旅行需要が高まると予想する。
	通信会社（経営者）	・自粛期間が終わり、自粛モードも解けて、街中に人が増え、消費も徐々に回復する（東京都）。	
	通信会社（管理担当）	・テレビとインターネットの融合が本格的に進むと想定される。IPTVで公開し、人気の高いコンテンツが地上波で放送され、そのプラットフォーム会社に注目が高まる図式がある。また、携帯電話会社の格安SIMについては、大手キャリア並みの大容量プランが広まっており、今後の勢力図は徐々に変わっていくと考えられる。	
	住宅販売会社（従業員）	・展示場への来場者数も増えているので、今後も良くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔和菓子〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数がまた極端に増えてきているため、今後どうなるか不安である。また、秋のお祭り、イベント等は既に中止が決定しているので、売上が見込めない。
		一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの治療薬、ワクチンが開発され、全てが再開されるまでは、今の状態が続く。
		一般小売店〔文具〕 (販売企画担当)	・店頭部門の売上はおおむね良い。前年比115～120%、2けた水準の伸びなのは間違いない。外資部門は大目案件が圧倒的に減っており、特に設備投資関係、事務所のリニューアルや大型コピー機の更新などが全て停滞している。客がテレワークになり、使用機会が減ってしまっているので、影響は大きい。こうした状況がずっと続いているので、この先も変わらないのではないかと。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるため外出を控えてほしいと言われており、イベントなどもなく、販売ができない。普通の状態に戻り、ホテルなどからの注文が来るようにならないと、売上も上がらない(東京都)。
		百貨店(売場主任)	・首都圏の中心にある店舗は来客数の30%減が続いている。新型コロナウイルス感染症に関する環境が変化しない限り、来客数の戻りは見込めない(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・今後2～3か月も新型コロナウイルスの影響が継続すると考えられるなかで、状況が改善することは見込めない。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響が改善する具体的な効果が認められる状態にならないと、本格的な消費行動の回復は見込めないのではないかと。先行きが不透明な状態が続くなかで、今後の景気の見通しを立てることは非常に難しい(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルス感染者数が増え、来客数の増加は見込めない。現状の水準がしばらく続く(東京都)。
		百貨店(広報担当)	・足元の新型コロナウイルス感染者数の拡大傾向に歯止めが掛からない。最大の行楽シーズンである夏休みについても、外出自粛ムードが継続すると思われるため、現状から大きく上がる要素も下がる要素も見当たらない(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向となり、更なる来客数の減少が懸念される。モチベーションやイベントの中止が続いており、その影響は今後も続くと思われるため、早急な回復は期待できない(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染が最近拡大傾向にあり、来店頻度や滞在時間に影響が出てくるものと予測している。当面はこの繰り返しになり、しばらく継続する(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・新型コロナウイルスの感染者数は日々過去最高を更新しており、先の状況がなかなか見通せない。既に第2波が始まっているとの声もあり、再度の緊急事態宣言など、今後の状況によっては大幅に悪化することが懸念される(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・客はまだまだ外出を控える傾向にあるものの、来客数は回復しつつあり、今後も緩やかに伸びると思われる。今よりは景気が良くなる。しかし、お中元ギフトはインターネット販売への移行が顕著で、ギフト会場での売上は想定よりも減少している。客には「新しい生活様式」への動きもみられ、集客、販促方法等も試行錯誤の段階であり、取引先が受けた新型コロナウイルスの影響も大きいことから、従来の状況にまで回復するにはまだ時間が掛かる。
		百貨店(店長)	・いまだ来店を怖がる客も多く、また、ぜいたく品は必要ないという感覚が芽生えており、日々東京での新型コロナウイルス感染者数が増えている状況下においては、ワクチン開発など抜本的な打開策がないうちは、年内は今と同じように推移し、変わらないと推測している。必需品である食品関連は前年より1割増し程度で推移している(東京都)。
		百貨店(企画宣伝担当)	・直近では首都圏で新型コロナウイルス感染拡大の勢いが増してきている。今後の来客数、売上に大きく影響する可能性があるため、景気の先行きは不透明である。営業時間を1時間短縮しているもの、来客数は前年比マイナス15%から改善していない。
		百貨店(副店長)	・変わらないというより、分からないというのが正直なところである。いずれにせよ、新型コロナウイルスの感染状況、あるいはワクチンの開発状況に大きく左右される(東京都)。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（販売担当）	・競合との価格競争があり、平均単価が下がる傾向にある。客は前年を上回る点数を買ってくれているが、単価が下がっている分、客1人当たりの買上額がなかなか前年に届かない状況で推移している（東京都）。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えてきている。そのためか巣籠り消費で、また家庭内の食事が増えているようである。当社は食品スーパーなので、売上が伸びている。この傾向はしばらく続きそうである。
		スーパー（店長）	・都内の感染者が日に日に増えている状況のなか、3か月後も客自身が不要不急の外出を控え、近くのスーパーマーケットで買物して、自宅で巣籠りというような状況が続くのではないかと予測される。3か月後も今のままでいくのではないかと（東京都）。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルスの影響により、内食需要が堅調である。
		スーパー（営業担当）	・今後も、内食化傾向が薄まるとはいえまだ継続する。生鮮食品、生活必需品等の需要がまだまだ多いと思われるため、スーパー業界は今の数字がベースで変わらないのではないかと（東京都）。
		スーパー（ネット宅配担当）	・新型コロナウイルスの影響は、ここ数か月では変わらない。世の中の景気はかなり厳しいと思うが、食品小売業に関しては景況に逆行して前年比を超えていく。
		コンビニ（経営者）	・売上、来客数共に回復してきているが、先行き不安な状況で、現状を維持できるか常に不安な日々が続いている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で経済がどうなっていくかわからないが、現状維持ならよしとしなくてはならない。
		コンビニ（エリア担当）	・例年に比べ梅雨明けが遅れていることと、週末の外出を控える傾向から、最盛期である8月初旬の売上は厳しくなる見込みである（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・梅雨は明けると、新型コロナウイルスの感染状況に改善がみられない（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・底辺のままで変わらない。今後良くなってほしいが、特別良くなる理由もないので、しばらくは底辺のまま進むのではないかと。秋口になって幾らか良くなるのではという希望的観測もあるが、今は良い材料を探すのが大変なくらいである。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染第2波の真ただ中にあり、当社が扱うイベント等で着用する衣類に対する展望は期待できない（東京都）。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスが家電量販店に与える影響は、郊外型店舗戦略を取る企業においては大きくはない（東京都）。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響による経済的な低迷が、個人消費にも影響を与えている。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算を迎えるが、新型コロナウイルス感染の第2波を考えると変わらない。
		乗用車販売店（渉外担当）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで出るか不透明である。
		その他専門店 [貴金属]（統括）	・現在の新型コロナウイルス感染者数の推移をみると、緊急事態宣言がなくても、自主的に自粛する客は増える可能性がある。営業が可能ならば一定の売上は確保でき、景気が悪くなることもないと思えるが、良くなるとも考えにくいので、現状と変わらない（東京都）。
		その他専門店 [雑貨]（営業担当）	・Go To Travelキャンペーンが東京除外となったため、巻き返しへの期待は薄い（東京都）。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（団体役員）	・基本的に需要が減少傾向にある（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	・新型コロナウイルスが2～3か月で落ち着くとは思えない。引き続き来客数減少の厳しい状況が見込まれ、景気は悪い状態が続く（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・2～3か月先も恐らく今とほとんど変わらない。ケータリングはないだろうし、店にもそんなに客は入らない。この低い状態が2～3か月後もずっと続く。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数の推移が大きく関係するので、長期化すればするほど、回復に時間が掛かる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・3か月後も新型コロナウイルスの影響が多分にあると思うので、今の悪い状態が続くとしか考えられない。もっとひどくなる可能性もある。
		一般レストラン（経営者）	・暮れの宴会までは現在のような調子が続く。フリー客に関しては、自粛に飽きてきて、飲みに行きたい、人と会話をして楽しいひと時を過ごしたいというような雰囲気があるので、現在くらいの売上はフリー客だけでも何とか維持できるような感じがしている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・ランチにしても夜のフリー客にしても、客は戻ってきているが、やはり団体の宴会予約が入らないので、売上は余り変わらない（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・明確な改善の方向性が出ない限りは、今と同様の状況が続く（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・新型コロナウイルス感染第2波の影響が社員食堂等にとどのような影響を及ぼすか判然としないため、楽観視できない。したがって、今後数か月は現在の状態が続く（東京都）。
		都市型ホテル（経営者）	・当県を含む首都圏、とりわけ東京の新型コロナウイルス感染者数が激増している状況のなかで、当地域を取り巻く環境は余り良くなるという見込みはないため、現状のままで推移するとみている。このような状態が少なくとも今年一杯、長ければ来年3月頃までは続くか、更に悪化するのではないかと。政府のGo To キャンペーンの迷走も、我々にとっては混乱を招いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・変わらないというよりは、新型コロナウイルスの感染状況次第なので、分からない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、宴会婚礼、レストランいずれも、全般的に予約がほとんどなく、先々の動きも皆無で先が読めない状況が続いている。経費削減の観点から一部休業を続けなくてはならず、最悪の状況から抜け出せていない。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、市場がどうなるか分からない（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・Go To キャンペーンに期待したが、都民や都内発着が対象外となり、出鼻をくじかれた（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響により、世の中の動きが非常に鈍っている。治療薬やワクチンができればまだ違うのだろうが、仮にできたとしても、これだけテレワークやリモートワークが進んでいると、今までのように商売が動くかどうか全く読めない。とにかく、1日も早い収束を願うが、現状ではなかなか変わらない（東京都）。
		タクシー（経営者）	・年内は今のままの状況が続く。下手をすれば、1年後も今の状態のままのような気もする。年明けには飲食店やそれに付随する業界は壊滅的な打撃を受けるのではないかと。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染の第2波が来ていると思うが、政府が緊急事態宣言を再発令しなければ、現状の景気を維持できるのではないかと（東京都）。
		通信会社（社員）	・自粛の影響は春先と変わらず、今後も続く（東京都）。
		通信会社（社員）	・MNOの過度な割引がどこまで続くか判断できない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの収束が見通せないなかで、元の状況まで回復することは難しい。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続く見込みである。
		通信会社（営業担当）	・契約件数は前年同月並みまで回復してきているものの、転居の動きが不透明であるため、横ばいと想定している。
		通信会社（営業担当）	・良くなる材料は見当たらない。
		通信会社（経営企画担当）	・新型コロナウイルスによる影響の出口がまだまだ見えてこない（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・当分の間は低調なままで推移するものとみている（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・政府の援助等がなければ、当面は変わらない（東京都）。
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が拡大気味で、消費活動全般が落ち込んで回復していない（東京都）。
		観光名所（職員）	・2～3か月先でも、新型コロナウイルスの影響で観光地はかなり厳しい。東京都の自粛要請等もあるので、今と状況は変わらない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		パチンコ店（経営者）	・夏休みシーズンに入り、客の動向に変化がみられる一方で、不要不急の外出自粛等のアナウンスや、秋口に向けた新型コロナウイルス感染再燃への警戒感から、一進一退の動きになることが予想される。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルス感染者数が最近また増えており、南半球でも増え始めているので、売上は半分くらいで推移すると考えている。
		その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（営業担当）	・7月に入り東京都の新規感染者数は3けたが続き、さらに過去最多を更新するなど、新型コロナウイルスはまだまだ収まりそうにない。しかし、経済のことを考えてか、再度の緊急事態宣言や休業要請は出なさそうなので、6～7月と同じような来客状況が続く（東京都）。
		設計事務所（経営者）	・現在動いているプロジェクト以外の話が入ってこないのので、今のままで推移する。
		設計事務所（経営者）	・一時期の非常に厳しい状況からは脱した感があるが、民間案件については相談等もなく、当面は今のまま推移する。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの感染者数が再度増えており、国の方針も見えず、先行きの見通しがこの3か月で見えてくるとは考えにくいので、今の状態がこのまま続いていく（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・一度は落ち着いた新型コロナウイルスの感染者数が再び増えてきている状況を考えると、景気が完全に回復するとは思えず、今月ぐらいのやや悪い状況のままで変わらずに推移するのではないかと。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・2～3か月先は秋頃になるが、相談のほとんどない状況から、今のところ先行きについては考えられない。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・建材需要が極端に減るとは思わないが、上向く材料は乏しい（東京都）。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染状況の悪化と、政治の無策が追い打ちをかけ、消費者の不安が日々増大し、比例して財布のひもは少しくつ固くなっている。コロナ禍が落ち着く見通しがなく、大きな財布を持っている世代の不安が解消されないと、当地域のような30代超がボリュームゾーンの落ち着いた街は厳しい（東京都）。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で営業もかけられず、キャンペーンも全て中止となっている。マスク着用、消毒など気を付けているが、感染してもさせてもいけないので困ったものである。依頼のあったことのみ対応している。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、非常に厳しい時代が来るような気がする。客の方も、自分の生活費にあてるだけで精一杯になっており、当店のような耐久消費財を扱っている店は、ますます悪くなる（東京都）。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響に改善が見込めず、悪い上に、長期に渡ることによって更に業態が悪くなっていく。客の様子からも販売量は減ってくると考えている（東京都）。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・完全なテレワークではないものの、週2～3日のテレワークが定着したことにより、法人客の文具需要が落ちてきている。また、文具業界では、3密防止のために見本市や新商品発表会等の開催が中止となり、新商品の発売や情報共有が遅れ気味となっている。このような状況が店頭の商品ぞろえにも影響を与えており、なかなか売上アップにつながらない要因ともなっている（東京都）。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・先行きが見えない。再度外出制限をされると落ち込む。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・自家需要のお茶は伸びているが、ギフト商品が減少している。出掛ける人が少ないため、土産物がやや減っている。全体的に売上も落ち込んでいる。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波が懸念されている。その影響によっては、再び営業縮小若しくは臨時休業になり得る（東京都）。
		スーパー（経営者）	・先のことは読めないが、2～3か月先は今よりは多少悪くなるのではないかと予想している。その理由としては、今が良いということと、他の業種が大分厳しい状況にあるので、消費が冷え込むのではないかとということである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・経済状況が決して安定しているとはいえないなか、新型コロナウイルスの影響で失業率が悪化し、打撃を受けている業界も多いので、今後更に経済状況が悪化することも十分考えられる。厳しい状況はこれからも続く（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・当店では、生活必需品、頻度品を中心に販売をしており、季節性の高い物、又はイベント性の高い物の売上は落ち込んでいる。特に、インバウンド関係の化粧品などは売上が3割以上落ちている。客は決して購買に積極的ではなく、家で過ごすための商品を仕方なく買っている。今後新型コロナウイルスの感染が拡大すれば、商売は更に厳しくなっていく。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスと、近隣に競合店が1店オープンした影響がある。
		コンビニ（経営者）	・毎年この時期は県営のプールで店がにぎわうが、プールの開催が中止となり、影響を受けるのは確実で、前年比50%は必至である。
		コンビニ（経営者）	・少し前に緊急事態宣言が解除されて、また仕事ができるようになったと言っていた人たちも、再びお休みになってしまったそうである。当店も週末は少し来客数が増えたが、平日の夕方からはやはり減っている。ただし、今までは夜9時や10時はゼロに近かったところが、終バスの時間にほんの少しだが混んで、その日の夜か次の日の朝に食べられるような物を客が買っている様子が見受けられる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの陽性者が増えている。自粛ではないが、人が外に出なくなっている。飲食も減っているように感じるので、まだまだ景気が戻るという感じにはなっていない。
		衣料品専門店（経営者）	・キャッシュレス決済の5%還元もなくなり、Go To Travelキャンペーンに期待したが、新型コロナウイルスの影響で不要不急の外出も自粛になり、購買意欲も減少している。高齢者の節約志向がますます強まり、景気は悪くなる。
		衣料品専門店（店長）	・今月に入って、明らかに新型コロナウイルス感染の第2波が来ているため、政府の緊急事態宣言の再発令もあり得る。4月のときよりも身近に感染者が発生するようになり、客も行動自粛は避けられないと感じている。
		衣料品専門店（役員）	・新型コロナウイルス感染の第2波がこのまま推移したら、中高年主婦層の外出が減るのではないかと。旅行等の外出用衣料品の需要は見込めない。
		家電量販店（店長）	・今月前半と比べると給付金の影響はやや少なくなっている。新しい政策がなければ2～3か月後は今より景気は減退すると思われる。
		乗用車販売店（経営者）	・今のままの状況だと、売上の減少が続く。
		乗用車販売店（販売担当）	・車関係については、いろいろなイベントができないため販売台数が減少し、落ち込んでいる。建設関連についても、東京オリンピック延期の影響などがあり、受注していた工事が延期になっており、景気が悪くなっている。今後も新型コロナウイルスの影響が続き、更に景気は落ちていく（東京都）。
		乗用車販売店（営業担当）	・国民の所得が減り、高額商材を買えなくなっている（東京都）。
		住関連専門店（統括）	・まだ外出自粛が続いているので、当分は今の状況が続く。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が秋口から現れてくる。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の発表を毎日注視する状況が続いている限り、好転はしない。
		高級レストラン（営業担当）	・年間を通じて最大の商戦期である12～1月の忘新年会への影響を、どこまで最小限に食い止めることができるかがポイントとなるが、団体需要が期待できない現状を踏まえると、非常に不安を感じる（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続いている。第2波も近づいている。追加融資がどうにか決まりそうで、少し命が繋がった感じだが、このままの状況が続けば終わりに近づくと（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染の第2波が起きているので、その影響が出てくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続く。倒産する会社も増える（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染の第2波が今来ている。第3波が来る可能性もあるので、見通しが立たない。
		旅行代理店（従業員）	・学校の夏休みが短くなることで、家族旅行の機会がなくなり、販売チャンスが減る（東京都）。
		タクシー運転手	・とにかく今は新型コロナウイルスの影響で、タクシー業界はめっちゃくちゃである。余りにも影響があり過ぎて、とても仕事するような雰囲気ではない。今後が心配である。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が大きいので、できるだけ早く有効なワクチンができることを望んでいる。皆同じだと思うが、東京オリンピックも延期になり、景況感が全く改善しない。早く、以前のようにとまでは言わないが、ある程度営業できるようになり、家族と生活を続けていけることを望んでいる。個人タクシーを始めて約20年になるが、今までに全く経験したことのない未知の世界に入っている（東京都）。
		タクシー（団体役員）	・新型コロナウイルス感染が収束しないと、人が出歩かない。すぐに改善されるとは思えない。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大は、東京エリアでは予断を許さない状況である。感染防止に気を配りながら、こちらからのアクション営業を少しずつ開始しているが、説明時間を思うように取れず、客から来ないでほしいという意見も出始めている。数字的には例年同時期より低下しており、客からの問合せによるリアクション営業も低下傾向にある（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・コロナ禍でどうやって生活していくのか。新型コロナウイルスに感染しない接客方法、感染防止対策、回復後のり患者や県外の人への差別や偏見等、新しく生まれた弊害をどう崩していくのか。今までのような偏見がない経済活動に戻れるかどうか。世間一般に「新しい生活様式」が定着しないと、なかなか経済活動に動きが出てこない。
		その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	・秋口に入るので、新型コロナウイルスの感染再拡大が不安である（東京都）。
		その他サービス[学習塾]（経営者）	・新型コロナウイルス等の影響で、対面授業をオンライン授業に切り替える生徒や、電車などを使って通うのが嫌だという生徒が出ており、生徒数が減少しているため、売上も減っている。
		その他サービス[保険代理店]（経営者）	・秋に向けての消費控えがある。また、初めての経験となる社会経済システムの変化に、不安を感じながら生活していくことによる不透明感がある。
		その他サービス[学習塾]（経営者）	・新型コロナウイルス感染症対策を行い、おびえながらの経済活動が続いているので、良くなることはしばらくない。
		設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの社会に与える影響、経済活動の制限次第である（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・7月に入って契約本数が減ってきていること、従来8月は不動産が余り伸びない月でもあることから、景気は悪くなっていく。新型コロナウイルスの影響があるか分からないが、全体的に活気があるようには感じない。
		住宅販売会社（従業員）	・新規契約、受注が目に見えて減っていることから、売上の減少は必至である。
	×	一般小売店[家電]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数がどんどん増えており、G o T o キャンペーンも、逆に尻すぼみになっていくような気がする。このままの状態だと、どうなっていくのか、先の見通しが立たない（東京都）。
	×	一般小売店[食料雑貨]（経営者）	・密の中の商売が前提の店作りであり、ソーシャルディスタンス、マスク着用では商売として成り立たない。中途半端な経済を回す政策では時間が掛かり、事業者は持ちこたえられなくなる。市町村単位でロックダウンし、早期回復が必須である。今の政策では、新型コロナウイルスのワクチンが潤沢に使えるようになるまで時間が掛かる。
	×	百貨店（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染者数増加が止まる気配がない。自粛を促す風潮が広がっているため、より悪くなるのは間違いない（東京都）。
	×	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波が危惧されること、これまで耐えてきた企業の経営状態の逼迫が表面化すること、世界的な感染拡大により、ますます国際情勢が緊張することなどから、悪くなる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（経営者）	・毎年夏場は売上が減る。
	×	スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルスの影響は拡大しており、収束が見えないなか、景気は悪化していく。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がかなり深刻になっている（東京都）。
	×	衣料品専門店（営業担当）	・今の状況が続くと、倒産、廃業が増える。政府も全国に新型コロナウイルスを拡大させるような働きかけをしているため、日本も世界と同様の状況になるだろう。ワクチンができない限り、国が滅びる。
	×	家電量販店（店長）	・良くなる要素が見当たらない、消費税増税後の反動で前年より数字が良く出る可能性はあるが、今より良くなるわけではない（東京都）。
	×	乗用車販売店（店長）	・現状を考えると、新型コロナウイルス感染の第2波が迫っているように感じられるので、今後の動向には不安を感じずにはいられない。
	×	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響による、世界的な景気の後退と消費マインドの冷え込みは不可避であり、先の見通しが立たない（東京都）。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・誰も将来の予測ができる状況ではない。言えることがあるとすれば、新型コロナウイルス感染者数が低めで安定して推移するだろうということくらいである（東京都）。
	×	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・悪くなるどころか、終わりだと思う（東京都）。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染者数が増大傾向にある。東京以外でも増加が顕著となっている。
	×	一般レストラン（経営者）	・東京都を中心に新型コロナウイルスの感染者数が増えているのに、東京を除外してのGo To キャンペーン実施は、普通に考えたら訳が分からない。都、あるいは周辺自治体の首長たちが言っていることと全く違うことを政府が言っているわけで、そんな状況では、我々飲食店はどうしたら良いのか全く分からない。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの埼玉型がまん延しているなどとテレビ等で何度も報道されているので、客は店に足を運ぶことなどできない。電話の1本すらない。
	×	旅行代理店（従業員）	・当社は団体旅行を主として営業活動を行っている。新型コロナウイルスに対する有効なワクチンもなく、感染拡大が続いている状況では、現在もこれから数年間にわたっても、売上を上げることはできないと予想される。会社の方針として、営業部門の廃止と事業活動の終了が決定された。
	×	旅行代理店（総務担当）	・7月に入り、新型コロナウイルスの感染者数が激増しているため、団体の取消しが続いている。Go To Travelキャンペーンに大きな期待をしていたが、感染者数の激増に伴い、先の予約の取消しも多い（東京都）。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症が収束する見通しが立たないので、開発中のワクチンが出回るまで、当分の間、景気は悪い状態のまま推移する（東京都）。
	×	タクシー運転手	・先が見えない。新型コロナウイルスの感染者が減るのを待つばかりだが、逆に増えているのが現状である。仕事は多少あるだけ有り難い。以前のような利用が戻るのを待つしかない。
	×	通信会社（局長）	・新型コロナウイルスの影響は対面営業が主流の当社においては大打撃である。テレセールスに軸足を移す予定ではあるが、2～3か月先ではまだ営業成果は現状から下降線をたどる（東京都）。
	×	ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言等による外出自粛の影響は、社会全体として徐々に景気が悪化していく。米国、中国間の状況悪化は、世界経済を震かnsせていくのではないかと不安である。今が底辺とは思えない。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からない限り、改善は期待できない。政府や自治体の対応に一貫性がみられず、首都圏を中心に感染拡大が進んでいる状況下で、旅行外出を促進するなど、アクセルとブレーキを同時に踏むようなことをしている限り、改善の兆しがみられないことなど自明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場] (支配人)	・新型コロナウイルス感染の第2波の懸念がますます強まっており、客足が遠のく(東京都)。
	×	美容室(経営者)	・早く新型コロナウイルス感染症が落ち着いてほしい。
	×	その他サービス[福祉 輸送](経営者)	・多くの人が自分や家族の感染、仕事や学校の先行きに大きな不安を持っている。それを払拭しない限り、景気は相当悪くなる(東京都)。
	×	その他サービス[立体 駐車場](経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているので、悪くなる。
	×	設計事務所(所長)	・世界的にも問題になっている新型コロナウイルスの影響と同時に、日本では東京オリンピックの延期によっても相当な景気の冷え込みが目前に迫っている。したがって、仕事も減少してくることが予想される。
	×	住宅販売会社(経営者)	・新型コロナウイルスの感染が早く収まらないと景気が戻らない。このようなときこそ、経済波及効果の大きい住宅が売れるような対策を必要としている。
企業 動向 関連 (南関東)		建設業(従業員)	・新型コロナウイルスの影響で停滞していたが、最近再び動き出しているように感じる。
		税理士	・新型コロナウイルスのワクチン開発が進むことを前提に、前向きな意見も聞かれ始めている。希望としては今よりは良い状態になってほしい。
		食料品製造業(経営者)	・これからの時期は、帰省土産の需要が多いのだが、人が外出を控えるように思うので、期待できない。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	・全ての取引先で仕事が少なくなり、この先打つ手もなく、どうすれば良いか分からなくなっている。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	・例年8月を過ぎれば受注量が増えてくるが、今年は余り変わらない(東京都)。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・法人関係の取引先からはいつものように注文が入ってきており、少し量も増えているように現場では感じている。これまでは店頭での飛び込み客や初めての客もあったが、やはり新型コロナウイルスの影響で外出を控えている客が多く、レジスターでの売上が減ってきている傾向にある。法人は増加傾向だが個人は減少傾向ということから、見通しは変わらない(東京都)。
		化学工業(従業員)	・現状は下げ止まっているが、今後も新型コロナウイルスの影響が続くと思われるので、先行きが大きく変わることはない。
		化学工業(総務担当)	・現状が底であり、これ以上の2番底はないものとみている。しかし、回復材料はなく、今の悪い状況が当面続きそうであり、流通在庫増も心配である。インバウンド需要の回復には年単位の時間が必要ではないか。
		金属製品製造業(経営者)	・今月に入って引き合い件数が回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染者数が全国的に増加しており、景気の先行きは予断を許さない。
		一般機械器具製造業(経営者)	・自動車メーカーのラインの稼働率ももっと上がらないと、部品屋の当社への注文は増えない。
		その他製造業[化粧品] (営業担当)	・理美容サロンは新型コロナウイルスの影響を受けやすいため、先行きが正直見えないが、今のところ明るい材料は少ない(東京都)。
		輸送業(経営者)	・今後の新型コロナウイルスの感染状況によるが、拡大を抑え込み、悪化の進行に歯止めが掛かったとして、現状維持であれば良しとすべきである(東京都)。
		輸送業(総務担当)	・閑散期がまだ続くことと、輸出がないため、今後も現状が続く。
		通信業(広報担当)	・新型コロナウイルス感染症の再拡大を受けて、当面は現状の厳しさが続く見込みである(東京都)。
	不動産業(総務担当)	・夏を境に新型コロナウイルスは一旦収束と思っていたが、難しいようである。飲食系テナントの中には、売上が伸びないなかで、従業員が新型コロナウイルスに感染し、臨時休業に追い込まれる例も出ており、正に踏んだり蹴ったりである。この先も明るい兆しは見えてこない(東京都)。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		税理士	・米中の景気に大きく左右されるが、米国は新型コロナウイルスの感染者数が非常に多く、収束するかどうか、景気もどうなるか分からない。中国も今どうなっているのか分からなくなっている。日本も新型コロナウイルスの影響を大きく受けており、どうなっていくのか分からない。政権が変わったら、経済等も変化していくのではないかと（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染の第2波といっても過言でない状況下で、取引先工場等の稼働率が上昇するめが見えてきておらず、当社も売上減の状態が続くものと予想している。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・全体的にそれほど大きな動きはない。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・最近の新型コロナウイルス感染者数増加で、予定していたイベントが中止や延期となっている。まだまだ先が見えないが、少しずつ動きが出てきているので、現状よりは回復すると期待している。
		金属製品製造業（経営者）	・各地の自然災害により設備等の補修関係の仕事が少しずつあり、仕事は続いているが、職人全般に行き渡るほどの量はなく、休業せざるを得ない日が出てきている。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスによる影響と、米中経済摩擦が起きていることから、国内製造業にとってプラスの方向にはない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの問題は先が見えない。マスクの話でもまだ当分は感染者数が増えると言っており、これから株価も下がるだろうし、経済も更に悪化する（東京都）。
		その他製造業〔鞆〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、相当に厳しい状況にある。ワクチンが開発されるまでは安心して生活できず、景気が良くなるということは見通せない。
		金融業（総務担当）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況から、沈静化はまだまだ先の話になるので、各業種が安定して商売できるのは先になると思われる（東京都）。
		金融業（役員）	・新型コロナウイルス感染者数の増加による消費者マインドの低下、夏休みの短縮による消費機会の減少により、地元商店街では8月の観光客数の大幅減少が見込まれている。夏に予定していた大規模イベントが全て中止となったことも大きな痛手となっている。
		不動産業（経営者）	・前年と比較すると賃貸、売買共に低調である。特に、駐車場の賃貸が少なくなっている（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・既存の契約金額の値上げがないなか、人手不足により募集単価が高騰しているため、利益を圧迫している。新型コロナウイルスの感染者数が増えてくると、更に厳しくなるかもしれない（東京都）。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・毎年秋に行われていた、1年で一番大きいイベントが中止となった。それに代わる受注が今のところないので、悪くなる（東京都）。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・新型コロナウイルス感染者が急激に増加してきていることから、再度緊急事態宣言が発令されるのではないかと心配している。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・売上にも影響が出始めており、回復まで時間が掛かりそうな気配がある。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、クライアントの委員会、セミナー及び講演会はWeb開催が続くとみられ、今後も受注量の減少は避けられない（東京都）。
	×	プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がかなり出てきているので、3か月先は相当景気が悪くなる。
	×	プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、医療品容器の受注には大きな落ち込みはなさそうだが、化粧品容器の受注に回復傾向がみられない。
	×	精密機械器具製造業（経営者）	・来月は前年比マイナス50ポイント、前年比マイナス77ポイントと、リーマンショック時以上の下げ幅となる。これが年末まで続けば経営危機に陥る。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で全てが下降傾向になっている。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスに関するメディアの報道がひどい。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、更に景気が後退する。公共工事も思ったより出ていない。
	×	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、イベントが開催されなくなっている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	金融業（従業員）	・多くの中小企業は経費削減や営業手法の見直しによって収益改善に努めている。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の第2波への懸念から、資金繰りの不安は大きい（東京都）。
	×	金融業（支店長）	・新型コロナウイルス感染の第2波が言われており、経済活動を再開しながら感染拡大を抑える施策には限界がある気がしてならない。消費マインドが持ち上がるには、感染収束が見えないと厳しいのではないかと。
	×	広告代理店（従業員）	・年内はほとんどのイベントで中止が決定しており、売上が見込めない。
	×	広告代理店（営業担当）	・エンターテインメント業界のみならず、一般クライアントのインバウンド需要の急激な冷え込みなどが、商品販売等にこれから大きく影響してくる。必然的に宣伝費の削減に響くのではないかと（東京都）。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルス感染の第2波も始まっており、ますます冷えてくる。テレワーク推奨の声もあるが、可能な業種は限られた範囲であり、物の流れには人手が掛かる（東京都）。
	×	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・新規案件の話がほとんどなく、空き要員の話しか来ない（東京都）。
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	・契約終了は少なく、雇用は悪化しなさそうである。新規の募集も復調傾向にある（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスによる影響で採用を控えたり、派遣社員の契約を終了したりして人員を削減していた企業の中に、下期に向けて人材の受入れを考えている企業が増えてきている。
		人材派遣会社（社員）	・通販物流が堅調であり、物流センターの新設を控えているため、倉庫内作業の人員依頼が見込める。オフィス系事務員についても、在宅派遣の増加など一定数の依頼は維持できると想定している。
		人材派遣会社（営業担当）	・今のままの状況であれば、やや良くなっていく。ただし、最近の新型コロナウイルス感染者数増加より、状況は不透明になっている（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・良くなると期待して、様々なところに投資を始める企業が多くなると予想している。
		職業安定所（職員）	・再度の緊急事態宣言が発出されないという前提だが、求人数から、底は打ったと判断している（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数等は同じ状況が継続する見込みである。
		求人情報製作会社（営業）	・今の悪い状態が続く。新型コロナウイルス感染の第3波が秋口に来るのではないかと予想している（東京都）。
		求人情報誌制作会社（営業）	・これ以上悪くなることは考えにくい。新型コロナウイルスが完全に終息して、だんだんと客の仕事が改善していくことで、求人数も良くなっていく。2～3か月で良い方向に向かうのは難しい。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響が続く。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き求人を控えている事業所が多く、前年比での求人数減少が数か月続いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・見通しが立たない（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・現在の需要がしばらく変わらなければ、それに見合った縮小均衡はやむを得ないが、現在の需要に合った経済体制とは何か、変革が必須となる（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染第2波の影響拡大に伴い、ますます業績が厳しくなるなか、コスト削減による人員削減は継続、拡大する恐れが出てきている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響は長期間に渡るとみている（東京都）。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・新型コロナウイルスの流行が収まり、イベントが開催できるようにならないと、業績が上向かない（東京都）。
	職業安定所（職員）	・緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルス感染者数は増加しており、感染防止の観点から、経済活動の両立には困難が伴うものと推察される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		民間職業紹介機関（経営者）	・新卒一括採用という概念がなくなるのではないかと。リモートワークなど働き方も変貌しつつあり、就職試験、採用面接、内定式といったプロセスは必要なくなる。採用ビジネスの在り方は確実に変化し、ビジネスの機会がなくなっていく（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染状況によっては、企業の採用活動が再び鈍る可能性がある（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	・求人数と新規派遣契約者数は相関関係にあるが、求人数が4月以降伸び悩んでおり、派遣契約満了件数をばん回できない状況となっている。多くの会社が第1四半期の決算発表で業績悪化を発表していることから、状況はより厳しくなることが予想される（東京都）。
	×	人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響による業績悪化で、採用ニーズよりも今いる社員の人員整理が急務となっている会社が増えている（東京都）。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・現在の局面では、製造業の上向きが見込めず、良くて横ばい、そうでなければ更なる下降が想定される（東京都）。
	×	求人情報誌製作会社（所長）	・新型コロナウイルスの感染者数の影響で、外出自粛のほかにも経済を止める要因が多々出ている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・いつものような予定がもらえない状況で、通常の案件が何もない。人が必要なところは介護、配送などあるが、限られており、絶望的である。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・クリスマスや正月を築しむ一方、最期は仏式でという考え方が変わってきている。戒名をもらって仏の弟子になるという考え方ではなく、親族や近い人だけで故人らしく送りたいという考えの人が多い。
(甲信越)		商店街（代表者）	・今はこんなにも売れないが、夏休みが終わって学校が通常どおりに始まれば、今より良くなる。普通なら今はそれほど悪い時期ではないが、今年の動きは全く想像もつかない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス感染の第2波への懸念はあるものの、生産が安定してくれば新型車効果もあり、現状より改善が見込まれる。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第で、再度移動の自粛要請などが発出されることも考えられ、需要回復の流れが鈍化するかもしれない。しかし、ウイルスについて知見が増え、徐々に対策などができるようになっており、それに合わせて今までどおりとはいかないものの、人の動きも回復傾向にあると考えている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・Go To キャンペーン関連に期待したい。現状は大幅な恩恵は感じられないが、Withコロナを念頭に対策をしつつ、うまく活用できれば回復への期待が持てる。確実に一般利用は増えて良くなっていくだろうが、法人の大口利用が動かない限りは、大幅な回復は見込めない。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスが、ぶり返している感もあり、今後の見通しは決して明るいとは言えない。これまでのマイナスを取り返すべく、キャンペーン等で市場を刺激していきたい。
		観光名所（職員）	・観光客は戻りつつあるが、当然のことながら団体ツアー客はほとんど来ない。個人客はいつになく若年層が多い。パンデミックにでもならない限り、このまま徐々に回復していったほしい。当地もソーシャルディスタンス、消毒などの対策を十分講じながら営業している。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス、豪雨災害等により別荘の利用価値が見直される気配を感じている。別荘見学者がわずかずつではあるが増加傾向にある。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの重篤な感染者は減っているが、感染者数は高止まりしている。Go To キャンペーンも時期を焦りすぎて、効果も半減ではないかと考えている。この1年～1年半は我慢のしどころで、運転資金の手当てをしてしのぐしかない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・今年は長梅雨なので、梅雨明け後に夏物商材の動きが盛り上がることを期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続いている。ここに来て、感染者が増えてきており、やはり消費者にも多少不安な気持ちがあるので、現状とさほど変わらない。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの終息が見えないなか、現状も厳しいが、今後良くなるとは思えない。とにかく新型コロナウイルス次第である。
		スーパー（経営者）	・当市では5000円分の商品券を3000円で買うことができるプレミアム付商品券のイベントが行われる予定で、販売参加登録もしてある。1か月の店舗売上が100万円以上ある店は総額100万円分、100万円以下は総額50万円分の販売チケットを申請できる。イベントを通じて、少しでも景気が良くなれば有り難い。
		コンビニ（経営者）	・8月に入れば梅雨明けと思うので、若干売上は伸びるが、新型コロナウイルスの影響で前年と比べると厳しいとみている。コンビニ業界はそんなに減りはしないと思うが、やや悪くなるかわからないのではないかとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス収束のめどが立っていない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波の影響がある。
		コンビニ（店長）	・現状は、新型コロナウイルスの影響が大きいですが、今後も収束のめどが立っていない上、逆に若干悪くなっていくような傾向もある。ただし、余り変わらないのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・期待できないのは言うまでもない。
		その他専門店〔貴金属〕（営業）	・新型コロナウイルスのワクチンが出回るまでは、変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・いろいろな規制が緩和され、多少の変化は見られたものの、現在の新型コロナウイルスの感染者動向をみると、また規制が元に戻ってしまうのではないかと。同じことの繰り返しが続くと思うが、何とか経済を動かしたい。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルス次第だと思うので、正直よく分からない。3か月以内に改善することはなさそうである。
		都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスの終息が見えないどころか、逆に全国で感染者が増えている。再度の自粛ムードによって、せっかくのGo To Travelキャンペーンも影響が薄い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーン等が始まり、7月は徐々に上向いてきていたが、東京をはじめとして全国の新型コロナウイルス感染者が再び増え続けているため、上向きがまた収束モードになるのではないかと。8月の夏休み期間、客足の動きに注目していきたい。
		旅行代理店（副支店長）	・Go To Travelキャンペーンの利用で、今後の動きは多少出てきているが、実際は新型コロナウイルス感染の第2波と思われる状況下のため、受注は少ない。今後の感染状況によっては、緊急事態宣言の時点に戻る可能性もあり、客の動きが非常に鈍い。企業にも大きな影響が出ており、旅行どころではないようである。景気の悪い状態は変わらない。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大しつつある不安と経済的な不安から、より一層厳しさは増していく。
		設計事務所（経営者）	・予想のつかない現状では、計画を進めていこうという人はまだ少ない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・「新しい生活様式」を掲げた状況でも解雇による失業者は、経済面に限らず多方面で大変である。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大で、商材が欠品したり、製造が困難となったり、先行きは不安定な要素しかみえない。
		スーパー（経営者）	・夏のボーナス減少、祭りや花火大会の中止、お盆の帰省も大幅減の見込みで、やや悪くなる。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、景気が低迷している。
		自動車備品販売店（従業員）	・こここのところ、新型コロナウイルスの感染者が増えてきており、冬季商材の販売時期と感染の第2波、第3波が重なって、外出自粛等が増えることも予想されるので、景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔酒〕 (店長)	・9月末まで持続化給付金事業が持続することは素晴らしいが、その後の状態について予測はなかなか難しいが悪くなるのではないかと。現状、当店は個人客を中心に前年よりも非常に良くなっているが、飲食店では相変わらず客が増えていない状況や、客は戻ってきてはいるものの、なかなか満席にすることができずキャンセルも多いという話を聞いている。新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、一進一退の状況ではないかと。
		スナック(経営者)	・4～5月の緊急事態宣言による休業要請が出た後、今月は多少客が戻ってきている。東京などでまた新型コロナウイルス感染者が増えてきており、感染の第2波が心配される。第2波が来て感染者が増えれば、来店客もかなり減ると思うので、先が全く読めない。
		タクシー運転手	・前月の売上は前年比70%だったが、今月もほぼ同じである。今後は新型コロナウイルスの状況次第なので分からないが、やや悪くなるのではないかと。
		その他レジャー施設 〔ボウリング場〕(経営者)	・プロスポーツなど、徐々に再開し観客を入れているが、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着かない限り、夏休みに入っても客足に期待はできない。また、国体も延期され、地方予選もできない状況で、良くなる材料が見当たらない。
	×	スーパー(経営者)	・新型コロナウイルス感染の第2波が起こりつつあり、経済が停滞し、特に、観光、飲食等への影響が続く。
	×	コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、どこも落ち込んでおり、景気は良くない。
	×	高級レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらなければ、一層の外出自粛や再度の営業自粛、緊急事態宣言が発出されるため、悪くなる。
	×	スナック(経営者)	・良くなる要素が1つも見当たらない。皆がどうしているのか1番気になるが、とにかく状態が良くない。
	×	ゴルフ場(経営者)	・今後どうなるかは分からない。ただ、新型コロナウイルス、温暖化による気候変動と自然災害、そして米中関係等により経済活動が縮小することを前提として、経営計画を立案すべきだと考えている。
企業 動向 関連 (甲信越)		-	-
		一般機械器具製造業 (経営者)	・受注は上向いてきているものの、新型コロナウイルスの感染者数が増加してきており、先行きは不透明である。
		電気機械器具製造業 (営業担当)	・今月の生産は納期順延等があり落ち込んだが、この先は多少上向く傾向にある。
		金融業(経営企画担当)	・新型コロナウイルス感染の第2波への懸念はまだまだ残るが、経済活動再開の流れの影響を受け、当エリア内取引先の企業活動も緩やかに回復するとみている。
		新聞販売店〔広告〕 (総務担当)	・新型コロナウイルス感染の第2波が懸念され、どこまで経済活動が回復するのかが不透明である。現状では予想が困難と考える。
		食料品製造業(営業統括)	・7月の長雨の影響で原料に病気が大発生し、入荷量の減少が懸念される。また、新型コロナウイルスの影響が、今後どうなるか全く見通しが立たず、出荷量も大きく左右される。
		食料品製造業(総務担当)	・秋の到来とともに消費は上向くはずだが、新型コロナウイルス感染の第2波に入る恐れがある。それに伴うイベントの中止、移動制限等のマイナス要因が予想される。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・新規案件が少ないため、変わらない。
		建設業(経営者)	・秋頃になればと民間工事の話が出ている。受注方法を考え、当社はもちろん、地域全体が明るくなるよう期待している。
		金融業(調査担当)	・新型コロナウイルス感染の第2波の懸念が続き、観光産業は厳しい環境が続く。製造業でも外需の持ち直しの遅れに加え、米中の経済対立が深刻化し、更なる下振れも懸念される。
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	・来年の年末商材の受注見込みがはっきりとせず、現在の多忙も秋口まで、先行きは不透明である。合わせて、新型コロナウイルスの影響でワークショップの予約も減っている。
	×	食料品製造業(製造担当)	・新型コロナウイルス感染の第2波の影響で、一層外出が厳しくなり、取引先からの発注は増えないとみている。しばらくはこの調子で、景気はますます厳しくなる。
	×	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・毎月の資金繰りが大変である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	・香港で延期が続いていた宝飾展示会が、ようやく11月に開催予定だが、年内は入国制限があるため、展示会への出展はできない。国内展示会も、売上を支えていた中国人バイヤーの来場が見込めないことから、大きく落ち込む見通しである。国内マーケットは厳しい状況が続いており、海外分を国内に振り替えることはできないため、年内の回復は期待できない。
雇用 関連		-	-
(甲信越)		-	-
		求人情報誌製作会社 (経営者)	・求人広告掲載の動きは鈍いまま、更に今後の景気の見通しが読めないなか、求人自体の先行きが不透明である。
		職業安定所 (職員)	・宿泊業がどこまで回復できるか不透明で、工作機械やメーター関係の製造業の状況は変わらないとみている。
		民間職業紹介機関 (経営者)	・新型コロナウイルス、米中摩擦といった大きな要素から、受注に対する不安が続く、求人が落ち込んでいる。こうした現状から、しばらくはこのままで推移する。
		職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルス感染拡大の第2波が非常に大きくなってきているため、再び緊急事態宣言や自粛要請が発せられる可能性も考えられる。
	x	人材派遣会社 (営業担当)	・夏のボーナス支給のない企業が予想より多い。購買意欲が全く湧かないことや、ボーナス払いに苦労している様子がうかがえる。
	x	職業安定所 (職員)	・良くなる要素がない。

6. 東海 (地域別調査機関 : 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連		乗用車販売店 (従業員)	・全体の動きは潜在的には悪くない。今後需要が増えて景気が良くなるのではないかと漠然と見込んでいる。
(東海)		一般小売店 [土産] (経営者)	・新型コロナウイルスの第3波が来なければ、確実に回復する。第3波が来たとしても、第1波、第2波での経験が活き、経済へのダメージを最小化しつつ対応できると考える。
		一般小売店 [書店] (経営者)	・最近再び新型コロナウイルスの影響が少しずつ出て、余り良くない状況になっているが、期待を込めて良くなってほしいと思っている。
		一般小売店 [書店] (営業担当)	・引き続き新型コロナウイルス禍の影響が残ると思われるが、例年、秋期以降年度末までは受注増加が予測される。
		コンビニ (エリア担当)	・良くなる根拠などないが、人の動きが今よりは増えてくると思う。
		乗用車販売店 (従業員)	・前年と比較しても徐々に販売台数は戻りつつある。
		旅行代理店 (経営者)	・Go To Travelキャンペーンの効果が出てくると見込み、やや良くなると判断する。
		テーマパーク (職員)	・屋外施設なので出掛ける先に選ばれやすい。
		ゴルフ場 (支配人)	・9~10月はゴルフシーズンとなるが、入場者予約数は前年同日と比べ伸び悩んでいる。今もなお新型コロナウイルス感染症は拡大しており、先行き不安であるが、今よりは少し良くなると期待する。
		美顔美容室 (経営者)	・8月から新たなキャンペーンを始めるため、セット販売商品の売上が見込める。
		その他サービス [介護サービス] (職員)	・県内の新型コロナウイルス感染者が増加してきているが、営業自粛を求められない限り、客に必要なサービスを提供し続けられると見込んでいる。
		その他住宅 [室内装飾業] (従業員)	・ここ数か月はリフォーム工事を主体に受注していたが、内装の新築工事を数件受注した。
		商店街 (代表者)	・このまま続けるか、全く新しい考えで商売をするか思い付かない。
		商店街 (代表者)	・再び新型コロナウイルス流行の兆しが出てきていることから、インターネット以外の物販は厳しくなりそうである。
		商店街 (代表者)	・新型コロナウイルスの第2波となる感染者数の増加傾向で、来客数が極端に減少している。先行きが分からない。
		商店街 (代表者)	・連日新型コロナウイルス感染者が増えつつあるなか、Go To Travelキャンペーンなどにより、今後も感染者が減少傾向に向かう可能性は低い。
		一般小売店 [結納品] (経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が減らないため、このままの状況が続くと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・国と地方の考え方の差異を埋めることが今後を左右する。
		一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・新型コロナウイルスの影響を受ける業種のため、先行きに関しては新型コロナウイルスがどのように終息するかによると考える。
		百貨店(経理担当)	・今後の景気については、実際のところ想像が付かない。新型コロナウイルス次第で大きく変わると思う。ただし、良くなるとしても徐々にしか良くなると思う。
		百貨店(販売担当)	・新型コロナウイルスの状況が読めないため、どうなるか見通しを立てられない。
		スーパー(経営者)	・新型コロナウイルスの終息がみえない限り、この状況は続くと考えている。
		スーパー(総務)	・新型コロナウイルスの第2波が来ており、外食を控えているためか食料品の売上が良く、このままの状況が続くと見込まれる。
		スーパー(販売担当)	・夏休みになりイベントが多く、例年のように来客数も増加すると思われる。
		スーパー(ブロック長)	・新型コロナウイルスの第2波への警戒から食品スーパーには追い風となるかもしれないが、帰省や行楽関連の消費がない分、大きな伸びは見込めない。
		スーパー(販売担当)	・新型コロナウイルス感染者数増加もあり、内食は続くと思う。いまだにパスタ、たこ焼き粉、ホットケーキ粉など入荷が不安定な商品がある。それが安定供給されれば更に売れると思う。
		スーパー(営業企画)	・新型コロナウイルスの収束状況にもよるが、当面は現在の状況が続くことが予想されるため、引き続き内食の需要は高く、食料品店にとっては好況が期待できる。
		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルス感染拡大は一時的に沈静化したがる、ここに来て再び感染拡大傾向にあり、オフィス立地店や駅前立地店などの来客数が減少傾向にある。来店動機となる販促・サービスで拡大を目指す。
		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルス対策の抜本的な改善が進まない想定することから、現在の過度に少ない来店状況は持続すると思われる。また、季節も寒くなってくることから、夏季よりも購買意欲が減少していく。
		コンビニ(店員)	・新型コロナウイルスの影響がどこまで出てくるのかが分からない。
		衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルスの終息宣言が出たとしても、慎重に行動する人が多いため、来店しての購入は望めない。
		家電量販店(店員)	・当店に来店する客に関しては、余り変化は感じられない。例年どおりである。
		乗用車販売店(経営者)	・このところの感染者数の推移を考えると、戻ってきていた人の動きがまた鈍くなる可能性がある。皆、様子をうかがっている状況に見受けられる。
		乗用車販売店(経営者)	・新型コロナウイルスに関する不安からか収入面での変化からか、先行きに不安を感じるため、国の補償や対策がみえない限り景気が良くなると思えない。
		乗用車販売店(経営者)	・今後も変わらないだろう。今年は覚悟しなければならぬ。このままでは年末の社員ボーナスも出せない。
		乗用車販売店(従業員)	・新型コロナウイルスの再拡大で、今まで以上に厳しい状況になると思われる。感染者が出れば店舗の閉鎖もあり得るので、他人事では済まない状況に置かれていると身に染みて感じる。
		その他専門店〔書籍〕 (店員)	・新型コロナウイルスの影響によりテレワークや巣籠り需要が多い状況が続くと思われるため、しばらくは売上アップの状態が続くと見込まれる。
		一般レストラン(従業員)	・新型コロナウイルスの対策として、国はもっと主導権を持って発信してほしい。自治体の方が優先されているように見受けられるが、それは違うと考える。
		その他飲食〔ワイン輸入〕 (経営企画担当)	・新型コロナウイルスへの対応により、これまでと同様とはいかないが、消費者は消費対象としての新たな楽しみを探している。Go To Travelキャンペーンや給付金の給付も、購入意欲の増加につながっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（経営者）	・7月中旬以降感染者が広がっており、ネガティブな情報が流れている。政府には経済を止めたくない意向がみえるが、1週間ごとに状況が変わっている。ある程度感染を許容している客もあり、宿泊予約にも大きなキャンセルはなく、このような状況の中でもレジャーを楽しむ客も根強い。感染状況によるが不透明な状況を迎えている。
		観光型ホテル（支配人）	・宿泊者数と食堂は今月と変わらないとみるが、宴会が前年の20%台では全社で40%台に乗せることもできない。さらに、年末年始の恒常的な大型宴会も解約され始めており、間違いなく年内は今と同じ状況が続き、前年比5割回復は相当先になる。
		旅行代理店（経営者）	・Go To Travelキャンペーンが予想より早く始まり、準備ができていないなかで全国的に感染者が増え、徐々に増えてきた問合せも、旅行＝反社会的発想、といった風潮になり、キャンペーンが始まる前よりも悪い状況になってしまった。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス禍のGo To Travelキャンペーンは不安だらけで、効果が現れにくいと考える。キャンペーン枠をもらっても9月以降の旅行ではどうなるのか等、Go To Travelキャンペーンは不明なことだけである。説明会だけでは説明が不十分で、コールセンターも回線がつかまらない。割引をいつからしたらいいのか、既に出発した分はどうしたらいいのかなど困惑する状態で不安である。
		旅行代理店（営業担当）	・多少感染が拡大しても、Go To Travelキャンペーンが継続する限り、熱心な旅行ファン層は取り込めるため、一定の効果はあると思う。しかし広い層にキャンペーンを利用させるには、各業界のガイドラインをその時点の状況に見合った内容に常に見直すことなどが必要である。当初策定されたまま1文字も見直されないのは疑問である。
		タクシー運転手	・長い間繁華街の人出が少ない状況が続いている。3か月前という短期間で状況が変わることはないと思われる。
		タクシー運転手	・一度落ち込んだ景気はなかなか戻らない。
		通信会社（企画担当）	・当市では新型コロナウイルス感染が拡大しており、外出自粛や他社による訪問営業抑制が進むと、当社のサービスが選ばれることも期待できるものの、低価格サービスへの移行は進むものと考えてるので、結果的には横ばいが見込まれる。
		通信会社（営業担当）	・またしばらくは有線インターネットを希望する状況が続くと思われる。
		観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスの先行きによって変わってくるが、景気が良くなることはないのではないかと思う。
		その他レジャー施設 〔鉄道会社〕（職員）	・県内の新型コロナウイルス感染者が増えてくることで、公共施設の利用が控えられるとみられるので、現在の状況が続くと見込まれる。観光列車も予約が入っていない状況である。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響により客が外出を控えている。8～9月は暑さにより車で来店する客も少ないため、景気は悪いままである。
		設計事務所（経営者）	・悪い状態のまま変化しないのではないかと。良くなる条件がそろわない。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・客足は回復傾向にあるが、再び新型コロナウイルス感染者数が県内で増加傾向にあり、4月の状況に戻るのかと懸念している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染者が広がりを見せている。以前のような自粛をすれば景気は停滞すると思う。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・新型コロナウイルスのワクチン、治療薬が開発されると景気は変わる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が増え続ける限り客足は遠のく。景気の落ち込みは深刻になる。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・2～3か月先も新型コロナウイルスが終息して景気が良くなっているとは思えない。人との付き合いが狭まり、法人関係も売上が上がらずコストダウンで広告宣伝費を削っていく方向にあると思われる。一部には自己、社員のために使う会社もあるため多少の売上はあるが、全体的にみれば2～3か月先もマイナス傾向が続き、やや悪くなると考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの対策により外出自粛となると、新しい靴を買う必要もなく売上も厳しい状況となる。メーカー側も大量には製造しておらずサイズも少ない状態であり、厳しい売上となっていくことを懸念する。
		百貨店（総務担当）	・感染の再拡大等により客足が鈍っている。また、お盆の帰省等の客による土産等の購入も少なくなる可能性が高く、売上にとっても、大変厳しい状況である。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス感染者数の急激な増加のタイミングにあわせて、繁華街に滞在する人の数が一気に減ったように感じられる。それに伴って来客数の減少が顕著にみられるため、やや戻りつつあった消費意欲が減退していくように見受けられる。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの発生状況が改善されないため、各店舗の来客数が落ち込んでいる。
		スーパー（店長）	・地域の新型コロナウイルス感染者数が増加しており、幾ら感染対策を行っていても、いつ自店から感染者が出てもおかしくないため、今は良くて先のことには分からない。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルスによる地元の夏祭りの中止で飲食店の買上はゼロになり、長雨による影響で野菜の価格が高騰し始めているので、しばらくは我慢が続くと思う。
		スーパー（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの影響により大きく変わるため、何ともいえない。現行の売上は通常よりもやや良いが、これが継続する見込みはなく、今以上に良くなることは難しいように感じる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの第2波が来たといわれ、全ての商品の売上回復が望めない。青果部門の天候不順による商品供給の縮小や、輸入商品の供給回復の遅れも懸念材料になる。
		コンビニ（企画担当）	・新型コロナウイルスは感染拡大傾向にあり、再び外出自粛の状況になれば、4～5月の状態に戻る可能性がある。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者が増加傾向であり、再び自粛生活に戻れば売上も低迷しそうである。
		コンビニ（本部管理担当）	・長梅雨による天候不順と新型コロナウイルス第2波で、先行きの景気に期待感がない。特に小売業界は天候不順により売上に影響を受ける。また、新型コロナウイルス第2波に対するテレワークの推進も、都心部では来客数減少の大きな要因となる。ウィズコロナの試行錯誤が続き、景気にも影響が出ると考える。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大次第である。見通しが立たない。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの第2波を受け、外出などを控える傾向になっていくように見受けられる。今後の動向としては、秋～冬に掛けて新型コロナウイルスも活発になり非常に経済状態も厳しくなっていくと、第1波の状況を踏まえると推測ができる。早く新型コロナウイルスに対応できるワクチンができることを祈っている。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・新型コロナウイルスの第2波が到来するなか、Go To Travelキャンペーンなどの的外れな施策による感染拡大が懸念される。家電業界では新型コロナウイルスの影響はプラスに働いた面もあるが、第2波では店舗での感染拡大も懸念され、店舗休業、感染対策費用や来客数減少等への不安は募る。
		乗用車販売店（営業担当）	・現在も新型コロナウイルス感染者が増えてきているが、秋～冬に掛けて更に感染者が増えて、外出自粛により消費が落ち込むと思う。
		乗用車販売店（経営者）	・今後新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛が、業況に大きく影響しそうである。
		乗用車販売店（営業担当）	・来店客の雰囲気から悪い話はなく、販売量も戻り回復傾向に感じていた矢先、連日の全国的な新型コロナウイルス感染者数増加に、先行きの不安を感じている。感染者がこのまま増加するようなら、逆戻りするのではないかと思う。
		乗用車販売店（販売担当）	・今の状況だと新型コロナウイルスの感染者数は増えてくるため、客の消費マインドも下がってくるとみられる。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・新型コロナウイルス第2波の影響次第で変わってくると思われるが、万一緊急事態宣言の再発があれば、最悪のシナリオになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比マイナス4.3%、乗客数は前年比マイナス8.8%である。
		高級レストラン（経営企画）	・第2波、第3波を想定せざるを得ない。安全安心の対策は行っていくものの、営業自粛要請の可能性や来店頻度の低下など、先行きがみえない。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・飲食店は悪という世の中のムードがある。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、落ち着くとは思えない。
		一般レストラン（経営者）	・県内でも7月中旬から、また新型コロナウイルス感染者が増えている。売上は見当が付かない。少しの先もみえず、今は最低限のスタッフで店を営業している状態である。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・順を追って治療法や薬などが確立されていくと思われるが、安心できるまではまだまだ当面は右往左往し、経済も不透明である。体力がなければ次々に廃業せざるを得ない。新型コロナウイルスは、人々には2週間、会社には2か月後くらいでボディーブローのように効いてくる。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除されてちょうど2か月であるが、売上も最悪の4～5月頃と比較すると倍になった。しかし、この1週間の感染拡大で客が夜の飲食をしなくなり、前に戻ってしまうのではないかと懸念する。
		通信会社（サービス担当）	・既存客向けの新サービス等も考えていかないと、客離れが生じ通信業界の景気も悪くなる一方である。
		テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加していて、東京だけでなく全国に拡大してきているため、外出を抑制する懸念がある。
		パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で客の来店控えが顕著のため、来客数及び売上も減少傾向にある。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・新型コロナウイルス第2波の影響が大きそうである。
		理美容室（経営者）	・客との会話でも皆が外出を控えているようであるため、景気は悪くなっていくと考える。
		設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により、ワクチンが開発されない限りは悪い状態が続く。
		住宅販売会社（従業員）	・会社も存続を掛けて人事等でいろいろな手を打ち出した。先行きがみえない状況で、悪くなっていくと思われる。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・新型コロナウイルス対策の自粛解除後も仕事はなかなか増えず、屋外での仕事だけとなり苦戦している。景気回復には時間が掛かる。
	×	商店街（代表者）	・駅や空港などステーション系の売店は前年比で90%ダウンである。これが回復しなければ、景気の回復はない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で訪問活動が積極的にできず、また、長梅雨でエアコン商材の動きが良くない。この影響はまだまだ続くように感じている。
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大しているとみられるため、外での飲食需要の回復は限定的と考える。しばらく景気回復は望めない。
	×	百貨店（経理担当）	・足元における新型コロナウイルス感染症の再拡大によって、今後、緊急事態宣言が再発動される可能性が高く、3か月先には、経済の停滞と失業者の増大によって景気が更に悪化すると考える。
	×	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、地方へ広がりつつあり予断を許さない状態にある。
	×	百貨店（販売促進担当）	・百貨店でも新型コロナウイルス感染者が続出し、第2波が全国的に猛威を振るっている現状から更に悪化し、百貨店は壊滅的な打撃を受ける。
	×	百貨店（業績管理担当）	・新型コロナウイルスの影響の拡大を懸念し、一層の来客数、売上の減少が見込まれる。
	×	百貨店（計画担当）	・ここ最近になって新型コロナウイルスの感染者数が急増し、来客数が急減しており、この状況が更に続いていくと考えられる。
	×	百貨店（販売担当）	・自粛明けで徐々に回復しつつあり特に地方の回復は早かったが、ここに来てまた下がってしまいそうである。客の滞在時間も短く、人数も少ない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（支店長）	・新型コロナウイルス禍の収束に見通しが立たない限り、全てにおいて厳しくなっていくと思われる。経済も個人消費も期待はできないと考える。明るい材料が見当たらない。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響から徐々に持ち直していたが、感染者の増加傾向から再び販売量の低下がみられる。また、記録的な長雨と冷夏のために飲料の売上が不振である。秋までのイベントが全て中止のため、売上減少となる。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの終息のめどが立たなければ、良くなることは考えられない。
	×	コンビニ（商品企画担当）	・新型コロナウイルス感染の拡大懸念により、Go To Travelキャンペーンの縮小が想定されるため、次月以降も客足が更に鈍くなると見込む。
	×	衣料品専門店（売場担当）	・7月に入り県内における新型コロナウイルスの感染者が急増しており、春先の緊急事態宣言時よりも消費者の不安感が増しているように思われる。
	×	衣料品専門店（販売企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。感染者が増えれば当たり前だと思う。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの第2波が来ているため、間違いなく景気は悪くなる。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大に伴い客の新車購買意欲の減退は進み、さらに、多くの客から収入が減っているのでは車どころではないという声を聞く。客の店舗への誘導もなかなか難しい状況がまだまだ続くと考えられるので、厳しい状況にあると考える。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加し、外出も厳しくなっている。自動車購入の話になるような雰囲気、環境ではなくなると見込む。
	×	住関連専門店（営業担当）	・商業施設の新築及び改修工事では、新型コロナウイルスの影響で延期や中止になっている案件がある。その他の大型工事や中小の建築案件にも同じような影響が出ている。住宅の改修工事も同様で、新型コロナウイルスが終息しなければ、しばらくは良くなる見通しはない。
	×	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・どこのチャンネルでもテレビでは新型コロナウイルス感染者数の話題と災害被害のニュースばかりであり、消費マインドが上向くわけがない。
	×	一般レストラン（従業員）	・第2波の影響が見込まれる。
	×	都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気は悪くなると判断する。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・当市での感染拡大状況で宿泊予約がない。レストランにも予約のキャンセルが入る。過去にない最悪の状況で、事業存続が危ぶまれるほどである。
	×	旅行代理店（経営者）	・何とか今までは様々な給付金でしのいでいたが、あと数か月で廃業をせざるを得ないという話を周辺でも耳にするようになった。
	×	旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス第2波が完全にやってきた今、Go To Travelキャンペーン等で申込みを頂いた旅行予約や静観中だった秋口の団体旅行も軒並み再取消しが発生している。4～5月の前年比マイナス97%に匹敵する減少率が旅行業界に再び襲ってくるのは必至である。観光業界の景気が戻る気配は全くない。
	×	レジャーランド（職員）	・学校の夏休みの短縮、新型コロナウイルス感染者数の急激な増加などマイナス要素が多い。Go To Travelキャンペーンは未確定な部分が多く、どれだけの効果が期待できるのか見通せない。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえない限り難しい。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波が怖い。
	×	理容室（経営者）	・まだ当分は仕事が少ないと思われる。
	×	美容室（経営者）	・今後新型コロナウイルスの影響がひどくなると見込まれるため、明るい情報もなく、より一層厳しくなると思われる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がこのまま続くと、資本金が少ない会社は倒産に追い込まれるのではないかと心配である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・更に悪化する。倒産なども増えるはずである。住宅の購入どころではない。経済優先で考えてはいけませんが、災害での住宅建築は増えそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	住宅販売会社（従業員）	・高齢の一人親方達が廃業する事例も出てきた。将来、仕事量が増えても職人を確保できなくなる可能性が高くなってきた。
企業 動向 関連 (東海)		一般機械器具製造業（営業担当）	・移動制限があつて客先を訪問できないが、北米での引き合い数が少しずつ増えてきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの終息を迎え、客先の業界も活気を取り戻し、設備投資も増えるのではないかと期待も込めて、景気は良くなるのではないかと見込む。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・現在の売上よりは良くなると見込んでいるが、利益が出るほどの売上水準になるかは分からない。
		通信業（総務担当）	・科学的な新型コロナウイルス対策がみえてくれば、人が自由に活動することになり、一気に消費が戻ってくるはずである。
		不動産業（経営者）	・8月は例年同様に晴天の日が多くなるとの予報であるが、今後も新型コロナウイルスの影響が少なからず続くともみている。公共交通機関利用者が減少している間の売上は厳しい状況が継続するが、少しずつ改善傾向になっていくともみている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・新型コロナウイルスで客側のプロジェクトが停滞したが、再開されて開発案件の依頼が増加すると思われる。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・先は読めないが、新しい製品を常に作り続けていればそのうちヒットすると考える。足元の不況は3年続くといわれているが、先のことは分からないため、努力し続けるしかないと思っている。
		化学工業（総務秘書）	・自粛は疲れるし後ろ向きな方法であるため、共存の工夫が進むし、進めなければならない。感染者を責めず感染場所を開示し、共存していくマインドが必要だが、自粛疲れで政策や国民感情が逆の方向に向かっている。これ以上経済を犠牲にはならないという危機感が芽生えている。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加するなかで、訪問しての打合せが再度難しくなり、新規案件が進められず伸び悩みが懸念される。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いも減少しており、変わらないものと考えている。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みが変わらない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・どのような影響が出るかは、依然として不透明である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの状況次第であるが、生産が止まることはない製品を作っていることもあり、現在の状況が横ばいで続くとも見込む。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス禍の中、IT関連産業は好調であるものの、一方で飲食産業や旅行産業等の落ち込みが大きく、今後社会全体にどのような影響を及ぼしていくのかが気になる。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・米国の景気が回復しなければこのまま下がる一方であり、良くなる要素がない。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルス第2波による外出控え等で、良くはならないように見受けられる。
	建設業（営業担当）	・業種によって新型コロナウイルスの影響は変わるため、政府の対策も現場に寄り添ったものにしていかないと、新型コロナウイルスの第2波、第3波となったときに景気自体が悪くなると考える。	
	輸送業（従業員）	・やや良くなると考えたいところであるが、7月の新型コロナウイルスの状況では、物流の回復はまだまだ先になりそうに感じられ、全く見通しが立たない。	
	輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルス拡大で、改めて宅配は増えると思われるが、商流貨物は減っている。	
	輸送業（エリア担当）	・世界中でノーマルな活動に戻らない限り、物流量は元に戻らない。	
	輸送業（エリア担当）	・景気が変わらないというよりは、分からないというのが近い。今月に入り1日の荷物取扱量が徐々に増えてきているが、これが本当の景気回復かは分からない。お盆辺りの荷物取扱量をみて見極めたいと思っている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルスの第2波といわれるように感染者が増え続けている。緊急事態宣言が解除されたこともあり、気の緩みが大きくなっている。こうした状況では経済活動にも思ふような動きが出てこない。
		広告代理店（制作担当）	・例年なら秋の商戦に向けて様々なイベントの準備等が始まる時期だが、今年は新型コロナウイルス感染拡大のため延期や中止になりそうな案件が多い。
		会計事務所（職員）	・テレワークが終わり通常勤務を再開したところが多いが、社内で感染者が出ると、また外部業者は出入り禁止になる。飲食店等でも客足が以前の6割程度しか戻っていない。
		食料品製造業（経営企画担当）	・当面はこの状況が続くことが予測され、回復には更に時間が掛かると思われる。
		化学工業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、先行き不透明である。良くなる要素が今のところない。
		金属製品製造業（従業員）	・先行きの開発案件などが滞り気味という声をあちらこちらから聞くので、仕事量が余り出てこないという懸念が強い。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響は当分続くと思われる。それに加えて米中の対立が先鋭化しており、先が見通しにくくなっている。サプライチェーンの再構築は進められてはいるが、変化のスピードについていけるかは未知数である。
		輸送業（経営者）	・今の経済状況を満たすだけの物の供給では、前年並みの物量を確保できない。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で消費需要が伸びない結果、物量が伸びてこない。特に、消費減少に伴う設備投資の縮小などで、景気回復への好材料が見当たらない。
		金融業（企画担当）	・直近の新型コロナウイルスの感染拡大もあり、やや緩んだ感染対策を再度強化する企業が増えてきている。これが続くと、景気は更に悪化するとみられる。
		不動産業（経営者）	・7～8月の企業業績、個人消費は低迷する。物件数は増加すると思われるが、成立率は低迷しそうである。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・自粛と緩和を繰り返しながら、やや悪い状態がしばらく続く。
		行政書士	・新型コロナウイルスの影響が続く。ドライバーを1週間交替で休ませている業者もある。
		会計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大しており、特にサービス業などでは、既に予約のキャンセルなど消費活動が低迷し始めている。何かの対策をしない限り、この先感染拡大が続き景気も低迷する。
	×	食料品製造業（営業担当）	・取引先の休業等今後の回復の見込みはなく、更に深刻な状況になると見込まれる。
	×	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルスの第2波が表面化し、今後の受注量、販売量もいつ回復するか見通しが立たず、景気は悪くなる。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が出ている。特に外食産業や小売業等は大変になっている。今後、更に感染者が増加して緊急事態宣言が出されると、考えるだけでも怖い状態になる。
	×	鉄鋼業（経営者）	・製造業はこれから悪化が加速すると思われる。今年度の企業の収支見込みが明らかに悪くなると予想されているため、新規設備などの案件が大幅に落ち込むことに加え、公共工事も新型コロナウイルス対策予算へのシフトを受けて、増加は見込めないという話が出ている。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	・米中関係が不透明で、我が国の立ち位置としてどちらかを選択するようになれば半分がなくなるということもありうる。中国での生産について今のところ悪い情報はないが、米国との関係を考慮に入れると逆に心配になる。それこそ突然のロックダウンもありうる。
	×	建設業（役員）	・新型コロナウイルスの第2波が確実ななか、今後は自粛要請や厳しい規制が考えられるので、市場は冷え切るだろう。
	×	通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルス第2波は予想より早く来た。経済の立て直しもできないまま、より一層深刻な状態になっていくように感じる。働く人のマインドが新しいことに向かわないのが、一番の問題である。
	×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの第2波が来ており、将来的な不安もあり製造業の生産や飲食店の集客にも不安ばかりである。この先数か月は、景気としては評価するに値しないほど悪くなるイメージを抱いている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	x	公認会計士	・新型コロナウイルス感染症の影響は、この後本格的に発生すると思われる。新型コロナウイルス感染症の終息がみえない。新型コロナウイルス感染症により、人々の生活様式や消費行動が変わり、ウィズコロナの企業業績への影響は甚大と見込まれる。	
雇用 関連 (東海)		-	-	
		アウトソーシング企業 (エリア担当)	・最大手の自動車メーカーにおいては、新型車種や北米向け輸出の生産ラインは上向きに推移し、別の大手自動車メーカーも徐々に良くなっている。厳しい状況が続く自動車メーカーもある。	
		人材派遣会社(社員) 人材派遣会社(営業担当)	・まだまだホテル業界には良くなる兆しがみえない。 ・主要客の自動車メーカーとの受託取引は、10月から予算削減が始まるという意味では景気が悪くなるが、予算削減に伴う業務終了者はほぼ出ない予定で、エンジニア稼働率は今と大きく変わらない。	
		新聞社[求人広告] (営業担当)	・既に第2波が始まり、市民のマインドは自粛ムードに支配されつつある。	
		職業安定所(所長)	・6月に新規求人数の減少幅はやや縮小したが、最近の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、先行きは厳しい。	
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの影響が続いており、感染状況がどうなるかによって景気の方向が変わると見込まれる。	
		職業安定所(職員)	・会社都合の離職者が増加してきているので、まだまだ厳しい状況が続く。	
		民間職業紹介機関(支社長)	・揺り戻しはあったが、ここから先に良くなる材料は今のところ見受けられない。	
		民間職業紹介機関(営業担当)	・新型コロナウイルス禍の影響により事業の見通しや予測が立たない企業が多く、回復はまだ先になる可能性がある。	
		学校[専門学校](就職担当)	・看護学部において、新型コロナウイルスの影響で病院の採用試験が中止又は延期となり、前年同期と比べて内定率も下回っている。	
		人材派遣会社(企画統括)	・新型コロナウイルスの感染者数が増大しており、景気動向は見通せない状況にある。	
		人材派遣会社(営業担当)	・リモートワークが増加するなかでオフィスワークの人材派遣需要が減少し、9月末契約終了は前年を上回る見込みである。	
		新聞社[求人広告] (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続く。行ったり来たりを繰り返すと見込まれ、体力のない企業の倒産や廃業が増えていくと考える。	
		職業安定所(職員)	・県内や隣県の新型コロナウイルス感染者数の増加が著しい。第2波という見解もあり今後自粛要請等が出された場合、持ち直し始めた経済活動の流れが鈍化又は後退し、求人、求職に影響が出る可能性がある。	
		職業安定所(次長)	・引き続き派遣労働者を中心として雇止めが多い状況にある。	
		職業安定所(次長)	・新型コロナウイルスの感染拡大が一旦落ち着きをみせた時期があり、それに伴い求人求職の数値に改善がみられたところもある。最近では感染が拡大している状況にあり、状況を注視する必要がある。もし感染が今以上に拡大すると、景気は悪くなると考えられる。	
		職業安定所(次長)	・新型コロナウイルスの感染拡大傾向が顕著となり、新規求人数の減少傾向が続いている。また、事業主都合による離職者が増加傾向となっている。	
		民間職業紹介機関(窓口担当)	・新型コロナウイルスの第2波ともいわれる感染状況が、景気回復を妨げている状況である。先がみえないため求人を見合わせている企業が多く、例年より依頼数は減少したままである。逆に求職者は増えているが、業務経験やスキルなどがマッチング可能な層とは異なる。	
		x	人材派遣業(営業担当)	・自粛傾向が再度強まる可能性がある。これにより消費は更に落ち込み、再び国民への給付金を求める声が大きくなると考える。
		x	人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス第2波の動きから、企業のテレワークの再開と求人数の落ち込みが見込まれる。
	x	人材派遣会社(営業担当)	・各企業が中途採用を抑制しており、有効求人倍率が下がり続けている。特に派遣の新規受入れはほとんどの企業がストップしており、しばらくは変わらないと見込んでいる。	
	x	人材派遣会社(営業担当)	・先行き不透明感が強い。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
----	----------	-------	----------------

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北陸)		-	-
		商店街（代表者）	・当商店街での大型店開業に伴い、客の回遊性が上がることは間違いなく、イベント等の実施にもよるが、売上アップにつながると考える。
		コンビニ（店舗管理）	・5～6月の事業環境が悪すぎた。それよりは良くなるはずだが、売上の前年割れは必至である。
		家電量販店（店長）	・巣籠り需要は落ち着いたが、引き続き自宅にいる時間が長いので省エネ家電への買換えニーズが伸びている。
		乗用車販売店（経営者）	・来客数も少しずつ多くなり、早く元に戻そうなどと前向きな会話が社内にも出てきている。周囲からも明るい会話が入ってきているので良くなると思う。
		一般レストラン（統括）	・経済を優先すると感染者は増加し、感染者を抑えようと経済は停滞、低迷する。この相反する2つを国は両立しようとしているが、それは無理である。無理ではあるが、現状では各業種や業態がニューノーマルを確立し、経済を停滞させない活動に移行するとみられる。新型コロナウイルスは終息しないが、しないなかでも経済活動を行っていくことで、現状より若干だが上向きになると考える。
		観光型旅館（スタッフ）	・県民宿泊割引により7～8月は前年に近い予約があるが、9月以降についてはまだ低い水準である。Go To Travelキャンペーンの予約を受注できるかどうか、今後の経営に大きな影響を与えると考える。
		旅行代理店（所長）	・Go To Travelキャンペーンの開始による売上増加に期待したい。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が広がらなければ、観光客が増えてタクシーの利用客も増えるのではないかと考える。
		住宅販売会社（従業員）	・これから徐々に住宅展示場の来場者数が増え始めるとみている。
		住宅販売会社（営業）	・住宅ローン控除の延長対象期限に間に合わせたい客の動きが9月末までは続くものとみている。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・新型コロナウイルスの感染者数が減る要素がないので、今の状況が継続するとみている。夏休みのイベントもほとんどなくなっている。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・一般文具などの購買に関しては、ここしばらくは現状と変わらないとみている。
		百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルスによる影響が続くため、現状の前年同月比85%程度が継続すると予測している。秋物商材の入荷も遅れる予測の上、秋の旅行や各種イベントが減少するなか、関連需要は減少するとみている。給与やボーナスの低下による影響が今後も続き、消費は定価購入ではなく、セールやお買得品の購入が増加し、客単価は低下傾向が続く。しかし、一部の富裕層需要に合致した商材や企画が実施できれば、落ち込みはやや浅くなると考える。
		スーパー（店長）	・相場高の状況が変わらないと予想するなかでは、現状と同様の推移になるとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響次第で変わる可能性がある。
		衣料品専門店（店舗運営）	・一部商品の需要は3か月後も高いとみているが、従来の主力商品の動きはまだ戻らないと考えている。
		自動車備品販売店（役員）	・新型コロナウイルスの感染が広がっており、2～3か月以上先も我慢の状況が続くと考える。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・ニュースがいつも新型コロナウイルスで始まる。こうした状態が続いている限りは良くなれないと考える。
		通信会社（職員）	・いまだに客の受注は必要最低限にとどまっている。
		通信会社（営業担当）	・営業時間を短縮し、予約対応で受けている。販売台数は変わらない見込みである。
		通信会社（営業担当）	・今後の状況も新型コロナウイルスの影響で大きく変わると予測するため、はっきり言って分からない。
		通信会社（役員）	・セールス活動を再開でき、放送、通信共に獲得契約数が前年比90%程度で推移しており、今後第2波、第3波のリスクはあるが、同程度で推移すると考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		競輪場（職員）	・景気対策が打ち出されてはいるが、新型コロナウイルスの感染拡大が再び懸念されている状況では判断できない。
		その他レジャー施設 [スポーツクラブ] （総支配人）	・新型コロナウイルスの影響による退会は大分収まったが、現時点では減ってしまった会員数を増やすための販促活動ができる雰囲気では全くない。したがって、採算割れの営業が当分続くと考えている。
		美容室（経営者）	・全国的に新型コロナウイルスの感染者が増えているが、地方では4～5月ほど感染者が増えることでの混乱はないと考える。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅団地の売出し後、住宅展示会の開催も10社程度予定している。他社も含めたイベントのため受注の競争はあるが、自社の受注も必ず増えるので、しばらくは良い状態が続くとみている。
		一般小売店[精肉] （店長）	・5月から比べると売上は徐々に戻ってきている感じである。販売としては、来客数は少なめだがギフト等は少しずつ増えてきており、集客が増えれば売上も上がるとみている。しかし、新型コロナウイルスが第2波として広がってくると、またこの先落ち込む可能性があると考え。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着くまで、仕事が不安定だと考える。
		コンビニ（エリア担当）	・良くなる要素が見つからない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの状況で大きく左右されることから、まだまだ油断ができない状況である。
		家電量販店（店長）	・特別定額給付金で需要の先取りをしているので下期は苦戦しそつである。
		家電量販店（本部）	・前年は消費税の引上げがあったのでこれからの回復に期待したいが、新型コロナウイルスの影響が深刻になりそうである。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの第2波が、当地域にいつ来てもおかしくない状況に不安がある。
		乗用車販売店（役員）	・景気低迷による心理面での購買意欲が減退しており、新型コロナウイルス感染症が終息するまでは上向かないと考える。
		住関連専門店（役員）	・現時点で感染拡大が再燃しつつあるなか、今後の消費については不透明であり、今以上に感染拡大となれば再度消費が落ち込むとみている。
		その他小売[ショッピングセンター]（統括）	・新型コロナウイルス第2波への警戒感が当面続くと見込む。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの影響で戻りかけた夜の客が再び遠のきそうである。昼の客やテイクアウト販売でしのいでいるが、単価も来客数も下がっている。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの終息と、企業業績が回復する先々の見通しが立たないなか、最悪の状態を予想している。
		観光型旅館（経営者）	・県民宿泊プランは8月7日までで、それ以降はGo To Travelキャンペーンがあるものの予約が伸びていない。秋以降の団体シーズンはキャンペーン除外のために期待できない。前年比50%の売上があれば良い方かもしれない。
		タクシー運転手	・飲食店関係で、新型コロナウイルスのクラスターが発生してもおかしくないような店があり、そこで一度感染者が出ると、再び夜の客がさっぱりな状態になるような気がする。
		パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルスの陽性者の増加により、悪くなることも考えられる。
	×	商店街（代表者）	・新規感染者数が増加傾向で第2波とも言われることから、今後人出が増える要因が見つからない。むしろ、ゴールデンウィーク前後の閑散とした街に戻る可能性の方が高いような気がする。
	×	商店街（代表者）	・人通りの多くは大学生のような若者が中心である。高額品など購買単価を上げる高齢者層や外国人観光客は相変わらず少ない状況である。次の繁忙期となる秋までには新型コロナウイルスが終息することを願うばかりである。
	×	一般小売店[事務用品]（店員）	・今後ますます買い控えが進むことにより、業界全体が縮小していく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	百貨店（売場主任）	・8月以降、大手アパレルを中心に不採算ブランド廃止や撤退が始まる。ブランドが抜けた後の2～3か月先の状況が見通せない。百貨店はこれからが新型コロナウイルス不況の本番であり正念場を迎える。
	×	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が予想され、食品物産催事などの集客企画に対して慎重に進めざるを得ない。人数制限や出店制限を考えると売上減少は否めない。
	×	スーパー（店長）	・県内でも目に見えて外食産業の数値悪化が顕著で、回復が見込めない。
	×	スーパー（店舗管理）	・天候不良による青果物の相場高騰と、新型コロナウイルスの影響による収入減少から生活水準を抑制する傾向がみられる。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの第2波は来ていないと言われているが、確実に第2波の影響を受けており、新型コロナウイルス発生当初に近い感じで売上が減少してきている。特に繁華街やパチンコ店近くの事業所の影響は大きく、店舗運営の継続を左右するほどの売上減少になっている。今年の3月ほどではないが急激に売上が減少しており、3月の水準に急激に近づいている。減少の速度としては、いつ最悪の売上に落ち込んでもおかしくない実感があり、景気は悪くなる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・秋は1年で県外団体旅行が最も多い時期になるため、今年は最も下落幅が大きくなると予測している。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・支払賃借料の減額に応じてもらえず、経営を圧迫している上に、新型コロナウイルス感染拡大で全く先がみえない。サービス業はストックがなく、新型コロナウイルスの影響による業種間格差の拡大を感じる。
	×	テーマパーク（役員）	・夏ということもあり、現在は主に地元客ではあるが、個人客を中心にやや旅行需要が戻ってきている。しかし、2～3か月先の状況を見ると、本来であればグループや法人、団体旅行が多い時期になってくるのだが、それらの予約が全く動いておらず、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いている状況では、厳しくなるものとみている。
	×	住宅販売会社（従業員）	・個人消費の悪化による影響で、製造業や飲食業、小売業、観光業等の業績悪化が出てくる。
企業 動向 関連 (北陸)		-	-
		化学工業（総務担当）	・今後受注が増えると予想する。
		食料品製造業（経営企画）	・日々の新型コロナウイルス感染者数が再び高いレベルで推移し始めており、回復のスピードが鈍るのではと考える。
		繊維工業（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大による影響の収束が少しみえればいいのだが、一向にみえない。また、新型コロナウイルス第2波による感染拡大の懸念や米中貿易摩擦等、不安材料も非常に多く、厳しい状況が続いている。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注状況からみて変わらない。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・本格的に景気回復を図るためには、世界各地で新型コロナウイルスの感染が収束に向かわないとならない。人々が安心して経済活動を行える状況にならないと、設備投資は難しい。
		精密機械器具製造業（役員）	・新型コロナウイルス感染者急増のペースが落ちれば、良い方向に向かうと考えるが、ここしばらくの急激な感染者増加の影響で、再び自粛機運が高まる可能性もある。どちらもあり得る状況が悩ましい。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスによる感染拡大の収束が見通せない。
		通信業（営業）	・営業活動は増えているが見込み案件の増加を伴っておらず、上向き傾向という状況ではない。
	不動産業（経営者）	・不動産業界の状況としては、消費税の引上げがあった後の反動による落ち込みも大きいのだが、新型コロナウイルスの影響下では客との面談もなかなかできない。しばらくは様子見である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・世界規模での新型コロナウイルスの感染拡大は当分続くともみている。日本国内でも第2波の懸念が高まっており、収束まではかなりの時間が掛かる。経済の回復も非常に厳しく、当社が関わる建設業界や自動車業界はもとより、景気全般での大きなマイナス影響は当面継続するものとする。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・第1四半期は後半に掛けて新型コロナウイルス第1波の収束により、回復の兆しがみえ始めたものの、第2波と思われる感染者の増加により、更に受注が減少してきているように見える。中国以外の各国への輸出は減少する一方であり、国内需要の冷え込みと合わせると、第2四半期はこれまで以上の休業を余儀なくされる見通しである。
		金融業（融資担当）	・一部業種に持ち直しの動きがみられるが、自動車関連、工作機械メーカーの受注は弱含んでいる。三大都市圏を中心に新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、経済活動が停滞するおそれがある。
		司法書士	・東京出張を自粛している結果、仕事が少ないという話を数社から聞いている。関わっている事業団体の大きなイベントも中止が続いている。
		税理士（所長）	・一時的に景気が若干戻ったかという動きもあったが、新型コロナウイルスで中断したものが再開したということである。各企業とも基本的に事業活動は縮小方向であり、新型コロナウイルス発生以前に計画したものを今やっている面が強いと考える。業種によっては新型コロナウイルスによる特需も実際にあるが、全体でマイナス方向になるのは変わらない。いろいろな給付金が一時的な支えになっている。新型コロナウイルスの感染が再び広がっており、これで経済が止まることがないように祈るばかりである。
	x	建設業（役員）	・新型コロナウイルスの終息見通しがなく、景気後退の懸念が大きい。
	x	金融業（融資担当）	・現在の商取引規模の縮小は今後も続き、新型コロナウイルス発生前の規模まで回復するには時間を要する見通しである。また、新型コロナウイルスの第2波によっては廃業、倒産する業者が増え、商取引縮小の悪循環となる。
x	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・7月に入り、コロナ禍でチラシ出稿を控えていた広告主もほぼ戻りつつある。しかし、チラシがサイズダウンしており、まだ新型コロナウイルス発生前に戻ったとはいえない状況である。8月は新型コロナウイルス第2波の影響により、チラシ出稿の減少を懸念している。	
雇用 関連 (北陸)		-	-
		人材派遣会社（役員）	・求職者が就職活動に苦労している。派遣登録者も増えない。
		人材派遣会社（社員）	・求職者が増加傾向ではあるが、派遣切りにあった人々が次を求めているだけで、求人が増加しない限り景気は良くなるまいと考える。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	・新型コロナウイルスが終息しない現状では、企業や人の活動が悪くはなれども、良くはならない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大傾向にあり、物理的にも精神的にも積極的な動きが制限されるなか、金を使って何かしようという空気にはなっていないし、当面はならないとみている。
		職業安定所（職員）	・受注は回復傾向にあるが、休業を継続している事業所が多い。また、新型コロナウイルスの感染拡大状況が読めず、先行き不透明ではあるが、本来の状態に戻ったときのために、求人を出しておきたいという事業所も多い。
		職業安定所（職員）	・現状では新型コロナウイルス感染症による影響の収束が不透明である。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの影響からまだまだ求人数が増えない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない現状では、業績回復にも時間が掛かる。求人が減って失業者が増え、景気悪化の材料ばかりが増える。
	x	学校〔大学〕（就職担当）	・好転する材料がない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
----	----------	-------	----------------

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		観光型旅館（経営者）	・国のGo To Travelキャンペーンは、景気を上げるカンフル剤としての効果が見込まれる。ただし、年明け以降の対策がなければ、一気に景気は落ち込むことが予想される。補助額を少しずつ減らすなどの対応を取りながら、治療薬やワクチンができるまで、企業が耐えられるような政策が求められる。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で、働き方やライフスタイルが変化している。今後はネットワークの利用に対するニーズが、ある程度は見込めそうである。
		百貨店（服飾品担当）	・新型コロナウイルスとの共生がこれから進むと予想される。安全に買物をする環境、客の身を守る意識と共に、新たな買物スタイルが広がると考えられる。感染者数の増加が報じられれば、入店客数に影響は出るものの、感染防止策の更なる強化とデジタル関連の取組を進めることで、徐々に新しい買物スタイルによる売上が増え、上向くことが予想される。
		百貨店（外商担当）	・感染の第2波が到来している様子はあるが、感染対策が着実に定着し、緩やかな回復傾向が続くそうである。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右されるが、経済とのバランスもあり、消極的になることもできない。医薬品の開発などで、良くなることを期待したい。
		衣料品専門店（店長）	・来客数はこれから上向きになるが、前月と同様、新型コロナウイルス感染の第2波、第3波が控えており、先が見通せない。8月中旬以降、多くの来店がなければ厳しいため、期待感は大い。
		家電量販店（店員）	・今後は季節商材の動きが活発になる。エアコンや冷蔵庫といった高額商品の動きがあるなかで、特別定額給付金の影響で少し単価の高い商品の選定が目立つ。今後は更に期待が高まる。
		乗用車販売店（販売担当）	・いつまでも経済活動を停滞させることはできない。新型コロナウイルスと共存しながら、経済活動も活発化させるべきだと考える人も、増えてくると予想される。
		高級レストラン（企画）	・Go To Travelキャンペーンの効果が浸透する。
		旅行代理店（支店長）	・感染の防止と経済活動の両立を進めていくという方針に、客が少しずつ慣れてくると期待している。希望的観測も含まれるが、少しずつ良くなってくると予想される。そのぐらい今はどん底であり、これ以上悪くなる状況は想像できない。
		タクシー運転手	・企業関係のハイヤー予約が、新型コロナウイルスの流行前の水準に戻る傾向がみられる。
		競艇場（職員）	・2月末から実施していた無観客での開催も、一部のグレードレースを除いて解除され、客はほぼ戻ってきている。無観客時に激増した電話投票やインターネット投票は、引き続き非常に好調であるため、売上は上向きに推移すると予想される。ただし、新型コロナウイルスの感染第2波の影響は気になるところである。
		美容室（店員）	・結婚式を春から秋に向けて延期したカップルもあり、家族だけの小規模な式に変更しながらも、少しは需要があるため、予約上は現在よりも良くなる傾向にある。
		一般小売店〔花〕（経営者）	・多少は回復傾向がみられるものの、新型コロナウイルスの感染状況は先がみえず、景気が回復する見込みはない。
	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・特に、改善や悪化の材料が見当たらず、横ばいと判断している。	
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染動向に掛かっているが、収束傾向に入ったとしても、従来のビジネススタイルに戻るかどうか大きな不安材料である。なお、仕入先が秋冬商材を極端に減産しているため、客に提供するアイテム数も激減する。	
	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・この先はお盆休みもあり、新規の商談は出にくいと感じている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場主任）	・直近のマスコミ報道をみていると、現在の傾向は大きく変わらない。都市部への外出を控え、郊外で消費する傾向が当面は続くと考えている。新型コロナウイルスのワクチンの登場など、現状を大きく変える要素が出てこない限り、基本的には厳しいと予想される。
		百貨店（サービ担当）	・新型コロナウイルスの感染の第2波による感染者の増加で、来客数は減少する。ただし、催事も再開し始めているため、前年と同じような売上が確保できると予想される。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染収束のめどが立たないなかで、景気が良くなることはない。感染者の検査件数が増えたことで、陽性者が増えていることは理解しているが、先行きがみえるまでは回復しない。政府や自治体による助成にも限界があり、特定産業の衰退も更に進むことは間違いない。
		百貨店（商品担当）	・ワクチンや治療薬が開発され、新型コロナウイルスとの共存による社会生活が確立されなければ、経済活動の完全な復活は見込めない。また、インバウンド向けの需要を前提としていた売上構造も、変化を迫られることになる。小売はWebサイトの活用など、無店舗販売を選択肢とする変化が定着しなければ、売上の復調は厳しい。
		百貨店（販売推進担当）	・早く業績が回復してほしいが、新型コロナウイルスの感染が収束するまでは、客への販促活動すらできず、当分は厳しい経営環境が続く。リーマンショック以上のことが起きているため、消費税を廃止するなどの施策がなければ、景気の回復は見込めない。
		スーパー（経営者）	・感染の拡大ペースが収まらないなか、外食や遠出を控え、近場での飲み会なども激減するという、現下の状況に変化はない。再びテレワークも拡大しそうで、食品を主に扱うスーパーでは好調が続く。ただし、店で感染者が出れば大変なことになる。当グループの店で感染者が発生した際は、その対応や大幅な客離れに見舞われた。早期の感染の鎮静化を期待している。
		スーパー（店員）	・雨が落ち着けば、野菜の値段が下がって売れるようになるほか、お盆がくれば、果物もよく売れる。ただし、従業員が忙しくなるだけで、景気は今とそれほど変わらない。
		スーパー（店員）	・特に、売上が増える見込みはない。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスによる新しい生活スタイルが定着し、今の状況が続くと予想される。
		スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に歯止めが掛からないほか、外食店の営業時間の短縮や休業要請により、家庭内での飲食需要が増加し、売上も増加傾向となる。その一方、景況感の悪化や所得の伸び悩みによって節約意識が高まり、食費が抑制される可能性も高い。
		スーパー（開発担当）	・新型コロナウイルスの感染対策のほか、景気対策が鮮明になっていないため、今後の動きは予測不能である。
		コンビニ（経営者）	・依然として、出社人数に制限を設けている企業が多い。このスタイルは定着しつつあるため、今後も周囲で働く人の数は低水準で推移しそうである。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染収束のめどが立たないほか、今後はライフスタイルも変わり、在宅勤務への変更や残業の減少が進むと考えられる。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか、先行きは不透明である。
		コンビニ（店員）	・レジ袋の有料化の開始で、必要な物以外は購入を控える客が増えた気がする。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンができ、外出が可能にならない限り、来客も期待できない。早く感染が収束してほしい。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束するまでは、今の状況と大きく変わらない。
		家電量販店（店員）	・前年は決算や消費税増税の特需があったが、今年は給付金特需で5～6月に販売が集中したため、余り変わらない。
		家電量販店（営業担当）	・先のみえないトンネルを進んでいる感覚である。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン開発には、もう少し時間が掛かりそうのため、今後も予防関連商品の動きは続く。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が3か月で収束するとは思えないため、今の状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染の第2波が広がっている状況であり、再び活動の自粛要請が出ることが懸念される。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染の第2波に備え、対策を徹底した上での接客は可能である。あとは消費者の購買意欲と、外出自粛の意識とのバランス次第と予想される。
		その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染予防を理由に、地元の商店街を利用する客でにぎわう時間帯も増えてきたが、肝心の商店主は補助金を当てにして、今までどおりの商売を続けている。ピンチをチャンスに変えない限り、景気回復は難しい。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・このまま供給が落ち着けば、販売量も落ち着いてくる。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・国として明確な感染対策が打ち出せておらず、当分の間、感染者の減少は見込めない。
		高級レストラン（スタッフ）	・まだしばらくは団体客の予約は見込めず、1日の予約席数もまだ制限しているため、大きな変化はない。
		観光型ホテル（経営者）	・8月はお盆休みの間は予約が入っているが、それ以外は非常に少ない。9月以降も団体客のキャンセルが続いており、かなり厳しい。
		観光型旅館（経営者）	・感染の第2波とメディアが報じ、消費者の不安をあおっている。新型コロナウイルスとの共生とは、どのレベルでのことなのか分からない。政府の対応も右往左往しており、先が読めない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・法人の利用が良くなく、自粛の状態が続いている。秋口までの大きな会合は、全てキャンセルが延期となっている。
		都市型ホテル（フロント）	・新型コロナウイルスの感染者数が減らない限り厳しい。レストラン部門も、ディナーに関しては再び休止となった。会社全体が助成金などを使用し、最少人数のシフトで稼働させなければならない状況である。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束するどころか、またまん延する兆しがあることから、景気に良い影響は期待できない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響は今後も続く。感染が収束しない限り、外国から観光客が来ることもないので、経済が動かない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染の第2波が拡大している。
		通信会社（社員）	・今の状況は、新型コロナウイルスの感染収束まで変わらない。また、悪くなることはあっても、良くなることはない。
		通信会社（企画担当）	・アミューズメント施設の来場者数の回復が見込めない。ゲーム機の販売や取引先の新規投資といった、需要の回復のめどが立っていない。
		遊園地（経営者）	・先行きはどうか分からない。新型コロナウイルスの感染収束がみえない状況では、全く見通しが立たず、予想ができない。感染予防策を確実に実行し、周辺で感染者が発生すれば適切な対処を行うしかない。これを繰り返しながら、事業継続のために可能な限りの手を打ち、耐え忍ぶ日々である。
		競輪場（職員）	・例年の傾向から変化はない。ただし、新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあるため、また自粛が始まった場合は悪くなる。
		その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・7月からプロ野球は5000人を上限として観客を入れ、試合を行うことが可能となった。今後は更なる緩和に期待しているが、3か月後の状況は不透明なため、現状とは変わらない。
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・変わらないというよりも、全く読めない。新型コロナウイルスの感染が沈静化されるかどうかが鍵になる。
		その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージで服を脱ぐため、毎年暑くなると来客数は増加するが、今年は新型コロナウイルスの影響で余り変わらない。
		住宅販売会社（総務担当）	・外出の自粛は一旦解除されたが、また新型コロナウイルスの感染が増える傾向にある。展示場は予約対応となっており、現状は大きな来客が見込めない。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・直近の不動産市場では、戸建て住宅の販売状況は比較的好調で、マンションは低調という状況に大きな変化はない。この状況は今後も継続する見通しである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔時計〕 (経営者)	・一般的に、夏になると気温が高くなり、新型コロナウイルスの感染が収束すると予想されていたが、最近はどんどん逆の動きが進んでいる。全く先の状況がみえず、給付金によって店を続けられるのか不安である。この状況で、平常心を保ちながら営業を続ける精神的な強さも必要なため、日々淡々と過ごすしかない。景気については、良くなるとは考えにくい。
		一般小売店〔鮮魚〕 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響は完全には収束せず、大きな売上が見込まれる結婚式や宴会はまだまだ少ない。売上もなかなか完全復活は望めず、前年比では35%ダウンしている。
		百貨店(売場主任)	・景況感というよりも、衣料品や輸入ブランド品などの生産ラインが、新型コロナウイルスの影響から完全に復活しておらず、秋冬物の供給量が不足すると予想している。
		百貨店(企画担当)	・2か月前から来客数は増加傾向に転じていたが、新型コロナウイルスの感染者数が急増している状況を見ると、今後はまた減少傾向に戻るのではないかと感じる。それに伴い、景況も悪化すると予想される。
		百貨店(販促担当)	・夏場に感染者数が再び増加している状況であり、秋口の動向が懸念される。感染者数が増えれば、かなり厳しい状況が予想される。積極的な仕掛けもできず、客の購買意欲も低下するなか、売り方の基本を重視すると同時に、変革が重要となる。売り方の基本は、気候の変化を大事にし、商品の打出しを丁寧に行うことである。変革はデジタル技術を分かりやすく伝え、体験してもらうことである。今後は外出が厳しくなった際に、インターネット初心者への囲い込みに注力する。
		百貨店(宣伝担当)	・感染者数が増えていることもあり、目に見えて入店客数が減少している。また、新たな生活様式の浸透で客のニーズも変化しているが、品ぞろえ、買い方共に対応が遅れており、厳しい状況が続くと予想される。
		百貨店(営業推進担当)	・感染拡大期が継続するようであれば、個人消費は悪化の一途をたどると予想される。
		百貨店(マネージャー)	・新型コロナウイルスの感染は世界的に拡大しており、日本国内でも第2波の動きが出ている。生産や流通の停滞が更に進み、ひいては雇用、賃金の悪化につながり、そのダメージが顕在化してくるため、非常に厳しい状況になると予想される。
		百貨店(マネージャー)	・新型コロナウイルスの感染の第2波が報じられているように、京都でも感染者数が増えつつあり、今後は入店客数の減少が予想される。また、ファッションを中心に秋冬物の生産が感染の影響で進んでおらず、商品供給の不足も予想される。
		百貨店(マネージャー)	・Go To Travelキャンペーンがスタートしたものの、国内観光客の戻りは芳しくない状況が続く。大型の催事も感染防止のために中止となるなど、売上の改善につながる手立てが見当たらない。今後は秋冬商戦に切り替わるが、購買の促進は厳しいと予想される。
		スーパー(店長)	・あくまでも他業種の需要が流れてきているだけであり、新型コロナウイルスの影響が落ち着けば、元に戻る。また、社会全体で収入が減っており、その分の消費も節約されるため、今後は景気が厳しくなると考えざるを得ない。
		スーパー(店長)	・テナントについては、アパレル系や旅行業を中心に、賃料の減額要請や退店が増えると予想される。
		スーパー(店員)	・新型コロナウイルスの影響はすぐに出ないが、少しずつ影響が出て、悪化していくと予想される。
		スーパー(企画担当)	・キャッシュレス決済のポイント還元制度がなくなったほか、新型コロナウイルスによる特需も落ち着き、消費者のまとめ買いや備蓄需要が減っている。冷夏の影響で、飲料などの盛夏商材の販売量が増えていない。秋物商材の早期展開など、先を見据えた次の一手が重要となる。
		スーパー(販売促進担当)	・現在の状況がしばらく続くと予想される。外食や観光産業の回復がみられない限り、中食需要を中心に、食品スーパーへの需要は続きそうである。
		スーパー(社員)	・外出を控える動きが長期化するにつれて、客に買物疲れがみられるようになってきている。今後は収入の落ち込みも予想され、消費に少しずつ影響が出てくると感じる。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの感染の第2波が来ていると感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束は難しく、全ての動きが感染以前の状態には戻らない。
		コンビニ（店長）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染状況は悪くなるほか、いつ自分の周りにも感染者が出て、営業ができなくなるかという不安が募るばかりである。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えている。
		コンビニ（店員）	・良くなってきている一方、新型コロナウイルスの感染増加でまた外出を控える人が増えるため、売上も減ることが予想される。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、外出を自粛する人が増える。
		家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が長引けば、収入が減る家庭が増え、生活必需品を扱う店での消費額も減ると予想される。
		家電量販店（店員）	・今後も新型コロナウイルスの影響に左右される。感染者が増えている今、先がみえない状況であり、景気の回復は見込めない。
		家電量販店（店員）	・帰省の動きが減少すると予想され、訪問の準備、来客の準備共に必要なくなるため、最低限の自家消費が中心となる。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらなければ、経済活動が停滞する。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスでお盆も全滅である。この時期に売れるワンボックスカーが動かず、安価な軽自動車が主流のため利幅も少ない。商品が動けばまだ良い方で、何一つ動かなくなる可能性もある。今後もまだまだ苦しさが続く。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の販売イベントが開催できず、購入は減っているが、車検や一般修理の動きは以前と変わらない。
		乗用車販売店（営業企画）	・政府の対応次第と予想される。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスにより、自動車の生産工場が休業を強いられたため、新車が入ってこない。そのため、販売量がかなり減少する見込みである。
		住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、対面での商談によって高額注文につながってきた客が、激減したまま回復していない。また、輸入販売業を行っているが、同じく新型コロナウイルスの影響で、世界の中継港でのストライキや作業の遅延につながっている。納期が確約できず、客が注文をちゅうちょするケースも出てきている。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第2波による自粛が広がるため、年末に向けて、今よりも景気は悪くなると予想される。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染者が再び増加しており、今後2～3か月の動向が見通せない。感染拡大による景気の後退もあり得る。
		一般レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの感染拡大傾向が収束するとは思えず、消費マインドは確実に低下している。政府の施策にもちぐはぐな印象がある。
		都市型ホテル（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者の増加状況によっては、移動や外出の自粛が続き、緊急事態宣言が再び発令される可能性もある。そのような場合は、4～5月と同様の状況になると考えられる。
		旅行代理店（役員）	・Go To Travelキャンペーンの仮枠の承認が下りたものの、関連の予約が前年実績の10%程度しかないため、逆に断らざるを得ないケースも出てきそうである。
		通信会社（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの影響が続くと予想される。
		テーマパーク（職員）	・先行き不安のなかで、お金を大切に考えることは当然の心理状態である。新型コロナウイルス発生以前の消費生活に戻るために、どのぐらいの時間が掛かるのか、全く読めない。
		観光名所（経理担当）	・今月は感染が収まってきたということで、県外を含む多くの人に来場してもらったが、既に第2波の予兆がみられるなかで、Go To Travelキャンペーンにより人の往来が激増している。個人的には、8月に再び瀬戸際の状態を迎えると感じている。10月には感染が収束すると予想されるが、第2波を経験した後となれば、第3波を警戒して今回のように外出が増えることはないかと予想している。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・新型コロナウイルスの感染の第2波が現実的になっており、不安感や政治に対する不信感が増大する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（店員）	・新型コロナウイルスの感染者が増えるかどうかで、大きく変わる。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染に対する根本的な解決策がみえなければ、回復は難しい。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者の増加に伴い、外出の自粛の影響で、新築マンションのモデルルームへの来客数が減少すると予想される。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・2度目の緊急事態宣言が発令されれば、ゴールデンウィーク時のように社員の自宅待機を実施することになるため、売上の増加は見込めない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染第2波、第3波が予想されるため、高齢者の外出が減ることになる。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・秋以降は衣料品が売れるシーズンとなるが、今後の新型コロナウイルスの動きが全く読めない。今後、社会経済の在り方は確実に変化はするはずであるが、どのように変化するのは全く分からない。消費者の購入先も今以上にインターネット通販にシフトするなかで、小売店も変わっていかねば、生き残っていけない。
	×	一般小売店〔野菜〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束する気配はなく、政府の対応も間違っている。もう少し具体的に手を打たなければ、今後個人商店は持ち堪えられない。
	×	一般小売店〔花〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束しなければ良くなれない。
	×	一般小売店〔花〕（店員）	・新型コロナウイルスによって来客数は激減しており、感染の第2波が来ることも予想されるため、更に客足は遠のきそうである。
	×	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・いつ再び自粛要請が出るか分からないなか、不安ばかりが頭をよぎる毎日である。
	×	百貨店（売場主任）	・取引先の倒産や売場からの撤退、商品の減産などの傾向が強まり、特にアパレルゾーンは過去に経験のない厳しい状況が予想される。さらに、新型コロナウイルスによる各企業の業績悪化により、消費者の所得の減少も予測される。それに伴い、客の生活防衛意識は更に高まるため、消費に積極的な状況になるとは考えられない。
	×	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束するまでは、今の状態が改善されることはない。また、秋以降は百貨店の主力商品である衣料品について、メーカーからの供給の減少が予想される。
	×	百貨店（売場マネージャー）	・現在、新型コロナウイルスの問題で和歌山の経済全体も打撃を受けている。当社については、婦人服、紳士服アパレルメーカーの退店により、売上、収益共に減少すると予想している。また、外商関連では、企業の休業による業績の悪化が予想され、それに伴うギフト売上の減少などが懸念される。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束のめどが立たない状況で、今後は悪くなることが予想される。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染収束が見込めない限り、全産業での生産や消費の減少が顕著となり、経済は正念場を迎えることになる。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響は先行きが不透明で、どちらかといえば状況は悪化の一途をたどっている。外出が減れば、消費も減っていく。家で必要な物の買換えや買い足しの需要も、それほどは見込めない。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染の再拡大により、夏休みのほか、お盆前の外出やレジャー、旅行を控える人が増え、関連企業は打撃を受けそうである。当社でも、取引先の倒産により、売場から商品を撤去している。
	×	衣料品専門店（経営者）	・今後も、新型コロナウイルスの感染者数に一喜一憂する状況が続くそうである。来月も市中感染の進行が顕著になれば、巣籠り生活が年内一杯は続く。先日、政府から経済3団体に対し、引き続きテレワークや時差出勤への協力が要請された。食料品を除いた小売業では、売上の50%以上の減少を覚悟しなければならない。
	×	家電量販店（人事担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加していることもあり、外出の自粛が予想される。ただし、巣籠り消費がこれ以上増える余地は少なく、今後の需要を引っ張る商品が見当たらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	乗用車販売店（経営者）	・東京や大阪だけでなく、地方でも新型コロナウイルスの感染者が増え、経済活動に支障を来している。とにかく政府による給付金などの補助や、正しい政策がなければ、景気は悪くなる一方である。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染の第2波ともいえる状況で、再び緊急事態宣言の発令が懸念される。
	×	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、今後は解雇や失業が増える予想されるため、景気は更に悪くなる。全体としては、新型コロナウイルスの感染者数の推移次第となる。
	×	一般レストラン（経営者）	・社会的に安全になり、安心できる兆しがみえてこなければ、政府が強引に経済を立て直そうとしても難しい。いくら新型コロナウイルスとの共存といわれても、経済は回復しない。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないため、宴会やまとまった来客がない。テイクアウトだけでは客単価が低く、売上は伸びない。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、なかなか集客が伸びない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・一度は感染が収束しつつあった新型コロナウイルスは、第2波により更に警戒が必要な情勢である。客足の動きは悪化し、売上が落ち込んでいる。
	×	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・先行きが見通せないため、不安しかない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が変わらない限り、ますます悪くなる。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・60～100名規模のセミナーが開催されたが、新型コロナウイルスの感染が落ち着いていた頃の予約であり、感染者数が増えてきた後はキャンセルが増えるなど、依然として厳しい状況が続いている。宿泊についても、金額を下げれば予約は若干入ってくるが、従業員の安全を考えると、多くの客を受け入れるのはリスクが高い。レストランはソーシャルディスタンスを保つ関係上、来客数を制限しているが、ディナーの予約は増加傾向にある。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・Go To Travelキャンペーンは感染収束後に実施すべきで、見切り発車の感が否めない。今後、感染が更に拡大すれば、医療が崩壊し、経済を回すどころではなくなる。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・今後はますます感染者数が増加すると予想され、宴会、宿泊、食堂共に、売上の増加は期待できない。新型コロナウイルスの感染が収束するまで、改善するとは思えない。
	×	旅行代理店（従業員）	・雇用調整助成金の特例が止まれば、最悪な状態となる。
	×	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染収束のめどが立たないなか、資金繰りは厳しく、今後は倒産が増えそうである。
	×	観光名所（企画担当）	・6月から営業を再開しているが、入場を制限しているため、採算が取れていない。徐々に入場者数の制限を緩めようと考えているが、非常に厳しい状況に変わりはない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・現状の経済が停滞している状況では、かなりの悪化が予想される。
	×	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの影響が続くと予想される。
	×	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・感染の第2波がきていると感じるため、住宅展示場の集客イベントに参加する客も、今後更に減少すると予想される。
企業 動向 関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・現在は特殊な社会情勢でどん底の状態であるが、少しずつ社会が動き出せば、現在の事業に加えて新規事業も動き出すため、良くなっていく。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・来月からは、受注量が少し増えそうである。
		化学工業（企画担当）	・今後の新型コロナウイルスの感染動向にもよるが、経済が徐々に動き出しているため、現在に比べれば改善しそうである。
		化学工業（管理担当）	・取引先からの発注見込が増えており、自動車関連も増加傾向にある。
		金属製品製造業（経営者）	・工場の稼働率は徐々に上がりつつあるが、通常の状態に戻るまでにはまだまだ時間が掛かる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（営業担当）	・取引先からの発注内示が、少しずつではあるが回復傾向にある。ただし、元どおりになるまでには、かなりの時間を要する。
		建設業（経営者）	・急な回復は見込みにくい、徐々に回復していくと予想される。また、実際に引き合いも少しずつ出てきている。
		輸送業（営業担当）	・外出自粛の影響で、お中元の宅配が前年よりも増えている。
		広告代理店（営業担当）	・現状程度の感染状況であれば、そろそろ経済も動き、広告も再開すると予想される。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・コスト削減の動きが続き、しばらくは受注量の増加が見込めない。
		化学工業（経営者）	・学校や幼稚園、保育園関連の得意先は前年並みにまで戻ったが、その他の得意先、特に飲食店やホテル関連は、全く回復の兆しがみられない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・一般的に部品加工などの従来の仕事は減少が予想されるが、それを補う飛まつ防止パネルなどのスポット案件や、新規の部品加工は動き出しており、差引きでは大きく変わらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・既にこの数か月は引き合いが全くないため、現在が最悪の状態である。この状態はまだまだ続きそうである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・紫外線やオゾン関連製品の販売を推進する予定であり、今は製品の立ち上げに追われている。10月に開かれる見本市に出展する予定であり、それまでは関連ビジネスは動かないため、2～3か月は厳しい状態が続く見込みである。
		建設業（経営者）	・民間工事は、新型コロナウイルスによるダメージが比較的少ない会社からの発注に絞られ、競争の激化が予想される。その一方、官庁関係でも競争が激化しそうである。
		金融業（営業担当）	・全国的に新型コロナウイルスの感染が増加傾向にあり、自宅待機による自己防衛が必要となっている。感染の収束には時間を要することが予想される。
		広告代理店（営業担当）	・回復材料はなく、このままの状態が続くと予想される。
		経営コンサルタント	・給付金や貸付金は、金額自体よりも、それをきっかけに何とか生き残ろうという発想に転換させる効果があったと感じる。今後については、あと2～3か月であれば景気の悪さに耐えられるが、その後は多くの中小企業が潰れ始めると予想される。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・感染の拡大が一向に収まらず、早くもマスクや消毒液、ビタミン剤などの、備蓄用の購買がドラッグストアなどで見受けられる。一方、飲食店では一時戻り始めた客足がまた遠ざかっている。感染の一定の収束がみられない限り、今後も厳しい状況が続くと予想される。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で通常の動きができていないため、売上が減少する。
		食料品製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染の第2波が迫っているなか、外出や他府県との往来の自粛なども発表されているが、Go To Travelキャンペーンもあるため、以前のような巣籠り消費には期待できない。外食も更に敬遠されるため、思うように商品は売れないと予想される。
		繊維工業（総務担当）	・秋口に向けての商品開発や催事の予定が立たず、販売予測が立てられない。現状は、前期の40%ダウンの予算しか決まっていない。
		繊維工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、市況が更に悪くなると感じている。靴下業界では、生産調整を今後も継続する企業がほとんどである。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・新型コロナウイルスの影響で消費が減少していると感じる。また、働き方の変化による効率性の低下が心配である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・この先、新型コロナウイルスの影響がどの程度出るか、予想ができない。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・給付金の効果が2～3か月先まで続くかは疑問であり、新型コロナウイルスの感染者が増え続けている今、いつ緊急事態宣言が出されてもおかしくない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・受注が伸びず、引き合い件数も少ない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他製造業〔履物〕 (団体職員)	・緊急事態宣言が解除されたが、7月中旬から第2波とみられる感染者の増加があり、秋冬物の商談に向けての首都圏との往来に影響が出ている。新型コロナウイルスの影響は長期化することが予想される。
		建設業(経営者)	・新型コロナウイルスの感染拡大による不安などで、買い控えが進む。
		輸送業(営業担当)	・当地域でも新型コロナウイルスの感染者が増えつつあるため、来客数が減少する。
		金融業(副支店長)	・新型コロナウイルスの感染第2波の影響で、自粛モードが今後も続くため、景気は今後後退していくと予想される。実際に取引先からも、先行きの受注状況は悪化しているとの話が多い。
		広告代理店(管理担当)	・新型コロナウイルスの影響の長期化に伴い、購買を見合わせるようになる。
		司法書士	・新型コロナウイルスの感染者が再び急増しているため、感染の拡大防止策が重要となる。経済にブレーキが掛かるのはやむを得ない。
		経営コンサルタント	・多くの企業や地域の状況を見ると、ほとんど前向きな材料は見当たらない。
	×	繊維工業(団体職員)	・新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントの中止などで人や物の動きが止まり、経済への大きな影響が出ている。
	×	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・新型コロナウイルスの問題が最も大きく影響している。当初はそれほど影響がなかったものの、各分野に影響が出てきた2~3か月後から、悪くなっている。
	×	輸送用機械器具製造業 (役員)	・設備投資の中止や、延期、縮小についての、取引先からの連絡が増えている。
	×	通信業(管理担当)	・新型コロナウイルスの影響で、外出も自粛となる気配がある。
	×	金融業〔投資運用業〕 (代表)	・政府の中途半端な対応の結果、感染の収束と経済の復活のどちらにも効果が出ていない。
	×	新聞販売店〔広告〕 (店主)	・新型コロナウイルスの感染者が増え始めてから、折込件数の減少も始まった。営業の自粛までには至っていないが、各社が控え目な動きになってきたと感じる。
	×	その他サービス〔自動車修理〕 (経営者)	・新型コロナウイルスによる影響が大きい。
	×	その他非製造業〔商社〕 (営業担当)	・いつ2回目の緊急事態宣言が出てもおかしくない状況であり、2~3か月で良くなることはない。
	×	その他非製造業〔電気業〕 (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、的確な経済対策を打つことができない。
雇用 関連 (近畿)		人材派遣会社(役員)	・求人数の動きは、月を追うごとに少しずつ回復しており、今後もこの傾向は続く予想される。
		人材派遣会社(支店長)	・下期に向けて、少し改善がみられる。
		新聞社〔求人広告〕 (管理担当)	・新聞の求人数に動きはないが、株価なども安定しており、景気の最悪期は脱したとみられる。ここから更に景気が悪化することは考えにくい。新型コロナウイルスの感染の第2波とみられる動きが始まっており、感染の状況次第で再び景気が悪化することも考えられる。油断のできない状況が、当面は続きそうである。
		人材派遣会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かわなければ、求人市場の回復も足踏みとなる。今のところは先がみえない。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染の第2波への懸念などで、先行き不透明感が強まり、求人意欲の低下につながっている。今後の見通しも明るくないことから、直ちに景気が上向くとは考えにくい。
		民間職業紹介機関(職員)	・新型コロナウイルスの感染者が、現在のように増減を繰り返すと予想されるため、景気が上向くとは考えにくい。
		学校〔大学〕(就職担当)	・既に感染の第2波は始まっており、今の状態では厳しいと感じる。
		人材派遣会社(経営者)	・新型コロナウイルスの感染の第2波により、企業は先行きが見通せない状況であり、心理的にますます悪くなっていくと感じる。直近の派遣契約をみていると、6月はかなりストップしたが、上半期が終了する9月は、更に契約の終了が増える予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（営業担当）	・派遣先企業の業績の回復が見通せず、今後は派遣社員の活用を絞る話が出ている。
		アウトソーシング企業（管理担当）	・前月に続き、通常の仕事も減ってきている。
		職業安定所（職員）	・以前は旅館や飲食業に影響が出ていたが、徐々に製造業や建設業にも影響が出るため、先行きは悪くなる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・前年に比べて、秋採用や追加募集は少ないと予想される。また、海外渡航が制限されるなか、留学経験者自体が少なくなり、海外人材の採用も厳しくなる。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・日本全体で新型コロナウイルスの感染者が増えているなか、政府の対応をみていると、感染者数は今後も増加が予想される。そういったなかで、景気が好転する要素は限りなく少ない。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は甚大で、景気の改善は見通せない。
	×	職業安定所（職員）	・直近では新規求人が減少傾向にあり、7月は前月よりも落ち込むことが懸念される。
	×	民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスによる影響が大きい。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	・今後、採用者数は必ず削減される。企業の業績も悪くなっており、今後の採用活動にも支障が出る。

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (中国)		-	-
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・特別定額給付金などを活用して、特徴ある商品、サービスの提供を対面型から非対面型へ切り替えていくことで、時代のニーズに合わせた展開を一層強め続けられる経営環境をつくることができた。今後もインターネットを通じた販売促進に力を入れていく。
		スーパー（店長）	・近隣地域の営業状況を見る限り、景気は上向きになる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの報道で密が叫ばれるほど、郊外立地の店の客が増加する傾向にあり、今後もこの傾向が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・景気は良くなったり悪くなったりの状態を繰り返す。
		乗用車販売店（店長）	・新型車が発売されるため、新型コロナウイルスの影響があっても多少は上向く。
		乗用車販売店（営業担当）	・キャンペーンの開催や一部車種のマイナーチェンジが予定されているため、景気は良くなる。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・今後景気は緩やかに回復する。
		スナック（経営者）	・このままでは店が持たない状況まで落ち込んでいるので、今後は少しは良くなる。
		観光型ホテル（営業担当）	・Go To Travelキャンペーンをきっかけに景気の上昇が期待できる。
		都市型ホテル（企画担当）	・現状がまだ回復に程遠いので、景気は緩やかに改善していく。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大しつつあるが、Go To Travelキャンペーンが始まったことで、利用者は増加してくる。
		競艇場（企画営業担当）	・9月中旬にG1競走が開催されるため、売上が確保できる。
		商店街（理事）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明であるため、景気は変わらない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くなか、経営を維持していくことが難しくなってくる。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が残っているため、景気の先行きは不透明である。
		百貨店（経理担当）	・今後閉店を予定しているショップもあり、新型コロナウイルスの影響が小さくなくても厳しい状況が続く。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスが少し落ち着けば、ミセスや高齢者の来店も増加するが、先行きは不透明である。アパレル取引先の運営状態が厳しく、秋冬物の入荷状況も一部遅れ気味、また運営の厳しい店舗の退店が相次いでいる状況で、今後も厳しい状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場担当）	・近隣都市エリアへの外出が百歳気味に推移するため、日頃余り見掛けのないような若いファミリーなどの来店が増加する。一方で高齢者の来店は厳しい状況が続くため、全体では今と変わらない。
		百貨店（営業企画担当）	・今後の新型コロナウイルスの状況によって大きく変化するので景気の先がみえない。ただ、今回のステイホームで生まれた新事業への変化に対応することにより景気を良くしていく必要はある。
		百貨店（外商担当）	・現在、新型コロナウイルスの影響が一段落し、売上は回復傾向にある。食品が比較的好調な一方で、婦人衣料はなかなか上昇気流に乗れていない。今後、景気の一進一退が予想されるが、新型コロナウイルスの感染者数の増加の報道が消費者心理の減退につながるため、景気は良くならない。
		スーパー（店長）	・来客数が半年以上、前年の95%程度で推移しており、今後もこの傾向が続く。ただ、新型コロナウイルスの影響で、客が大型商業施設に流出せず、地元の食品スーパーで買物するため、今後も売上は前年を上回る。
		スーパー（店長）	・来客数や販売量が増加する要素が見当たらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息までは、大きな売上が期待できる店内イベントなどの開催が難しいため、前年を上回る売上は当面見込めない。また、お盆期間などの帰省客の減少が大きいことも予想されるため、景気の回復は見込めない。
		スーパー（総務担当）	・お盆等で消費が伸びてくる時期ではあるが、新型コロナウイルスの影響で人の動きが更に抑えられ、催事やイベント等の中止、縮小が発生するため、前年ほどの売上が期待できない。
		スーパー（管理担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り現状と変わらない。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスが終息すれば景気は回復するが、今のところその兆しがないため、景気は変わらない。
		スーパー（販売担当）	・景気は新型コロナウイルスの動向に左右されるが、現状をみる限り景気は変わらない。
		スーパー（業務開発担当）	・客の来店頻度は落ちているが、購入量は増加している。今年のお盆の帰省客がどうなるか分からないが、通常日は今のまま推移する。
		スーパー（営業システム担当）	・消毒液、マスク、ウェットティッシュなどは手に入らないほどの品薄な状況ではなく、食品も今のところ安定しているため買いだめ等の要素はない。日照不足のため野菜が高騰しており、また米国からの輸入が減っているため牛肉や豚肉の価格が高騰しており家計に影響が出てくる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・ライフスタイルが変わっており、夕方以降深夜にかけての来客数が大幅に減少している。今後も新型コロナウイルスの影響が続くため、来客数も横ばいが続く。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスの影響が続く。
		乗用車販売店（業務担当）	・販売は多少回復の兆しがあるが、新型コロナウイルスの第2波による影響が懸念される。
		乗用車販売店（営業担当）	・来客数や販売台数が前年を大幅に下回った状態が続いている。新型コロナウイルスで実際に仕事や収入に影響を受けたり、先行きが不安で購入に踏み切れない客が少なくないため、今後も厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加し、今後の経済への不安が高まることから、景気がこれ以上良くなる要素はない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・これ以上景気が悪くなると経営が持続できない状況で、今後も厳しい状況が続く。新型コロナウイルスと共存できる新しい経営スタイルを作らないといけないと考えている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・3密を避けるため、当面は飲食関連が厳しいが、他の部門についても、前年の消費税の引上げ前の駆け込み需要の反動で、高額品を中心に9月一杯までは厳しくなる。10月以降は新型コロナウイルスの動向次第である。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・現段階では、明確な判断材料がないため、先行きの判断は難しい。今後は危機感を持ちながら新型コロナウイルスとどう向き合っていくかを考えながら売上が向上する施策を講じていく必要がある。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、消費者マインドが改善しない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（店長）	・先行き不透明で楽観的にはなれないが、客は徐々に戻ってきており、現状は維持できる。
		観光型ホテル（副支配人）	・身近で旅行したい人が増えているようで、宿泊の予約は4～5月と比べ各段に増加している、しかし、新型コロナウイルス感染の第2波が懸念されているなか、これ以上良くなるとは考えにくい。
		都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴い、客の外出自粛が再燃している様子で、期待していたGo To Travelキャンペーンも足並みがそろわず、助成金事業の効果も半減している。県外客の流入は期待できないが、施設の新型コロナウイルス対策を講じ、受入れ態勢を整えて、取りあえずは地元、近隣県からの集客にシフトする。
		都市型ホテル（総支配人）	・Go To Travelキャンペーンの詳細が不確定でAGT商品の販売も進んでない状況から予約も伸び悩んでいる。また、ビジネス、観光共に新型コロナウイルスの感染状況を注視しながらの間際の予約にシフトしていることもあり、先行きは不透明である。
		旅行代理店（経営者）	・東京、大阪、愛知、福岡、北海道の環境が良くなるまで、旅行の対応は難しく、景気は良くならない。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの感染者数の状況次第であるが、減少に転じれば各種キャンペーンの活用も期待できる。
		タクシー運転手	・全国的に新型コロナウイルスの感染者数が増加してきているが、お盆休みなどで人の動きが出てくる。ただ、新型コロナウイルスに対する警戒感もあるので、景気は変わらない。
		通信会社（経理担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、第2波の心配もあり先がみえない状態が続くため、しばらくは景気が上向きになるのは難しい。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たない限り、客が消費を控えるスタイルが続く。
		通信会社（販売企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で誘客が困難なため、厳しい状況が続く。
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルス第2波の影響で景気は変わらない。
		テーマパーク（営業担当）	・Go To Travelキャンペーンが開始したが、新型コロナウイルスの感染者数が全国で再び増加しており、観光客の動向が不透明である。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの影響がしばらく続き、景気も厳しい状況が続く。
		ゴルフ場（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加してきており、他県からの訪問客やインバウンド客が見込めないため、この先も傾向は変わらない。
		その他レジャー施設 [温泉センター]（担当者）	・営業を再開してから、売上は前年の7割、残りの3割をすぐに回復するのは困難である。新型コロナウイルスの感染者数が増加している現状を考えると、景気は良くならない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない状況では、建築の注文は増加しない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスが一旦は落ち着きを見せていたが、再び増加傾向にあるので、住まいへの投資はしばらく望めそうにない。
		設計事務所（経営者）	・客の購入意欲が向上するのにもうしばらく掛かるため、景気は変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスが1～2年くらいは終息しないため、景気は余り変わらない。
		住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が長引くため、景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・当分の間、新型コロナウイルスが終息しないため、景気は悪くなる。
		一般小売店[印章] (経営者)	・新型コロナウイルスの影響がなくならないため、通販への移行が常態化する。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の局面であり、来客数にも影響を与える。また、取引先の春夏の経営状況から、秋冬に向けた商品作りが十分に行えておらず、今後販売していく商材が不足するため、景気はやや悪くなる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、商材の確保が厳しくなり、来客数も増加しないことから、景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（外商担当）	・今後更に新型コロナウイルスの感染者が拡大し、再び緊急事態宣言が発令され、外出自粛要請が出ることになると、景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立っていないため、景気はやや悪くなる。
		コンビニ（支店長）	・新型コロナウイルスの影響で企業の収益が悪化し、客の購買意欲が低下するため、景気はやや悪くなる。
		衣料品専門店（代表）	・特別定額給付金が再度支給されたり、消費税が引き下げられたりするなど消費を喚起する対策が取られなければ、景気は良くならない。
		家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスや消費税の引上げの影響で景気はやや悪くなる。
		家電量販店（販売担当）	・夏の気温次第であるが、今の様子では景気はやや悪くなる。
		乗用車販売店（店長）	・今後も新型コロナウイルスの感染者数が増加し、来客数が減少する。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスが終息してもすぐに景気が戻るとは考えにくく、当分の状態が続く。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しないと、地方は高齢者が多いため、人が街に出なくなる。
		一般レストラン（経営者）	・夏休み期間の短縮、お盆の帰省の自粛、夏祭りや花火大会等のイベントの中止などが重なり、来客数は例年以上に減少する。今後更に新型コロナウイルスの感染者数が増加することになれば、夜の外食を控える風潮が拡大し、自粛ムードが高まる。また、家飲み、ホームパーティー、テイクアウトが進むことになれば、外食の機会が圧迫される。こうしたなか、今後、ますます食に関する分野で業態間の競争が激しくなる。
		一般レストラン（経営者）	・今後、新型コロナウイルスと共生していくのだが、店舗対策を講じてもスタッフが感染する可能性もあり、自衛手段だけでは限界を感じる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波が発生しつつある状況から考えると、景気は一段と悪くなる。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が増加してきているため、景気は良くはならない。
		タクシー運転手	・近県でも新型コロナウイルスの感染拡大が進行しており、再度、緊急事態宣言が発令されることを懸念している。新型コロナウイルスが終息するまでは厳しい状況は変わらない。
		タクシー運転手	・景気は今後も悪化傾向が続く。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスとの共生が続いている状況で、徐々に客の消費意欲が低下していく。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・特別定額給付金の効果で、家計は一時的に改善したが、今後は新型コロナウイルス感染の長期化による企業業績の悪化が家計に悪影響を及ぼす。
		テーマパーク（業務担当）	・このまま全国的に新型コロナウイルスの感染者数が増加してくると、外出の自粛などで景気が悪くなる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続き、客の意識が自粛に向かっているため、景気の回復には時間が掛かる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しないので、当分の間景気は良くならない。
		住宅販売会社（営業所長）	・新型コロナウイルスの影響による客の収入に対する不安もあり、景気はやや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・今後も現状から変化がなく、消費を控えることに慣れてしまった客が一層余計なものを購入しなくなるので、景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの第2波が懸念されており、景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で景気の先行きは暗い。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で景気の停滞ムードはまだまだこれからも続く。日本では地域で感染者が1人でも出れば一斉に自粛が広がるので景気が元に戻るとはとても思えない。効果的なワクチンが開発され接種が可能になるまで景気はこのまま変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔食品〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で景気後退が進み、デフレ基調がますます強くなる。
	×	一般小売店〔眼鏡〕 (経営者)	・今は緊急対策で資金が回っているが、年末までには倒産や廃業が多くなる。
	×	百貨店(販売計画担当)	・新型コロナウイルス第2波の到来や冬のボーナス支給額の減少に対する懸念もあり、客の買い控えムードが加速する。
	×	スーパー(財務担当)	・キャッシュレス・消費者還元事業の終了や新型コロナウイルスの影響による客の収入減少のため、来客数や購入単価が減少し、売上も減少する。
	×	コンビニ(エリア担当)	・Go To Travelキャンペーンで他県からの訪問者が増加すると、新型コロナウイルス感染を懸念し、来客数が増加せず、売上が減少する。
	×	衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で廃業する卸業者が出てきており、今後も景気は悪くなる。
	×	家電量販店(店長)	・前年の消費税の引上げ前の駆け込み需要の反動、新型コロナウイルスによる巣籠りや特別定額給付金の給付等による需要の先食いなどから、今後景気はかなり厳しくなる。
	×	自動車備品販売店(経営者)	・このまま新型コロナウイルスが終息せず、感染者数が増加すると、再び緊急事態宣言が発令され、日本経済は最悪の事態を迎えるかもしれない。
	×	住関連専門店(営業担当)	・自粛が原因で経済がますます低迷する。
	×	その他専門店〔土産物〕(経営者)	・このまま新型コロナウイルスの感染拡大が続けば、Go To Travelキャンペーンどころではなく、景気はますます冷え込む一方となる。
	×	観光型ホテル(宿泊担当)	・Go To Travelキャンペーンで新型コロナウイルスの感染者が拡大し、個人客が増加しても、団体客は減少する一方である。
	×	通信会社(広報担当)	・新型コロナウイルスが終息するまでは、景気は回復しない。
	×	美容室(経営者)	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないと生活スタイルが元に戻らないので、景気はどんどん悪くなる。
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・景気が上向いており、今後もこの傾向が続く。
		窯業・土石製品製造業 (総務経理担当)	・納期が延期にならない限り生産量が回復し、景気が良くなる。
		輸送用機械器具製造業 (経営企画担当)	・受注内示では1日当たりの受注量が増加しているため、今後景気は良くなる。
		輸送業(支店長)	・宅配便は好調であるが、経済活動が停滞している状況で、法人関係の荷動きが低迷している。ただ、一方でネット通販は増加する。
		農林水産業(従業員)	・新型コロナウイルスの第2波の影響で景気はまた逆戻りする。
		食料品製造業(経営者)	・Go To Travelキャンペーンに対する期待はあるが、新型コロナウイルスの感染者数の増加が景気に打撃を与えることが懸念される。
		食料品製造業(総務担当)	・多少は良くなっているが、現在の悪い状況が続く。
		化学工業(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響がしばらく続く。
		鉄鋼業(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響で景気は良くならない。
		鉄鋼業(総務担当)	・景気はこれ以上悪くならないが、良くもならず、厳しい状況が長期化する。
		非鉄金属製造業(業務担当)	・液晶関連素材の販売量に改善の兆しが見られないため、厳しい状況が続く。
		金属製品製造業(総務担当)	・受注案件が増加しないため、工場は現状の定時割れの状況が続く。
		一般機械器具製造業 (総務担当)	・受注量や販売量の動きから、今後も景気は変わらない。
		輸送業(総務担当)	・しばらく新型コロナウイルスの影響が続く。
		通信業(営業企画担当)	・新型コロナウイルス感染の拡大傾向により、鈍っていた新規取組への動きが周辺の客の中から出てきているが、まだまだ積極的ではないため、2～3か月では今よりも景気は良くならない。
	通信業(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響が続く限り需要喚起は望み薄であり、営業スタイルの変革も受け止めながら戦略を考えていくしかない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（融資企画担当）	・地元完成車メーカーの世界販売が回復し、生産台数も増加する。このため、系列の地元部品メーカーの8月以降の受注は増加するが、前年比でみると依然として1～2割のマイナスが続く。
		金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルス第2波の兆しが見え始め、地域によっては一部自粛要請の動きもあることから、全国的にその動きが波及していく。
		不動産業（総務担当）	・9月を除き、今月と余り変わらない。例年9月は、法人の異動等でやや良くなる月になるが、今年は異動を控えるようになる。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で受注量の減少が進行しており、回復は難しい。
		会計事務所（経営者）	・企業活動の再開、強化が必要であるが、新型コロナウイルスの第2波も懸念され、先行き不透明感が強い。
		木材木製品製造業（経理担当）	・全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が続き、第2波が発生しているようで、景気もやや悪くなる。
		一般機械器具製造業（管理担当）	・災害復旧が落ち着くため、景気はやや悪くなる。
		建設業（経営者）	・民間企業の受注の不透明感が続く。
		輸送業（総務・人事担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、客が消極的な動きをする。
	×	繊維工業（監査担当）	・新型コロナウイルスの影響で、しばらくの間、人の動きが止まる。通販では僅かしか売れない業界なので、人が動かない限り好転しない。
	×	化学工業（経営者）	・1か月先の受注量を決めるのにも苦慮している状況で、引き続き手探りで生産調整となっており、景気の先行きが不透明である。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	・緊急事態宣言前よりも新型コロナウイルスの感染者数が増え、今以上に営業活動が制限され、また取引先への装置据付時期の見直し等が行われているため、今後も景気は悪くなる。
	×	輸送用機械器具製造業（財務担当）	・足元の手持ち工事量の減少で、今後操業が減速する。
	×	建設業（総務担当）	・今後、客が設備投資を控えるリスクが高いため、景気は悪くなる。
雇用 関連 (中国)		-	-
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの動向にもよるが、景気はやや良くなる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響や米国と中国の対立が顕著になっており、国内においても引き続き積極的な人材投資を控える傾向が続く。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルス感染の第2波が懸念されているが、このままの状況が維持されれば求職者や求人者の動きもあり、雇用のマッチングも進む。ただ、経済の回復が見込まれない状況になると企業の体力がもつ心配になっている。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・緊急事態宣言解除後、経済は徐々に活発化しており、地元完成車メーカーの協力会社の次年度の採用も今のところ若干減少する程度でほぼ変わらない。インターンシップを就業型で実施するのは困難で、Webインターンシップを検討する企業が出てきており、全体的にはインターンシップのサイト掲載企業が減少している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・飲食業やサービス業に加え、輸出産業や製造業も大きな打撃を受けており、新型コロナウイルスの今後が見通せない状況で、経済の停滞、更なる景気の減速も懸念される。
		職業安定所（事業所担当）	・新型コロナウイルスの影響が様々な業種に現れ、雇用調整助成金等の申請相談も多く、雇用環境の悪化も継続している。雇用保険関係を前年同期と比較すると、適用事業所数は、5月が1.8%増、6月も1.8%増、被保険者数は5月が1.4%増、6月が0.9%増と共に微増で推移している。新規求職者数を前年同期と比較すると、5月が17.8%減、6月が9.4%増となり、有効求職者数を前年同期と比較すると、5月が11.1%減、6月が3.5%減となっている。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・説明会の開催を再開している企業も見受けられるが、新卒採用に積極的な企業数は減少傾向にある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・足元で起こっている新型コロナウイルスの拡大が続けば、ここまで高水準で推移していた有効求人倍率が1.0倍を割る水準まで下落する。そうなれば、これまで雇用維持に動いていた企業が、固定費の削減へと態度を変える可能性が出てくる。
		職業安定所（雇用関連担当）	・新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、景気はやや悪くなる。
		民間職業紹介機関（職員）	・緊急事態宣言解除後、新型コロナウイルスの感染者が拡大し、経済とのバランスをどう保つのかははっきりしないなか、投資も含め様子見状態が続くため、景気の先行きは不透明である。
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・ホテル、ブライダル業界では、毎年行っていた新卒採用を取りやめる企業も多い。新型コロナウイルスの再拡大に伴い、新規雇用を控える企業が出始めていることから、今後景気は悪くなる。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・景気が悪くなる材料しかないため、今後、景気は悪くなる。
	×	人材派遣会社（支社長）	・人材業界では、契約期間の節目となる9月末に更新なしによる契約終了が増加すると見込まれており、大手各社では20%程度が契約を終了する見込みである。新型コロナウイルス発生以前とは一転して、極端な買手市場になる。
	×	求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの第2波が懸念されるため、景気は悪くなる。
	×	職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの影響で、特に製造業、宿泊業、飲食サービス業では雇用環境が急激に悪化し、求人募集の取りやめや採用計画の見直しをする事業所が見受けられているため、今後景気は悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスの影響で人の流通が阻害され、経済活動に悪影響を与えており、今後も求人の回復には至らない。

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)		百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルス感染症がこのままの状態であれば、消費マインドの安定とともに景気が回復していくと思われるが、今後、県内の感染者数が増加すれば再び悪化が予想される。正に新型コロナウイルス次第といった印象で先行きが見えない。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、3か月前は最悪の状態であったが、今後は多少なりとも良くなるのではないかと予想している。
		一般レストラン（経営者）	・首都圏や大都市で新型コロナウイルスの感染が拡大しており、地方へも広がるおそれがある。第2波による自粛が始まれば、最初の自粛時期より苦しくなることは確実であり、絶対に避けなければならない。このまま順調に平常時に戻ることを祈るのみである。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスが一定の収束をみせ、下げ止まりから少し戻ると予想する。
		旅行代理店（営業担当）	・日々感染者数が増加しているため、今後の大幅な受注拡大は見込めないが、少しずつ動き出す様子はうかがえる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が継続しており、現在の状態で推移していくと思われる。
		商店街（代表者）	・都市部を中心に新型コロナウイルスの感染が拡大し、第2波が予想される事態になっている。景気は低下したまま推移し、消費も頭打ちになると予想される。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・繁華街の店舗のイベントが縮小、又はなくなっているのので、業者に大量の注文が入らない状態がこれからも当分続いていく。必要最低限の個人の予約が中心になってきている。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り変わらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息し、生活様式が以前の状態に戻らない限り、今の状況が継続すると考えている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響による不況が到来すると思ったが、意外と客は持ちこたえているように感じる。災害による青果物の相場高もあり、今のような状況が当分続くことが予想される。
		スーパー（企画担当）	・遅れていた学校の夏休みが開始し、8月に入ってから家庭内での食事機会が増えることになるので、再度買上単価の上昇が起きると推定する。
		スーパー（人事）	・地方への影響は表面的にはないと思われるが、感染拡大の具合によっては悪くなることは間違いないと考えている。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染に過剰反応が起きており、弱アクセラと急ブレーキの繰り返しである。今後も状況は良くはならないと考えている。
		コンビニ（総務）	・新型コロナウイルスの影響は今後も続くと思われる。売上が前年並みに回復するのはいまだみえない状態であり、景気回復の兆しも全くみえていない。
	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が再度増加しており、以前ほど悪い状態にはならないにしろ、このままの状態が続くのではないかと予想する。新型コロナウイルスの影響次第である。	
	衣料品専門店（経営者）	・長かった梅雨も明け、7月はある程度売上が回復すると思われるが、新型コロナウイルスの感染者数も再度増加しており、全体的に動きが萎縮することが予想される。当県の場合は感染者数が比較的少ないため、極端な景気の後退はないと思うが、拡大は厳しいと感じる。	
	家電量販店（副店長）	・毎日、新型コロナウイルス感染症の第2波について報道されているが、客の来店状況は悪化しておらず徐々に回復しつつある。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売業（営業担当）	・自社で開催しているキャンペーンが9月末までなので、新型コロナウイルスの影響次第では、今後状況が悪化する可能性も高くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・自動車の受注は良くなってきているが、点検や整備は現状維持が続いている。
		乗用車販売店（従業員）	・地方なので新型コロナウイルスの感染を怖がる人が多く、人の動きが鈍い。
		乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスの終息が読めない状況では先行きも見通せない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が長引くことで、個人所得は減り、個人消費も落ち込むと考えている。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着かなければ経済は回らない。
		タクシー運転手	・7月に入ってからGo To Travelキャンペーンが開始され、全国的に新型コロナウイルスの感染者数が増加している。県内では感染者数はさほど増加していないが、委縮している人が多い。売上は前年比50%くらいで、2～3か月先もこのままの状態が続くと考える。
		通信会社（営業部長）	・新型コロナウイルスの影響は一旦収まってきたが、長期的には家計節約の動きに影響され、買換えサイクルの長期化等で売上が微減になると推測する。
		通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くと予想する。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの第2波の影響もあり客の動向が読めない。タブレット需要も高まっているが商材の供給が安定せず対応が難しい。
		競輪競馬（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染状況が再度悪化しており、経済活動と感染防止対策の同時推進の観点から、新型コロナウイルスが今後収束する見込みは薄い。今も客の自粛意識が高いことに加え、行政から自粛を要請されることも考えられるため、今後も状況は変わらないと予想される。
		商店街（事務局長）	・ウィズコロナの生活を店舗事業者や消費者は受け入れざるを得ず、ワクチンが広く普及するまでの今後数年間は、事業者も従来の売上や来客数は確保できないと覚悟している。しかし一方で、ウィズコロナの時代に適した商品開発やサービスの在り方を模索する、前向きで意欲的な事業者もみられ、刺激にもなっている。
		スーパー（財務担当）	・雇用環境の悪化や収入の減少が、個人消費に悪影響を及ぼしてくる。
		コンビニ（商品担当）	・新型コロナウイルスの第2波の影響で、デリバリーや通販などに需要が移行するとみている。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染防止のために在宅勤務等が始まったことにより、前倒しで家電の買換えが進んだ結果、その反動で今後は販売が低迷すると予想される。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び全国的に増加傾向にあるため、このまま景気が回復するとは考えられない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・5～6月は、新型コロナウイルスの影響で少し売上が良かったが、今は少し悪くなってきている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・新型コロナウイルスが終息するまでは、良くなるとはとても思えない状態である。
		通信会社社員	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるため、プッシュ販売に再度制約が掛かるおそれがある。
		美容室（経営者）	・今は新型コロナウイルスの影響で店に来られなかった客が動いている。7月の連休とお盆休みで感染者数が増加するとまた来客数は減少するのではないかと考える。
		設計事務所（所長）	・都市部との往来に再度影響が出始めており、仕事上でも問題が出てくるのが予想される。
	×	商店街（代表者）	・閉店する核店舗の再生計画は全く進んでいない。地方都市の核店舗閉店に対応する新たな核施設の創設などは現在の経済情勢の下では思い付かない。
	×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、状況は更に悪化している。人々が外出を自粛していることで来客数は減少しており、今のところ先が読めない状況である。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・7月下旬から新型コロナウイルス感染者数の増加が顕著なので、この先は更に人出が少なくなり、外食産業は不景気になる。いつまで耐えればいいのか分からない状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染者の増加に歯止めが掛からず、再び4～5月のような状況か、それ以上の業況悪化が懸念される。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で経済が停滞している。
	×	タクシー運転手	・本来であればこれからの秋の時期は四国八十八箇所参りの仕事が入るが、全国的に新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため、多くのキャンセルが予想される。今は昼も夜も何となく人出が少ないように感じるため、明るい兆しがなく不安である。
	×	美容室（経営者）	・客も店舗も新型コロナウイルスの感染を考えると、リスクが高い通常営業は自粛せざるを得ないと考えている。
企業 動向 関連 (四国)		-	-
		パルプ・紙・紙加工品 製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌ウェットクリーナーの受注が増加している。アルコールの仕入制限があり、増産は余りできていないが今後も売行きは好調と考えられる。
		電気機械器具製造業 （経営者）	・特殊なバイオマスの発電事業を近々受注予定であり、今後も改めて再生可能エネルギーが見直され、重要視されていくことが予想される。
		食料品製造業（経営者）	・このところ都市部で新型コロナウイルスの感染者が増加してきており、外食需要の減少が懸念され、その販路に対する売上低迷が予想される。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの感染が再拡大しており先が見通せない。
		電気機械器具製造業 （経理）	・新型コロナウイルスの第2波と思われる感染者数の増加により、外出の再自粛の可能性が高まっている。
		建設業（経営者）	・官民とも発注の見通しが悪い状況である。
		輸送業（経営者）	・このまま悪い状態が続くと予想される。
		輸送業（営業）	・景気再興施策として実施されているGo To Travelキャンペーンの推進が、更なる新型コロナウイルス感染症の感染拡大を誘発するのではないかと危惧する声が多く聞かれるなか、消費増大につながる動きは鈍化したままの状況が続くと推察しており、取扱物量の増加についての期待は薄い。治療薬やワクチンの開発がなされない限り消費者の不安要素が払拭されることはなく、当面の間は経済の回復による景気の好転は望めないと推察される。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響は2～3か月後も続くことが予想される。景気回復策も実行されているが、プラスマイナスゼロで変わりがないと考えている。
		通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルスの終息が見通せない。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数がまた増加傾向となり、販売促進広告の復活傾向がストップした。年内のイベント中止や販売促進広告の自粛が継続される見込みであるため、今後も厳しい状況が予想される。
		税理士事務所	・新型コロナウイルスの第2波が懸念されており、それにより売上が完全に戻るとは思えない状態である。
		繊維工業（経営者）	・7月も6月同様、前年並みを維持できているが、新型コロナウイルスの再拡大により、小売店の経営が破綻し、閉鎖するところも出てきそうである。国の支援もいつまでも続けるわけにもいかず、国内経済全体も先行きは厳しくなりそうである。
		輸送業（経理）	・新型コロナウイルスの第2波が全国に拡大しつつあるため、経済を優先する行政の今後の動きが読めない状態となっている。再度活動自粛となった場合、国内物流における生活必需品需要は拡大すると予想されるが、国際物流の輸出入については低迷していくと思われる。
	×	農林水産業（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が不十分かつ感染拡大を助長するような施策がとられている。現在、地方の感染者は少ないが、都市部からの流入は確実であり、日本全国で第2波に見舞われることが推測される。田舎ほど風評被害が発生しやすいことから、都会の流儀で政策を進めることを懸念する人は少なくないと予想される。安心安全な農産物の食糧基地は田舎であり、消費地の人がこれを脅かす行為や施策は禁じ手と考えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	木材木製品製造業（営業部長）	・新型コロナウイルスの影響が本格的に出てくるとみている。第2波の影響で景気がどこまで悪くなるかは不透明であるが、改善することはないと考えている。
	×	鉄鋼業（総務部長）	・船舶は年内受注は確保されているが、来年度以降は不明である。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の低迷、点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が今後も増加すると予想される。医療体制や感染防止の施策が十分とはいえないことが要因であり、企業、団体、個人レベルで活動を縮小せざるを得ず、経済活動はますます制約されると考える。この先、現下の国や自治体の施策のままでは安心安全が担保できず、景気が良くなる要素が見当たらない。
	×	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの第2波が本格化しており、再度景気の悪化が予想される。
雇用 関連		-	-
(四国)		求人情報誌製作会社（従業員）	・新型コロナウイルスへの対応に慎重な企業が多く、すぐに採用を増やす企業が増えてくるとは考えにくい。
		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で、休業している事業所から雇用調整助成金の相談が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。緊急事態宣言が解除となり、県外への移動も可能になっているが、感染者は増加傾向にあり、景気は改善も悪化もしないという状況がしばらく継続すると考えている。
		民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルスが終息する兆しがなく、現状が続くことが予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、新規求人に積極的な業界が見当たらない。
		人材派遣会社（営業）	・夏休みの期間が短くなり、例年の繁忙期と比べて厳しい夏を迎えることになる。従来の繁忙期対応による雇用が減り、3密回避のため夏祭りや花火大会、コンサートなどのイベント開催の自粛も重なり、厳しい景気となる見込みである。
		求人情報誌（営業）	・新型コロナウイルスの根本的な解決策がない以上、各業種での景気落ち込みの回復は難しい。Go To Travelキャンペーン等で一時的には回復するかもしれないが、先がみえないため景気対策としては懐疑的と考える企業が多い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの第2波が更に拡大し、秋に向けて準備中のイベントも開催が危ぶまれる状況である。
		職業安定所（職員）	・大卒や専門学校等の内定率が前年に比べ低下している。新型コロナウイルスの影響を受け、特にホテル業に絡んだ調理や接客等の求人が今年度は出でず、学生にとって就職活動が厳しいものとなっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染者数は収束に向けて減少するどころか増加の一途をたどっている。感染拡大の先行きは極めて不透明であり、その影響が計り知れない。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・経済回復の兆しがみえず、新型コロナウイルスの影響により様々な派遣先で求人がなくなっており、景気の低迷が懸念される。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連		タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染者の急増により、当社は8月から再び休業となり、経済的活動が順調に回復するとはとても考えられない。
(九州)		競馬場（職員）	・客の入場が、再開される可能性がある。
		商店街（代表者）	・今月は4月との比較だけが良いだけで、決して状況が良いわけではない。収束に向かえば良くなると思うが、第2波の感染拡大が続けば、今の状況が継続するのではないかと懸念している。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・この暑い夏、新型コロナウイルスが再発すると、秋以降が懸念され、この状態では商売が成り立たない。少しでも早く収束し、明るい年末を迎えられることに期待したい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、自宅での食事が多くなっており、加えて、雨のため青果を中心に相場が高くなり、売上が上向き傾向である。このため、小売やスーパーマーケット業界の売上は、順調に推移しており、この状態が2～3か月は継続する。
		衣料品専門店（総務担当）	・2～3か月すれば、新型コロナウイルスの影響も相当に薄れ、かつ消費税引上げの影響も緩和され、若干の回復があると期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの状況次第ではあるが、第2波で自粛要請等なければ、今よりも好転する。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で停滞していた事業が、様子見ながらも動き出している。官公庁の観光事業では、Go Toトラベルキャンペーンの動きも活発化している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染防止で、人の動きがないために消費が悪くなっている。新型コロナウイルスのワクチンや特效薬が開発されるまでは、決して良くならない。
		商店街（代表者）	・消費の回復には程遠く、生活必需品のみ最低限の購買にとどまる。
		商店街（代表者）	・観光問題や宿泊関係、飲食店に対する様々な補助的援助はあるが、それでは解決しない。気をつけていても、新型コロナウイルスは見えないため脅かされ、地方ではいつまで持ちこたえることができるのか不安である。
		百貨店（営業担当）	・店頭でのお中元ギフト注文や持ち帰りの客は回復していない。一方、電話やファックスでの通販受注とインターネット受注は大きく伸びている。また、本店への来場は減少しているが県内各地域に展開のギフトショップやサテライトショップは堅調である。今後も感染収束までは、生命・生活防衛意識により、街への外出、とりわけ家族そろっての外出の抑制や、慎重な購買姿勢が続き、そのため景気回復は遅れると予想される。
		百貨店（売場担当）	・現状のままであれば、新型コロナウイルスの影響により、当店では、メーカーの都合もあり、8月以降衣料品13ブランドや食品等一部の企業が撤退あるいは廃止になり、かなり痛手となる。今後は、80～90%の推移の動きに期待したい。
		百貨店（売場担当）	・再び新型コロナウイルス感染者が増加しており、やっと徐々に客数や売上が戻ってきて、また外出自粛となれば急激に悪化し、先行きを見通すことが非常に難しい。今後、回復基調になることに期待している。
		百貨店（プロモーション担当）	・第2波到来を受けて、再度休業にならないためのリスクマネジメントを最優先に営業を続ける。
		スーパー（総務担当）	・食品スーパーマーケットだけを考えると、売上は引き続き前年比プラスで推移すると思われるが、新型コロナウイルスの感染拡大懸念の大きさに左右される部分が極めて大きい。
		スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルス発生以前の状態、若しくは若干悪い状態が継続すると予想している。
		スーパー（統括者）	・現在、チラシ特売は復活させず、生活応援安心価格として、特売期間を設けずに低価格での販売を実施している。客からは、良い評価があり、前年や予算含めクリアできている。
		コンビニ（経営者）	・当店の環境変化は、テレワークの促進による客の減少が更に顕著になる。飲食店を利用する夜帯の客数減も新型コロナウイルス感染再拡大の影響で、前年比70%程度であり、今度の景気回復の好条件は少なく、経営努力で現状維持がやっとなのである。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの終息次第で景気も左右される。政府には、具体的な政策を隔々まで行ってくれることを期待している。状況が厳しい店でも、何の恩恵を受けることができずにいることを把握してほしい。この厳しい状況は、今後も継続する。
		コンビニ（経営者）	・秋にインフルエンザや新型コロナウイルス感染が拡大すると、影響はかなり深刻なことになる。
		コンビニ（エリア担当）	・引き続き先行き不透明である。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス第2波と経済の政策次第で、状況は変化してくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当・店長）	・梅雨明けすると夏の商品でソフトドリンクやアイスクリーム、冷たい麺の売上が徐々に伸びてくる。今後、客単価が高くなることに期待している。
		衣料品専門店（取締役）	・新型コロナウイルス感染者が増加しており、第2波の兆候である。3か月先のことが全く読むことができないが、秋に予定されていた公的催しは中止になっている状況である。企業としては、感染対策をしながら営業を続けていくことを目指しているが、今後業務の見直し等様々な企業努力をして、何とか維持したいという望みのみである。
		家電量販店（店員）	・緊急事態宣言が解除された後は、来店客数が多くなったが、最近感染者数が多くなったことで、来店客数が非常に減少している。これから3か月後、来店客数や販売量共に上がる見込みはないが、今より落ち込むことはないと考えている。
		家電量販店（総務担当）	・新型コロナウイルスの特需も一段落し、逆に長梅雨の悪影響がじわじわと出ている。梅雨明け後の猛暑に期待したい。
		家電量販店（従業員）	・特別定額給付金やボーナス、自粛等の状況に加え、猛暑で冷房の需要も増えており、高い買物をする客が増加している。
		乗用車販売店（代表）	・良くなるような状況ではない。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・前年との比較では、この夏はコーヒー豆より飲料系がよく売れる。前年と同じ状況であれば増加傾向であるはずだが、新型コロナウイルスの影響もあり、来店客は若干減少している。しかし、数回の来店を避けるため、客の購入点数は増え、その結果、客単価が上がっている。この動きは7～8月まで続く予想されるため、前年と景気は変わらない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格は、しばらくは若干値上げ傾向で推移しそうである。夏休みが全体的に減少しており、客からは子供との短めの行楽予定を耳にするため、前年並みの販売量を予想している。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・新型コロナウイルスの影響により、今年の3月から大きく落ち込んでいる。当面はインバウンドの回復も見込めず、状況は悪いままで変わらない。
		高級レストラン（経営者）	・アンケートの結果だけを見ると、5月の緊急事態宣言の頃と比較すれば良くなっているのは間違いないが、末端の飲食店は、普通に戻らないし、何も変わりはない。今後も、この状態が継続しそうであるが、僅かな客をやりくりし日々耐え忍びながら、新型コロナウイルス収束を待っている状態である。
		観光型ホテル（総務）	・新型コロナウイルスの感染者が、再び増加に転じている。感染者が増加するニュースに連動して、宿泊や宴会、レストランの予約取消しが増える傾向が顕著である。終息がみえないなかで、景気が良くなるとは到底考えられない。
		旅行代理店（従業員）	・国内では、ある程度の予約に期待できるが、第2波やインフルエンザ流行等不安要素が大きく、現状では先行きが見えない。
		タクシー運転手	・このまま新型コロナウイルスの終息がみえなければ、ホテルや空港を利用している客に影響があり、タクシー利用が減少するのではないかと危惧している。また、夜の街への外出も減少している。
		通信会社（業務担当）	・新型コロナウイルスの状況下、何とか売上が元に戻るようには動いているが、感染者がまた増加傾向にあることもあり、なかなか思い切った経営判断ができない状況である。
		ゴルフ場（従業員）	・第2波、第3波が落ち着くまで、しばらくは、この状態が続く。
		理容室（経営者）	・今月後半になり、当県も新型コロナウイルス感染者が多く発生し、客の来店日数が延びており、今後の景気は、先行き不透明で良くなる気配はない。
		美容室（経営者）	・例年ならば、春に景気が良くなり、夏に一段落するのであるが、全く変わらないということは、客の自粛傾向が考えられる。現状は最悪であり、その状態が継続しているため、今後も最低な状態は変わらない。悪天候も重なり、売上増進につながらない。
		美容室（店長）	・今後の景気は不透明で、見通しが立たない。現状維持であれば、良い方である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・今後も新型コロナウイルスの影響が継続することにより、減収が想定される。
		設計事務所（所長）	・契約となりそうな物件や資料関係が少ないため、今月と変わらずあまり良くないと判断している。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染により、今後が不透明なため、住宅計画の時期を延期している客はまだ多く、しばらくは横ばい状況が継続する。
		商店街（代表者）	・第2波の傾向が全国的に広がっている。来店客数や販売高にもかなり悪影響を及ぼすと予測される。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが再び流行し始めているため、幾つかの会合が、再び中止になっている。飲食店やホテル関係では、利用者が減少しており、経済的に落ち込んでいき懸念される。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・ここ数日、新型コロナウイルスの感染者が増えているため、外出する機会も減り、また売上にも影響してくる。近隣の客には、配達をしてお対応しているが、このまま感染者が増えたと、法人向け事務所用へは、在宅勤務に切り替わり、配達が少なくなる。飲食店への自粛も再度要請があれば、注文も受けることができないため、今後が懸念される。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえていない状況では、景気改善は見込めない。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス感染者数が、また増加しており、来店客数への影響が不安である。
		百貨店（業務担当）	・外出自粛が日常的になると、元に戻るのことが難しくなる。また、収入が大きく減少している客もいるため、今後の消費は、更に冷え込むことが懸念される。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息が不透明のため、先行き不安である。
		スーパー（企画担当）	・梅雨の長期化とともに豪雨被害が深刻化しており、今後の農産物の出荷等が懸念される。また、夏休みの短縮等による観光、レジャー産業へのマイナス影響が、景気を悪化させる要因になる。一方で、新型コロナウイルスの終息が見込めないものの、内食傾向に変化はなく、単籠り消費傾向は続くものと考えられ、食品スーパーの好調はしばらく続くと思われる。
		コンビニ（経営者）	・客数が増加している間は、売上が落ちても回復の望みがあるが、客数がどんどん減少していると今後が不安になる。また、客の消費マインドも将来の不安のために慎重になり、消費が落ちていく。
		家電量販店（店員）	・7月にクラスターが発生後、かなり来店客数が減少している。どの時点で新型コロナウイルスが収束するかが最大のポイントであるが、3か月先の先行きが不透明なため、全く分からないが、今の状況では悪くなる。
		家電量販店（広報・IR担当）	・新型コロナウイルス感染者が再び増えている状況であり、6～7月は家電需要の駆け込み的な面も否めず、先行きは不透明である。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの状況次第で、今以上に悪化する。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の第2波が心配である。せっかく来店客が増え、販売台数が増加したが、この先の状況が読めない。
		住関連専門店（経営者）	・今月の売上が上向いた要因は、10万円の特別定額給付金を消費に充てられたためであるが、消費されてしまうと、新型コロナウイルスが終息しない限り、景気回復は見込めない。
		住関連専門店（従業員）	・当県内でまた新型コロナウイルス感染者も増え、また近隣でもクラスターが発生したため、商店街に出歩いている高齢者が減少している。また、来店者数をも徐々に減少に転じており、緊急事態宣言の自粛中の状態に戻るのではないかと懸念している。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・一時回復の兆しは見せたものの、新型コロナウイルスのマイナス影響は大きく、今後2～3か月の動向は楽観視できない。地域の客も日々の報道内容によって行動が左右されており、ワクチン開発といった起爆剤でもない限り、安定した経済活動はできない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、消費マインドに水を差す状態である。7月4連休の街の人出も少なく、売上が伸びていない要因として、自粛ムードが反映されているためである。
		居酒屋（経営者）	・このままでは、新型コロナウイルスの感染者数が増加してくる。
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルスは、人の動きに比例して感染者数も伸びている。旅行客の移動で一時的に経済効果は期待できるが、今後感染者数の急激な増加につながり、再度の自粛要請が発令され、深刻な状況になると予想される。
		観光型ホテル（専務）	・熊本地震の後、復興割があったため宿泊客が増えたが、それが終了してからは、その反動で不景気となった。今回も助成終了後の落ち込みが懸念される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・第2波の状況により、悪化する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・戻り始めた宿泊客も、再度の自粛要請で減少する可能性があり、見通しが立たない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスに起因する一過性の販売増加であり、2～3か月後にはその勢いもなくなると予想している。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響があり、危惧される。
		美容室（経営者）	・第2波の兆候があり、悪くなる一方で、今後がとても不安である。閉店した同業者も多く、どうにか頑張りたいが、経済も厳しい状態で、今後の政府の対策に期待をしている。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・国内では、新型コロナウイルスの第2波が確実に近づいている。海外でも、発注先の情勢不安もあり、まだまだ景気回復は先である。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	・再び新型コロナウイルス感染が広がりをみせており、消費者動向が更に減少すると想定している。
	×	商店街（代表者）	・景気が良くなる要素や兆しが全くみえない。
	×	商店街（代表者）	・当県でも新型コロナウイルスのクラスターが発生し、老若男女全ての人々が警戒心をいだいている。2～3か月先は、一段と厳しい商況であると覚悟している。
	×	一般小売店〔青果〕（店長）	・プラスになる材料がなく、新型コロナウイルスの第2波が来ているため、8～9月は、猛暑や台風の影響で、もっとひどく、厳しい状況になるのではないかと懸念している。
	×	一般小売店〔精肉〕（店員）	・新型コロナウイルスの第2波による、再度外出自粛等の発令があると、かなりの影響が出るのではないかと危惧している。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、今までは祝い事があると花の注文があったが、その注文もなくなり、今後の売上にかなり影響してくる。
	×	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が予想より早く到来している。これまで以上に様々な業種に影響が及び、小売の回復は、最も遅れると予想している。
	×	百貨店（営業担当）	・今後は、新型コロナウイルスの感染者数が増加すると考えていなければならない。再度の緊急事態宣言が発令される可能性が極めて高いため、好材料になる物がない。内容的には、ファッション中心に非常に厳しい。ただ、一部特定の高額品だけは、動きがある。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの問題がある程度収束しない限り、景気は回復しない。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの第2波、第3波が確実にきている。
	×	衣料品専門店（店長）	・2～3か月先が不透明で、景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店（店員）	・新型コロナウイルス感染者が拡大すると、また自粛になるのではないかと不安を隠せない。
	×	家電量販店（店長）	・店周辺エリアで新型コロナウイルス感染者が発生すると来客が激減してしまうため、現在の感染拡大傾向では客数減少が否めない。
	×	高級レストラン（経営者）	・助成金が底を突き、従業員に給料を支払う余裕もなく、以前のような日常が戻って来ないということがはっきりし、全く先がみえなくなっている。
	×	一般レストラン（経営者）	・今後、第2波の脅威を感じており、国の対策や政策次第では、今以上に深刻な状況に陥る。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般レストラン（スタッフ）	・急激な人の動きで、新型コロナウイルス第2波が必ず来る。次は特別定額給付金は給付されないことも考えられ、今以上に厳しい状況になる。現状が良く感じても、すぐ先には不安しかない。
	×	タクシー運転手	・国は、経済活動を拡大したいと考えているが、今回のGo To トラベルキャンペーンは、実際の世の中の動きと全くずれている。国はリーダーシップを取り、今後の経済活動のかじ取りに期待したい。
	×	観光名所（従業員）	・長梅雨や令和2年7月豪雨の影響もあり、ボートの営業再開が見通せない状況である。もし、ボート営業再開となれば、混雑は見られない程度に来客数の回復は見込めると予想される。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの第2波に備え、生活維持のための現金確保や貯蓄が多くなり、不要不急の家の建築やリフォームには、支出しないと考えられる。
	×	設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が長引いている。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、景気の先行きはみえない。一部では景気が良くなっているが、第2波により先行き不透明のため、購買意欲が非常に慎重で、不動産に手を出す人は少ない状況である。一部の物件では順調に進んでいるものもあり、その差が激しい。
企業 動向 関連 (九州)		-	-
		食料品製造業（経営者）	・季節性商材の本格稼働時期に入っていくため受注は見込めるが、新型コロナウイルスの影響が続けば受注計画を下回することは否めない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・6～7月が底ではないかと考えている。2～3か月先は、秋口にもなるため受注関係も若干回復するのではないかと予想しているが、新型コロナウイルスの影響により先行き不透明で、なかなか難しい面もある。受注が増えると売上も上がっていくことになるが、今後はWeb関係が主力になってくる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・電気関係は今の状態が続くと考えられるが、自動車の需要は、若干上向きになるのではないかと客は予想している。
		電気機械器具製造業（取締役）	・戻った時点で体制が確立できる企業が、経営を維持できると考えている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・6月の非稼働分のばん回生産が計画されており、生産量は増えてくる。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・全体的に横ばいではあるが、中国での生産ラインを日本に移行する等の対策により、国内生産量は徐々に高まる予定である。しかし、新型コロナウイルスの影響で思うほど伸びないのではないかと懸念は残っている。
		建設業（社員）	・年度末に向けて、上向いてくることに期待したいが、今後新型コロナウイルスの影響で現場が施工不可能になることも考えられ懸念している。小さな工事でも受注しておきたいが、補正予算も全て新型コロナウイルス対策に充てられると予想され、早めの発注を願っている。
		農林水産業（経営者）	・7～8月は、お中元シーズンで特別需要もあるが、今年は家庭内の消費が伸びていることもあり、お中元の引き合いも順調な流れである。外食部門の納品では、新型コロナウイルスの第2波的要素で、地方にも感染が広がっており、一段と消費が落ち込むのではないかと懸念している。スーパーマーケット向けでは、新しい商品の提案等もあり、計画需要に期待している。
		化学工業（総務担当）	・国内外の作物生産の動きに対する新型コロナウイルスの影響は、不透明である。
		建設業（従業員）	・見積案件も少ない状況だが、前月受注した8～9月しゅん工の物件で、配置員が不在になり、どうにか8月中に受注できる状態に対応したい。
		輸送業（従業員）	・3か月先の受注金額は、化粧品や健康食品共に変化がない状態である。
		輸送業（従業員）	・第2波と思われる状況が続いており、新型コロナウイルスの発生以前に戻るには時間が掛かる。また、新たな取組を模索している荷主もあるが、経済が落ち込んでいる状況で、個人消費にしても回復するには、相当な時間が掛かると危惧している。
		通信業（職員）	・新型コロナウイルスの状況でも情報通信関連の受注は落ち込むことはなく、受注量は堅調に推移している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（経理担当） 金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスの状況に、好転の兆しがない。 ・世界だけでなく、日本でも新型コロナウイルス感染が再び拡大している状況である。ワクチンも未開発な上、政府の方針も明確に定まっておらず、今後2～3か月で景気が良くなるとは考えにくい。
		金融業（営業）	・新型コロナウイルスの影響は、融資による資金繰りや各種の補助金等により、ピークを過ぎた感はある。しかし、第2波による更なる自粛も想定され、現況が長期化すると考える。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスの感染者数がじわじわと増加しており、当面は予断を許さない状況が続く。事態が収束せず、厳しい経営を余儀なくされている事業者の倒産や廃業が今後も増えれば、地元経済の更なる疲弊は不可避である。
		不動産業（従業員）	・商業施設の売上低迷が継続する。
		経営コンサルタント（社員）	・新型コロナウイルス対策により、当分は動けないため、先がみえず不安である。
		経営コンサルタント（社員）	・新型コロナウイルスの第2波で規制の発令があれば、今までの状況が続く。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・自社ホームページのアクセス数や問合せ件数に変化がない。
		家具製造業（従業員）	・東京以外でGo To トラベルキャンペーンが開始されているが、全国の観光客は増えず、ホテル観光業は需要の回復も期待できない状況である。今後、新たなホテル出店案件も軒並み中止及び保留になっており、全く回復の兆しが見えず、先行き不安な状態が続いている。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・購入に関する決定事項が先送りにされるパターンが多い。
		鉄鋼業（役員）	・新規の建設着工指数に陰りが見受けられ、新型コロナウイルスの影響が現れてくる。
		精密機械器具製造業（従業員）	・前月と同様に新型コロナウイルスの影響で、生産数減少傾向となっている。まだまだ見通しの付かない状況にあり、生産負荷の減少が続くと考えられる。
		輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者が増えている。明らかに第2波となっているため、休業要請発令となれば、また景気が悪くなるのは必然的である。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数は、7月後半から増加し始めており、全体的に消費者心理や行動、事業主のマインドが落ちている。この感染者数はしばらく増加傾向にあると考えられるため、今後2～3か月は全体的には、景気は現状よりやや悪くなる。
		広告代理店（役員）	・夏場のキャンペーン時期に出稿が盛り上がる気配を見せず、夏場のイベント等も見送られ、良いニュースがほとんどない状況である。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・7月末には新型コロナウイルスの影響が、更に厳しい状況になっていることを鑑みると、少なくとも8月は落ち込み、9～10月まで影響が残ると危惧をしている。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・経済活動が戻らない限り、景気は更に悪化することが考えられる。
	×	農林水産業（従業者）	・悪くなる要素しかない。
	×	食料品製造業（経営者）	・令和2年7月豪雨による被害で、休業状態である。回復まで厳しく、深刻である。
	×	繊維工業（営業担当）	・今後も倒産や閉鎖が増加すると考えられる。
	×	金属製品製造業（事業統括）	・民間では、新型コロナウイルスの影響により、積極的な設備投資が計画される状況ではなく、役所では公共事業を積極的に求められる。また、地方では、洪水での土木事業のみの支出となり、今後も大きく見込めない。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	・このままでは今後、受注が改善するのは来年以降との取引先の声がある。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先からの受注が、今あと数か月先も減少傾向にある。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が続いており、深刻な状況になる。
	×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向に転じたため、Go To トラベルキャンペーンの開始等で増加していた旅行申込みや飲食店の予約にキャンセルの動きが相次ぎ、ホテル・旅館・飲食店等では厳しい状況が続いている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	×	新聞社〔広告〕（担当者）	・好材料が見当たらない。	
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村からの委託業務の主要な発注は、例年では8月までに終了するため、このままでは、調査や計画策定、設計等の発注が行われないうままに推移することが見込まれる。このため、受注できず景気が悪くなることが予測される。	
雇用 関連 (九州)		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスに対する不安はあるが、経済活動も積極的にならないと雇用が維持できない。年末商戦には、どの企業も力を入れてもらいたいところである。	
		人材派遣会社（社員）	・当地での新型コロナウイルス感染者数の増加がみられるため、再度キャンセルが出る可能性がある。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染の広がりは、まだしばらく続く。その状況で、経済も回すことも求められるが景気回復までには至らないと予想している。8月には熊本地震からの豊肥線復活というトピックもあるが、効果は限定的である。	
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響により悪い状況ではあるが、給付金の処理の仕事が発生し、受注金額が大きい。しかし、給付金の仕事も短期的であるため、売上は落ちる。	
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響もあり、売上が激減しており、稼働している派遣に対しても何かしらの調整が入る気配があり、全体的に悪くなる。	
		人材派遣会社（社員）	・企業人事担当者と話をする限り、雇用が回復する見込みが見当たらない。	
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・Go To トラベルキャンペーンもあり、一時期ゼロだった旅行業界からの広告も若干復活し、業界全体がゆっくり動き出している。最近の新型コロナウイルスの感染者数増加で、復活の兆しがあった秋以降のイベントが、軒並み中止になりつつあり、このままの傾向が続けば、再度の景気の落ち込みが避けられない。リモートでのイベントに切替えも模索しているが、今の時点では中止の選択肢が多い。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・収まりかけた新型コロナウイルスの感染拡大がこのまま続くくと、秋以降は、政府の対策次第で、徐々に経営が厳しい業種が増えてくる。また、秋は本来であれば大学やスポーツ、エンターテインメント系の集客を期待できる時期だけに、景気の上向きは更に難しい。	
		職業安定所（職員）	・求人数は、新型コロナウイルスの影響に加え、令和2年7月豪雨の影響が復興需要のプラス面より当初はマイナス面が大きく出ることから、当面厳しい状況が続く。	
		職業安定所（職員）	・主な要因である新型コロナウイルス感染を収束させることが、最も効果ある対策であると考えられるが、当面の間期待できない。	
		×	職業安定所（職員）	・県外への移動が戻りつつあり、再び新型コロナウイルスが感染拡大傾向にあり、状況改善につながる要素が見当たらない。
		×	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスの影響が長期化することが予想され、最低限の人材が確保されたら、これ以上採用活動はしない状況である。
	×	学校〔大学〕（就職支援業務）	・新型コロナウイルスの影響による企業の経済活動の動きは、感染者数の増加により、鈍化する恐れもあり、業績が悪化することにより、採用数を若干少なくしていくことも考えられる。	

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-
		-	-
		コンビニ（経営者）	・イベントや祭りがないので来客数が見込めず、売上が期待できない。
	×	コンビニ（代表者）	・全国的な新型コロナウイルス感染者の増加ははまだ終息がみえず、県民の動き、また県経済にも多方向で大きなマイナス影響を及ぼす。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・今月は前月と比べて給付金による需要が少しはあり、良くなっている感はあるが、客は先を考えて、少しシビアに物をみている雰囲気がある。景気はまだまだ良くなるようにはみられない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・今月同様、客室稼働率は前年実績に対して大幅にマイナスとなることが見込まれている。現段階の新型コロナウイルス感染状況を考えると、まだまだ旅行マーケットの冷え込みは加速しそうである。お盆期間のキャンセルも多くなってきており、状況によっては今月より悪くなる可能性もある。
		観光型ホテル（代表取締役）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。Go Toキャンペーンなどはあるが、世の中が動き出そうという雰囲気が弱い。本来の来客数に戻るには時間が掛かる。
		住宅販売会社（代表取締役）	・建築相談の件数が減ってきており、今後その影響が建築受注件数の減少につながらないか懸念される。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染の拡大の影響がみられる。第2波とみられる状況で、再度の自粛要請の可能性を考えると現状が良くなる環境はみられず、悪化する可能性の方が大きい。
		コンビニ（副店長）	・この2週間で新型コロナウイルス感染者が増加しており、Go Toキャンペーンで感染拡大の懸念がある。県独自の自粛要請が今後発令されるとみられる。
		衣料品専門店（経営者）	・正直なところ先は読めないが、台風シーズンの到来や夏の終了で客が少なくなるし、新型コロナウイルス感染者も増えると必然的に景気は悪くなるとみられる。
		旅行代理店（マネージャー）	・Go To Travelキャンペーンは始まったが、新型コロナウイルス感染者も増えてきていて、また振出しに戻らないか怖い。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大により県の緊急事態宣言が出て、不要不急の外出が減り客足は確実に鈍ってくる。営業短縮になる可能性もあり期待は持てない。
		その他サービス[レンタカー]（営業）	・Go To Travelキャンペーンで持ち直しを期待したものの、新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、先行受注の伸び悩みが顕著に表れている。
	×	商店街（代表者）	・景気に関しては今月から始まっているGo To Travelキャンペーンでどの程度来客があるのかによるが、元の状況に戻るのには大変厳しいのではないかと現状である。インバウンドが来ることを期待はしているようである。
	×	百貨店（店舗企画）	・今月末より新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、来客数も徐々に減り始めている。県外への渡航についても地域限定で自粛傾向となるため、再び景気後退の懸念がある。
	×	その他飲食[居酒屋]（経営者）	・近くの目抜き通りの観光関連の土産品店、飲食店の廃業、無期休業が約80店舗にもなると報道されている。これらの従業員は午後9時以降の大切な客だったが、入客が見込めない。また、急激な新型コロナウイルス患者の増加で外出が減ってきており、Go Toキャンペーンで観光客は増えそうではあるが、従業員がり患しないか不安で積極的に誘致しづらい。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
		食料品製造業（総務）	・新型コロナウイルス感染者数が県内でも増え始めており、全国的な議論同様に人の移動がまた制限されれば景気は悪化するし、今のように続けば緩やかに回復に向かうとみられる。いずれにしろ新型コロナウイルス感染者数の状況に左右される。
		建設業（経営者）	・新築相談の来客数は増えたが、土地なしの客なので契約までには時間が掛かる。
		輸送業（経営企画室）	・しばらくはこの状況が維持されていくとみている。
		会計事務所（所長）	・事態収束のめども立たない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染の影響で、民間工事向けの出荷が必要減の見通しである。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては好調に推移しているが先々の予定は不透明で、民需はホテルやアパート等の需要が落ちている。そのようななか、新規参入船が増加し、供給過剰の状況がつかえ競争が激化しそうである。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が再発するなか、県内企業も再び販促活動を縮小、見直しの動きが加速している。
	×	-	-
雇用		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
関連 (沖縄)		-	-
		求人情報誌製作会社 (編集室)	・7月は飲食店中心に徐々に求人件数が増加しているが、新型コロナウイルスの感染防止による自粛要請が行われた場合は、4～5月のように求人件数は減少するとみられる。
		求人情報誌製作会社 (営業担当)	・県内の新型コロナウイルス感染状況により、消費者が外出等を控え始めるとみている。
		学校[専門学校](就職担当)	・沖縄県内の新型コロナウイルス感染状況が悪化しており、社会の経済活動はもとより、授業や就職活動などいろいろな場面で制限が掛かり、活動自粛を余儀なくされている。今後2～3か月で回復するとは見込まれない。
	×	人材派遣会社(総務担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大により、もっと悪くなる。
	×	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの患者数が減少し、求人数も4月と比較して増加しそうであったが、7月の4連休で爆発的に新型コロナウイルス患者が増加し、観光関連業種で求人数が減少するものと考ええる。また、観光関連業種を中心に、事業主から解雇の相談が増えてきている。
	×	学校[大学](就職支援担当)	・再度、新型コロナウイルスが猛威を振るっている。航空系が採用中止とするなどの影響もある。今後、中小企業でも採用活動を見合わせる事になりそうである。